
大崎地区(東部ブロック)職業教育拠点校新築設計
公募型プロポーザル 実施要項

令和4年1月

宮城県土木部営繕課

目 次

I	本プロポーザルの目的	1
II	一般事項	1
	1 名 称	
	2 主 催 者	
	3 趣 旨	
	4 選定方式	
	5 事 務 局	
III	参加申込者の資格要件等	1, 2
	1 参加申込者の資格要件	
	2 参加申込者の参加形態	
IV	評価・選定	2, 3
	1 審 査	
	2 評価・選定方式	
	3 選定結果の発表	
	4 そ の 他	
V	手 続 等	3, 4
	1 実施要項の入手	
	2 参加申込等	
	3 現地見学会	
VI	プロポーザルの日程（予定）	5
VII	設計業務委託	5
	1 業務委託契約	
	2 業務内容	
	3 設計業務委託料	
	4 管理技術者等	
VIII	著作権及び提出図書の取扱い	5, 6
	1 著作権の帰属	
	2 技術提案書の取扱い	
IX	経費の負担	6
X	失 格	6
XI	そ の 他	6

- 別添1 大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校新築設計公募型プロポーザル 参加申込書・技術提案書作成要領
様式関係
- 別添2 大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校新築設計公募型プロポーザル 評価・選定基準
- 別添3 大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校新築設計 計画概要書
別表・別図・別添資料

I 本プロポーザルの目的

本プロポーザルは、大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校新築設計業務に当たり、選定方法の公平性等を確保しつつ、より優れた設計者を選定するため、公募型プロポーザル方式により広く提案を求め、この業務に最も適した設計業務委託候補者（以下「設計候補者」という。）を選定します。

II 一般事項

- 1 名 称 大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校新築設計公募型プロポーザル
- 2 主催者 宮城県
- 3 選定方式 本プロポーザルは2段階の選定方式とします。
- 4 事務局 宮城県土木部営繕課
担当：企画調査班
〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号
TEL：022-211-3264
FAX：022-211-3190
E-Mail：eizenp@pref.miyagi.lg.jp
営繕課ホームページ（以下「営繕課HP」という。）：
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/eizen/>

III 参加申込者の資格要件等

1 参加申込者の資格要件

本プロポーザルに参加を申し込む建築設計事務所（以下「参加申込者」という。）の必要な資格は、参加申込み締切日時点において次の各号に該当することです。

なお、参加できる者は、単体企業とします。

- (1) 宮城県建設関連業務競争入札参加資格承認者名簿（業種「建築設計」に限る。）に登録されたA等級の格付けを有する者であること。
- (2) 宮城県内に本社（店）、支社（店）又は営業所があること。
- (3) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。
- (4) 宮城県建設工事入札参加登録者等指名停止要領に基づく入札参加指名停止措置を受けていない者であること。
- (5) 建築士法（昭和25年法律第202号）第23条の規定による一級建築士事務所の登録を受けている者であること。

2 参加申込者の参加形態

- (1) 参加申込は、管理技術者及び総合、構造、電気、機械の各業務分野を分担する主任担当技術者から構成される「設計チーム」によって行うこと。
- (2) (1)に規定する「設計チーム」の構成員のうち管理技術者は、参加申込者に所

属する一級建築士とすること。

- (3) (1)に規定する「設計チーム」の構成員のうち総合、構造、電気、機械の主任担当技術者は、参加申込者に所属する技術者以外の技術者とすることができる。ただし、「設計チーム」の構成員は、同一の構成員が複数の技術者を兼ねることはできない。また、他の「設計チーム」の構成員を兼ねることはできない（※参加申込者において各構成員へ他の「設計チーム」の構成員となっていないことを確認すること）。
- (4) 同一の参加申込者からの設計チームは、1チームに限ること。

IV 評価・選定

1 審査

技術提案書の審査は、大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校新築設計公募型プロポーザル判定委員会（以下「判定委員会」という。）が行います。

判定委員会は、次の判定委員5名により組織されます（敬称略）。

- 石井 敏 （東北工業大学 教授（副学長・建築学部長））
坂田 耕一 （国土交通省 東北地方整備局 営繕部 整備課長）
布田 秀一 （宮城県 教育庁 副教育長）
佐藤 好彦 （宮城県 鹿島台商業高等学校 校長）
小出 昇 （宮城県 土木部 建築宅地課長）

2 評価・選定方式

- (1) 第1段階（プロポーザル提案者の選定）

判定委員会は、大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校新築設計公募型プロポーザル評価・選定基準（以下「評価・選定基準」という。）（別添2参照）に基づき参加申込書の内容を評価し、参加申込者の中から評価得点上位5位程度を技術提案書の提出予定者（以下「プロポーザル提案者」という。）として選定し、技術提案書の提出を求めます。

ただし、応募者総数が5者以下の場合は、全ての応募者をプロポーザル提案者とします。

- (2) 第2段階（設計候補者の選定）

判定委員会は、プロポーザル提案者から技術提案書の内容に関するヒアリングを行った上で評価・選定基準に基づき評価し、審議の上設計候補者及び次点の設計候補者を選定します。

なお、ヒアリングの実施方法については、プロポーザル提案者に対して別途通知します。

- (3) 技術提案を求める評価テーマ

課題1 「各学科の特色を活かした建築計画」

- ①各学科の機能の充実
- ②各学科間及び地域との連携への配慮
- ③校舎及び実習棟の機能と動線に配慮した配置計画

課題2 「教育効果を高め、学習意欲の向上につながる建築計画」

- ①生徒の主体性や協働性の育成への配慮
- ②生徒間の交流を促すための建築計画
- ③利便性と快適性に配慮した建築計画

課題3 「長寿命化、ライフサイクルコスト及び環境負荷の低減に配慮した建築計画」

- ①メンテナンスのしやすさ、維持保全、将来の機器更新への配慮
- ②イニシャルコスト、ランニングコストの低減
- ③長期使用を見据えた耐久性、保守性への配慮
- ④採光、通風、断熱等を考慮した省エネルギー計画

3 選定結果の発表

第1段階の選定結果については令和4年2月21日(月)午後4時(予定)に、第2段階の選定結果については令和4年3月28日(月)午後4時(予定)に、それぞれ営繕課HPに掲載します。

4 その他

本プロポーザルは設計候補者を選定するものであり、技術提案書を設計案として決定するものではありません。

V 手続等

1 実施要項の入手

本プロポーザルの参加申込方法等を含む実施要項及び様式は、営繕課HPから出力してください。

2 参加申込等

(1) 参加申込

本プロポーザルの参加申込者は、参加申込書・技術提案書作成要領(別添1)に従い、参加申込書(様式-1)及び「設計チーム・設計事務所 資格・業務実績等説明書」(様式-2)を提出してください。

- ① 申込場所：事務局
- ② 申込期間：令和4年1月11日(火)から令和4年2月3日(木)まで
土曜日、日曜日及び祝日を除く日の午前9時から午後5時まで
郵送の場合は、申込期間末日必着とします。
- ③ 申込方法：持参又は書留による郵送とします。封書には、「大崎地区(東部ブロック)職業教育拠点校新築設計公募型プロポーザル 参加申込書 在中」と朱書きしてください。

(2) 技術提案書の作成、提出方法等

技術提案書を提出できるのは参加申込者のうち第1段階で選定されたプロポーザル提案者とし、判定委員会から技術提案書の提出要請の通知(以下「要請通知」という。)を行います。

- ① 提案書：1チームにつき1提案に限ります。

- ② 提出場所：事務局
- ③ 提出期間：令和4年2月21日（月）から令和4年3月15日（火）まで
土曜日、日曜日及び祝日を除く日の午前9時から午後5時まで
郵送の場合は、提出期間末日必着とします。
- ④ 提出方法：持参又は書留による郵送とします。封書には、「大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校新築設計公募型プロポーザル 技術提案書 在中」と朱書きしてください。

(3) 質 問

本プロポーザルの参加申込書及び技術提案書についての質問は、質問書（様式-5）により提出してください。

- ① 提出場所：事務局
- ② 期 間：令和4年1月11日（火）から令和4年1月21日（金）まで
土曜日、日曜日及び祝日を除く日の午前9時から午後5時まで
- ③ 提出方法：持参又は郵送とし、郵送の場合は、提出期間末日必着とします。
- ④ 回 答：令和4年2月1日（火） 午後4時（予定）
営繕課HPに掲載します。
なお、質疑事項の内容により回答できない場合があります。

3 現地見学会（※現地写真の提供について）

新型コロナウイルス感染症の拡大により現地見学会は実施しません。

現地見学会の代替措置として、現地写真の提供を行います。希望者を対象に準備が整い次第（1月18日頃）電子メールにて送付しますので、事務局宛の電子メールに会社名、住所、所属、氏名、電話番号及びメールアドレスをご記入の上お申込みください。

VI プロポーザルの日程（予定）

令和4年	1月11日（火）	：実施要項の公表（営繕課HPに掲載）
令和4年	1月11日（火）	：参加申込書等の提出
	～ 2月3日（木）	
令和4年	1月11日（火）	：参加申込書等に関する質問書の提出
	～ 1月21日（金）	
令和4年	1月18日（火）	：現地見学会
令和4年	2月 1日（火）	：質問に対する回答（営繕課HPに掲載）
令和4年	2月 3日（木）	：参加申込締切 →第1段階審査
令和4年	2月21日（月）	：第1段階選定結果の公表 （営繕課HPに掲載） 及びプロポーザル提案者への要請通知
令和4年	2月21日（月）	：技術提案書の提出
	～3月15日（火）	
令和4年	3月15日（火）	：技術提案書提出締切
令和4年	3月25日（金）	：ヒアリング及び第2段階審査
令和4年	3月28日（月）	：第2段階選定結果の通知・公表 （営繕課HPに掲載）
令和4年	5月 下旬	：契約締結予定

VII 設計業務委託

1 業務委託契約

設計候補者と随意契約により設計業務委託契約を締結することを基本とします。なお、設計候補者との契約ができない場合は次点の設計候補者との契約とします。

2 業務内容

- (1) 業務委託名 大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校新築設計業務委託
- (2) 業務概要 計画概要書のとおり
- (3) 履行期限 計画概要書のとおり

3 設計業務委託料

業務に対する設計業務委託料は、県が定める方法により算出した額を上限とします。

4 管理技術者等

本業務委託の受託者の管理技術者及び各業務分野の担当者は、設計チーム・設計事務所資格・業務実績等説明書（様式—2）に記載した設計チームの管理技術者及び各業務分野の主任担当技術者をそれぞれ選任するものとします。

VIII 著作権及び提出図書取扱

1 著作権の帰属

提出された技術提案書の著作権は、参加申込者に帰属するものとします。

なお、著作権が第三者に帰属する著作物の使用の責は、参加申込者に全て帰するものとします。

2 技術提案書の取扱い

前項の規定にかかわらず、本プロポーザルに関する公表、展示及びその他県が必要と認める場合に、県は提出された技術提案書の全部又は一部を無償で使用することができるものとします。

IX 経費の負担

参加申込者が本プロポーザルの参加（技術提案書の作成及び提出を含む。）に要した全ての経費は、参加申込者の負担とします。

X 失 格

次の各号に該当した場合は、失格となる場合があります。

- (1) IIIの参加申込者の資格要件等に違反した場合
- (2) 提出書類に虚偽の記載をした場合
- (3) 「実施要項」の基本的な条件に違反した場合
- (4) 参加申込書提出後、宮城県建設工事入札参加登録者等指名停止要領に基づく入札参加指名停止措置を受けた場合

XI その他

- (1) 県は、VIII 2 の場合を除き、提出書類を無断で使用しないものとします。
- (2) 県は、設計候補者の選定を行う作業に必要な範囲において、提出書類の複製を製作することができるものとします。
- (3) 「設計チーム・設計事務所 資格・業務実績等説明書」（様式一2）に記載された管理技術者及び各主任担当技術者は、病気、死亡等極めて特別の理由があると認められた場合を除き、変更することはできません。
- (4) 提出された書類は、返却しません。
- (5) 書類等の作成において使用する言語、通貨、時刻及び単位は、日本語、日本円、日本の標準時及び計量法（平成4年法律第51号）に規定された単位に限ります。
- (6) 締切を過ぎてからの書類の訂正、差し替えは、認められません。
- (7) 提出された書類の内容により、必要に応じ追加資料の提出を求めることがあります。

大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校新築設計 公募型プロポーザル 参加申込書・技術提案書作成要領

1 参加申込書

(1) 参加申込書（様式—1）

イ 「参加申込者」欄について

- (イ) 参加申込者は、実施要項 Ⅲ「1 参加申込者の資格要件」を満足する建築士事務所名を記載して下さい。
- (ロ) 押印欄は、当該建築士事務所の開設者が法人の場合は当該法人の社印及び代表者印を、個人の場合は当該個人の印を押印して下さい。

(2) 設計チーム・設計事務所 資格・業務実績等説明書（様式—2）

イ 「参加申込者」欄について

- (イ) (1) イに同じ。

ロ 【設計事務所】「一級建築士事務所登録」「管理建築士（一級建築士）」欄について

- (イ) 参加申込者である一級建築士事務所の登録番号、登録年月日及び有効期限を記入すること。
- (ロ) 当該事務所の管理建築士の一級建築士登録番号、登録年月日及び氏名を記入すること。

ハ 【設計事務所】「設計業務実績」欄について

- (イ) 設計業務実績は、一つの施設についての基本設計と実施設計の両方を行った場合を1件とします（一つの施設についての設計業務委託が基本設計と実施設計に分かれている場合は、両方を記載（添付書類共）すること）。
- (ロ) 改修工事（耐震補強工事を含む。）及び模様替工事の設計業務は、今回の設計業務実績とはしません。
- (ハ) 設計業務実績については、当該事務所が委託契約等を締結した設計業務で平成18年（2006年）4月1日以降に完了し、成果物の引渡が完了したものを記入すること。
- (ニ) 記入上の留意事項については、以下のとおりとします。
 - a 業務委託名称欄には、その設計業務の業務名称を記入すること。
 - b 一つの施設についての設計業務委託が基本設計と実施設計に分かれている場合は、業務委託名称及び履行期間については、上下2段にそれぞれ記入することができる（設計業務委託が基本設計と実施設計に分かれていない場合は、1段のみの記入で可）。
 - c 工事種別欄には、新築、増築、改築のいずれかを記入すること。
 - d 規模欄には、下記eの用途に供する新築、増築、改築工事に係る部分の床面積（㎡）を記入すること。なお、複合用途施設の場合は、下記eの用途の専用部分のみの床面積を記入すること。
 - e 同種・類似の区分欄には、以下の区分のいずれかを記入すること。
 - 同種**：学校教育法第五十条に定める高等学校 校舎（床面積5,000㎡以上）
 - 類似**：学校教育法第一条に定める学校（幼稚園を除く） 校舎（床面積3,000㎡以上）
 - f 設計業務実績の変更は認められません。

ニ 【設計チーム】「専門分野の技術資格・CPD単位取得実績」欄について

- (イ) 管理技術者予定者及び各主任担当技術者予定者について、それぞれ氏名及び所属事務所・

役職を記入すること。

- (ロ) 「専門分野の技術資格」欄は、管理技術者予定者及び各主任担当技術者予定者について、資格の名称、登録番号及び登録年月日を記入すること。
- (ハ) 「CPD単位取得実績」欄については、以下のとおりとします。
 - a 建築CPD運営会議（事務局：（公財）建築技術教育普及センター）を構成する各団体が主催した講習会等で参加申込み締切日から過去1年以内に発行されたCPD単位取得証明書等に記載されたCPD（継続能力/職能開発）の単位について記入すること。
 - b CPDの単位取得の証明期間の末日は、参加申込み締切日から過去1年以内とする。
 - c CPDを取得した団体の名称、当該団体の推奨単位数、当該団体での取得単位数及び当該取得単位数を当該団体の推奨単位数で除した値（%）を記入すること。
 - d 推奨単位数は、制度（参加申込者独自の制度及び推奨単位を定めていない制度を除く。）を定めている当該団体が示す値とすること。

ホ 【設計チーム】「設計業務実績」欄について

- (イ) 設計業務実績は、一つの施設についての基本設計と実施設計の両方を行った場合を1件とします（一つの施設についての設計業務委託が基本設計と実施設計に分かれている場合は、両方を記載（添付書類共）すること）。
- (ロ) 改修工事（耐震補強工事を含む。）及び模様替工事の設計業務は、今回の設計業務実績とはしません。
- (ハ) 設計業務実績については、平成18年（2006年）4月1日以降に完了し、成果物の引渡が完了した業務のうち1件のみを記入すること。
- (ニ) 記入上の留意事項については、以下のとおりとします。
 - a 記入上の留意事項については、（2）ハ(ニ)に準じる。
 - b 立場欄には、設計業務における役割分担における管理技術者、主任担当技術者、担当技術者の別を下記の例により記入すること。
 - ・ 管 : 管理技術者
 - ・ 主 : 主任担当技術者
 - ・ 担 : 担当技術者

(3) 内容を証明する書類

イ 【設計事務所】事務所登録・資格・実績等を証明する書類について

- (イ) 一級建築士事務所登録欄、管理建築士（一級建築士）欄及び設計業務実績欄に記載した内容を証明する書類を必ず添付すること。
- (ロ) 記載した内容を証明する書類は、以下のものを参考とすること。
 - a 一級建築士事務所登録を証明する書類
 - ・ 登録通知書等
 - b 管理建築士（一級建築士）の資格を証明する書類
 - ・ 一級建築士の免許状その他の証明書の写し
 - c 設計業務実績欄に記載した内容を証明する書類
 - ・ 契約書の写し
 - ・ 当該契約に係る物件の図面（設計概要が判別できる程度のもの） 等

ロ 【設計チーム】資格・CPD単位取得実績・実績等を証明する書類について

- (イ) 資格、CPD単位取得実績及び設計業務実績欄に記載した内容を証明する書類を必ず添付すること。
- (ロ) 資格及び設計業務実績欄に記載した内容を証明する書類は、以下のものを参考とすること。
 - a 資格欄に記載した内容を証明する書類
 - ・ 各資格の免許状その他の証明書の写し

- b CPD単位取得実績欄に記載した内容を証明する書類
 - ・ 各団体又は建築CPD運営会議が発行するCPD単位取得証明書等の写し（ホームページ等の画面の印刷は不可とする）
- c 設計業務実績欄に記載した内容を証明する書類
 - ・ 契約書の写し
 - ・ 当該契約に係る物件の図面（設計概要が判別できる程度のもの）
 - ・ 建築士法第24条の4による帳簿の写し
 - ・ 管理技術者、主任担当技術者の通知書の写し 等

（４）提出部数 1部

（５）その他

証明書類の内容確認の結果、設計業務実績が記載内容どおりと認められない又は確認できない場合は、その部分の記載を修正又は削除して評価します。

2 技術提案書

（１）業務実施方針（様式—3）

業務の取組体制，設計チームの特徴，特に重視する設計上の配慮事項（様式—4—1～4—3に記載する内容を除く），その他の業務実施上の配慮事項について記載して下さい。

（２）課題に対する提案（様式—4—1～4—3）

別添3「大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校新築設計 計画概要書」を基に，実施要項 IV 2（3）技術提案を求める評価テーマの課題1～3について提案して下さい。

（３）提案書作成上の留意事項

提案書の作成には，以下の事項に留意して下さい。

- ① 提案書は，業務実施方針（様式—3）についてA4判縦1枚，課題に対する提案（様式—4—1～4—3）についてA3判横1枚とし，各8部を提出して下さい。
- ② 説明文字の大きさは，10.5ポイント以上の大きさ，図中の文字は8ポイント以上の大ききさで作成して下さい。また，各提案には，カラーコピーを用いても構いません。
- ③ 各提案書の用紙右上に幅50mm，高さ20mm以上の余白を設けて下さい。
- ④ 提案は，文章での表現を基本としますが，文章を補完するための必要最小限な視覚的表現は構いません。
- ⑤ 視覚的表現については，具体的な建物の設計ではなく，イメージや模式的な表現として下さい。「参考 視覚的表現のイメージ」を参照して下さい。
- ⑥ 提案書の提出者（「設計チーム」の各構成員が所属する参加申込者以外の事務所，協力事務所を含む。）を特定することができる内容の記述（具体的な社名（組織名），技術者名，過去に設計した建築物の名称，過去に受注した設計業務の名称等）を記載することは認められません。

大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校新築設計公募型プロポーザル

参 加 申 込 書

宮 城 県 知 事
村 井 嘉 浩 殿

標記について、必要書類を添付して参加を申し込みます。

令和 年 月 日

(参加申込者) 住 所 〒

参加申込者名
(代表者名)

印

電 話 番 号

F A X

メールアドレス

設計チーム・設計事務所 資格・業務実績等説明書

参加申込者名
(代表者名)

印

【設計事務所】

一級建築士事務所登録		管理建築士（一級建築士）		設計業務実績				
登録番号	都道府県 第 号	氏 名		業務委託名称	履 行 期 間 (開始・完了年月)	工 事 種 別 (新・増・改築)	規 模 (床面積)	同種・類似 の区分
登録年月日	H・R 年 月 日	登録番号			H・R 年 月から H・R 年 月まで			
有効期限	H・R 年 月 日	登録年月日	S・H・R 年 月 日		H・R 年 月から H・R 年 月まで H・R 年 月から H・R 年 月まで H・R 年 月から H・R 年 月まで			

【設計チーム】

A 管理技術者予定者

氏 名		所属事務所・役職			設計業務実績					
専門分野の技術資格		CPD単位取得実績			業務委託名称	履 行 期 間 (開始・完了年月)	工 事 種 別 (新・増・改築)	規 模 (床面積)	同種・類似 の区分	立 場
資格名称	一級建築士	団体の名称	取得単位数	推奨単位数						
登録番号		取得単位数	推奨単位数	取得単位数 /推奨単位数		H・R 年 月から H・R 年 月まで				
登録年月日	S・H・R 年 月 日			#DIV/0!		H・R 年 月から H・R 年 月まで				

G 主任担当技術者（総合）予定者

氏 名		所属事務所・役職			設計業務実績					
専門分野の技術資格		CPD単位取得実績			業務委託名称	履 行 期 間 (開始・完了年月)	工 事 種 別 (新・増・改築)	規 模 (床面積)	同種・類似 の区分	立 場
資格名称		団体の名称	取得単位数	推奨単位数						
登録番号		取得単位数	推奨単位数	取得単位数 /推奨単位数		H・R 年 月から H・R 年 月まで				
登録年月日	S・H・R 年 月 日			#DIV/0!		H・R 年 月から H・R 年 月まで				

S 主任担当技術者（構造）予定者

氏 名		所属事務所・役職			設計業務実績					
専門分野の技術資格		CPD単位取得実績			業務委託名称	履 行 期 間 (開始・完了年月)	工 事 種 別 (新・増・改築)	規 模 (床面積)	同種・類似 の区分	立 場
資格名称		団体の名称	取得単位数	推奨単位数						
登録番号		取得単位数	推奨単位数	取得単位数 /推奨単位数		H・R 年 月から H・R 年 月まで				
登録年月日	S・H・R 年 月 日			#DIV/0!		H・R 年 月から H・R 年 月まで				

E 主任担当技術者（電気）予定者

氏 名		所属事務所・役職			設計業務実績					
専門分野の技術資格		CPD単位取得実績			業務委託名称	履 行 期 間 (開始・完了年月)	工 事 種 別 (新・増・改築)	規 模 (床面積)	同種・類似 の区分	立 場
資格名称		団体の名称	取得単位数	推奨単位数						
登録番号		取得単位数	推奨単位数	取得単位数 /推奨単位数		H・R 年 月から H・R 年 月まで				
登録年月日	S・H・R 年 月 日			#DIV/0!		H・R 年 月から H・R 年 月まで				

M 主任担当技術者（機械）予定者

氏 名		所属事務所・役職			設計業務実績					
専門分野の技術資格		CPD単位取得実績			業務委託名称	履 行 期 間 (開始・完了年月)	工 事 種 別 (新・増・改築)	規 模 (床面積)	同種・類似 の区分	立 場
資格名称		団体の名称	取得単位数	推奨単位数						
登録番号		取得単位数	推奨単位数	取得単位数 /推奨単位数		H・R 年 月から H・R 年 月まで				
登録年月日	S・H・R 年 月 日			#DIV/0!		H・R 年 月から H・R 年 月まで				

業務実施方針

業務の取組体制、設計チームの特徴、特に重視する設計上の配慮事項（様式—4—1～4—3に記載する内容を除く）、
その他の業務実施上の配慮事項

課題に対する提案

課題1	各学科の特色を活かした建築計画	
(A3判横1枚)		

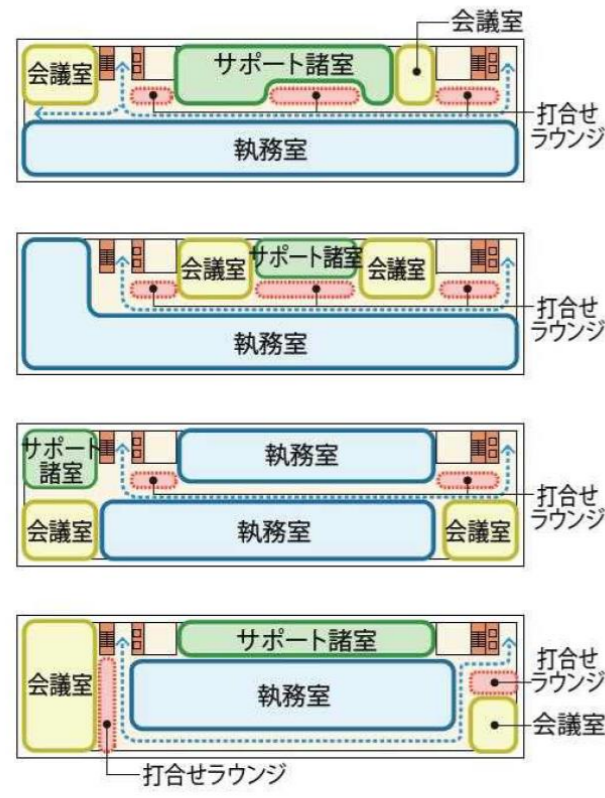
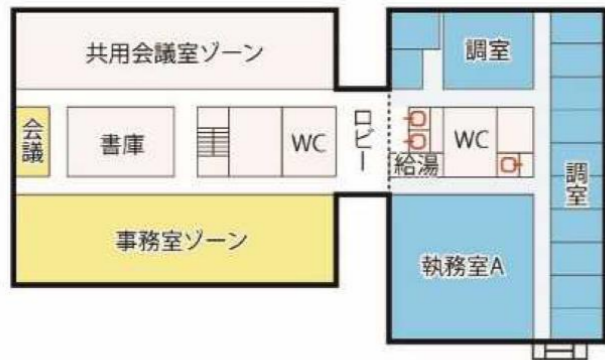
課題に対する提案

課題2	教育効果を高め、学習意欲の向上につながる建築計画	
(A3判横1枚)		

課題に対する提案

課題3	長寿命化、ライフサイクルコスト及び環境負荷の低減に配慮した建築計画	
(A3判横1枚)		

視覚的表現のイメージ

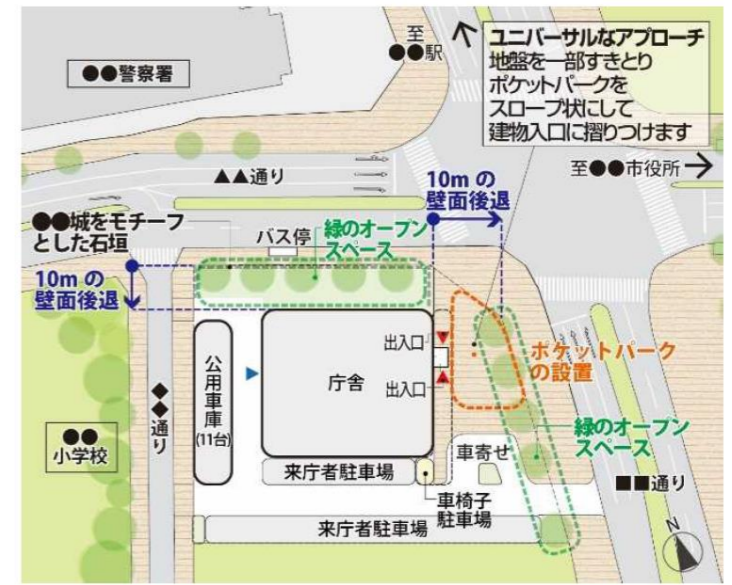


(注：ゾーン等の形状を表現するにあたり、角を丸くして表現しなくてもよい。)

建物内の人の動線や室の位置関係・ゾーニングの考え方などについての説明文を補足するための平面イメージ図。
 必要な範囲で建物の形状、建物内の機能別のゾーンや交通部分（階段及びエレベーターを含む。）の位置・形状が表現されていてよい。また、説明文を補足するために必要となる範囲で、一部の具体的な室が表現されていてよい。



景観への配慮、街並みとの調和等、建物の外観に係る要素が評価テーマとされる場合、建物や、建物と周辺環境との関係の考え方などについての説明文を補足するための外観イメージ図。
 建物の配置やボリュームが表現されていてよい。簡易なファサードの表現がされていてよい。



(注：ゾーン等の形状を表現するにあたり、角を丸くして表現しなくてもよい。)

敷地内の人や車の動線や建物の配置・ゾーニングの考え方などについての説明文を補足するための配置イメージ図。
 一定の尺度で建物の形状が表現されていてよい。周辺地域が表現されていてよい。

大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校新築設計
公募型プロポーザル 評価・選定基準

I 評価・選定方法

評価は2段階で行う。

第1段階では技術力を評価し、プロポーザル提案者を5者程度選定する。

第2段階では技術力及び技術提案を評価し、審議の上、設計候補者及び次点の設計候補者を選定する。

II 第1段階評価（プロポーザル提案者の選定）

1 評価方法

設計者及び設計事務所の技術力を評価する。

2 評価項目及び配点

評価項目	評価の着目点		配点			
	判断基準		内訳			
(1) 資格<設計者>	専門分野の技術資格		20点 (20%)			
	主任担当技術者	総合			8	
		構造			4	
		電気			4	
機械		4				
(2) 技術力<設計者>	同種業務・類似業務の実績		40点 (40%)			
	管理技術者	12				
		主任担当技術者			総合	10
					構造	6
			電気	6		
	機械		6			
	CPD推奨単位取得実績		20点 (20%)			
	管理技術者	6				
		主任担当技術者			総合	5
					構造	3
電気			3			
機械	3					
(3) 技術力<事務所>	同種業務・類似業務の実績		20点	(20%)		
合計点			100点	(100%)		

(1) 資格<設計者>の評価点

次式によって算定する。

$$\begin{aligned} \text{評価点} &= \sum (\text{各主任担当技術者の評価点}) \\ &= \sum (\text{配点} \times \text{資格係数}) \end{aligned}$$

資格係数

分担業務分野	業務内容	評価対象技術資格	資格係数
総合	H31国交省告示98号別添一第1項第1号及び第2号で示される設計の種類における「総合」	一級建築士	1.0
構造	同上「構造」	構造設計一級建築士	1.0
		一級建築士	0.5
電気	同上「設備」のうち、「電気設備」に係るもの	設備設計一級建築士	1.0
		建築設備士又は一級建築士	0.5
機械	同上「設備」のうち、「給排水衛生設備」, 「空調換気設備」及び「昇降機等」に係るもの	設備設計一級建築士	1.0
		建築設備士又は一級建築士	0.5

(2) 技術力<設計者>の評価点

① 同種業務・類似業務の実績

次式によって算定する。

$$\begin{aligned} \text{評価点} &= \sum (\text{管理技術者及び各主任担当技術者の評価点}) \\ &= \sum (\text{配点} \times \text{設計者係数}) \\ \text{設計者係数} &= \text{㉑ 業務係数} \times \text{㉒ 立場係数} \end{aligned}$$

$$\text{㉑ 業務係数} = \begin{cases} 1.0 (\text{同種業務}) \\ 0.8 (\text{類似業務}) \end{cases}$$

㉒ 立場係数

	過去の実績での立場		
	管理技術者	主任担当技術者	担当技術者
管理技術者の実績評価	1.0	0.5	0.3
主任担当技術者の実績評価	1.0	1.0	0.5

※ 当該実績の分担業務分野が、本業務での分担業務分野と同じ場合に限る。

※ 照査技術者の立場は、評価の対象とならない。

同種業務・類似業務の実績

下記の用途及び規模を満たす新築・改築・増築の基本・実施設計で、平成18年(2006年)4月1日以降に完了し、成果物の引渡が完了した業務。

	用途	規模
同種業務	学校教育法第五十条に定める高等学校 校舎	5,000㎡以上
類似業務	学校教育法第一条に定める学校(幼稚園を除く) 校舎	3,000㎡以上

※ 面積は建築基準法上の床面積とする。

※ 複合用途施設の場合は、同種業務・類似業務の用途の専用部分のみの床面積とする。

② CPD 推奨単位取得実績

次式によって算定する。

$$\begin{aligned} \text{評価点} &= \sum (\text{管理技術者及び各主任担当技術者の評価点}) \\ &= \sum (\text{配点} \times \text{CPD係数}) \end{aligned}$$

取得した単位数	CPD係数
推奨単位以上	1.0
推奨単位の3/4以上	0.8
推奨単位の1/2以上	0.5
推奨単位の1/4以上	0.3
推奨単位の1/4未満	0

(3) 技術力<事務所>の評価点

次式によって算定する。

$$\text{評価点} = \text{配点} \times \text{事務所係数}$$

事務所係数

	類似業務の実績	2件	1件	0件
同種業務の実績				
2件				1.0
1件			0.9	0.5
0件	0.8	0.4		0

同種業務・類似業務の実績 : (2)に同じ。

3 順位の決定

2によって評価した合計点により順位付けを行い、プロポーザル提案者を5者程度選定する。

III 第2段階評価（設計候補者の選定）

1 評価方法

技術提案の内容は実施方針および評価テーマ（3つ）とする。

技術者の能力の直接確認のため、ヒアリングを実施する。

技術力（第1段階での評価）及び技術提案を評価する。

2 評価項目及び配点

評価項目	評価の着目点		配点	
	判断基準		内訳	
第1段階評価合計点 × 0.20			20点 (20%)	
業務実施方針 及び手法	業務の理解度及び取組意欲 業務内容、業務背景、手続の理解 及び積極性		10	10点 (10%)
	業務の実施方針 業務への取組体制、設計チームの特 徴、特に重視する設計上の配慮事項等 について、的確性、独創性、実現性等を 総合的に評価		10	10点 (10%)
	評価テーマに対する技術提案			
	課題 1	各テーマについて、その的確性（与条件との整合性が取れているか等）、独創性（工学的知見に基づく独創的な提案がされているか等）、実現性（提案内容が理論的に裏付けられており、説得力のある提案となっているか等）を考慮して総合的に評価する。	20	60点 (60%)
	課題 2		20	
	課題 3		20	
小計			80点 (80%)	
合計（総合評価点）			100点 (100%)	

(1) 総合評価点

・ 各項目について各判定委員が5段階に評価し、次式により総合評価点を算定する。

$$\text{委員ごとの総合評価点} = \text{第1段階評価合計点} \times 0.2 + \sum (\text{各項目の評価} \div 5 \times \text{配点})$$

(2) 順位点

- ・ 総合評価点の高い者から次表のとおり委員ごとに総合評価点順位を付け、順位点を算定する。

総合評価点順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位以下
順位点	5点	4点	3点	2点	1点	0点

3 設計候補者、次点の設計候補者の選定

- ① 総合評価点順位の1位獲得数がより多い提案者を上位として順位付けを行う。
- ② 1位獲得数が同じ提案者が複数いる場合は、各委員の順位点の合計がより高い提案者を上位とする。
- ③ 順位点の合計も同じ場合は、上位順位の獲得数がより多い提案者を上位とする。
- ④ ②、③も同じ場合は、総合評価点の合計がより高い提案者を上位とする。
- ⑤ 評価を基に委員で審議の上、設計候補者及び次点の設計候補者を選定する。
- ⑥ ただし、『業務実施方針及び手法』の評価項目で各委員の評価点の平均が4.8点未満である提案者は、審議の対象としない。

大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校新築設計 計画概要書

令和4年1月

宮城県土木部営繕課

I 基本方針

少子化に伴う中学校卒業生数の減少により、大崎地区（東部ブロック）において、県立高校の定員の規模適正化及び活力ある高校の存続に向けての取組として、3つの高校（松山高校、鹿島台商業高校、南郷高校）を再編し、既存の専門学科や学びの取組みを基本としながら、新たな魅力ある職業教育拠点校を設置するもの。

II 施設計画・設計条件等

1 業務委託名称

大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校新築設計業務委託

2 建築場所

大崎市鹿島台広長字空師前44

敷地面積 約82,614㎡

3 施設用途

高等学校

平成31年国土交通省告示第98号 別添二

第七号第1類

4 法規制等

- | | |
|-------------|------------------|
| (1) 都市計画区域等 | 都市計画区域内 |
| (2) 用途地域等 | 指定無し |
| (3) 容積率 | 200% |
| (4) 建蔽率 | 70% |
| (5) 防火地域等 | 建築基準法第22条第1項指定区域 |
| (6) 下水道処理 | 区域内 |
| (7) 道路 | 市道 幅員：6.0m |
| (8) その他区域等 | ・景観計画区域内 |

※大崎市全域が景観計画区域の対象範囲となりますので、大崎市HPにてエリアに対応した景観に関するルールを確認してください。

5 事業規模（予定）

（1）新設建築物等

① 校舎棟	延べ面積	約 7,200 m ²
内訳	管理諸室	約 1,500 m ²
	普通教室	約 1,500 m ²
	特別教室	約 1,500 m ²
	共用部分	約 2,700 m ²
	その他	

② 農業系実習棟	延べ面積	約 2,100 m ²
内訳	実習諸室	約 1,300 m ²
	共用部分	約 800 m ²
	その他	

③ 家庭系実習棟	延べ面積	約 1,100 m ²
内訳	実習諸室	約 700 m ²
	共用部分	約 400 m ²

（2）解体建築物等

① 現鹿島台商業高等学校校舎	延べ面積	約 6,400 m ²
② 機械室	延べ面積	約 80 m ²
③ その他工作物（別表3参照）		
（ソフトボール場及びテニスコートを含む）		

（3）屋外施設等

- ① 駐車場（50台程度）、駐輪場（150台程度）
- ② 外構・植栽等

（4）予定工期

- ・設計 令和6年2月末まで（予定）
 - ・工事 令和6年度から令和8年度まで（予定）
- （別表1参照）

（5）予定工事費

約60億円（税込）

6 整備方針

大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校整備事業基本構想
（宮城県教育庁教育企画室作成（別添資料））

7 その他

- ・農業用の井戸，畑（1,500 m²～2,000 m²）及びビニールハウス7棟程度（1棟当たり100 m²～150 m²）の位置を想定した上で計画すること。
- ・ソフトボール場，プール及びテニスコートは計画しないこととする。
- ・既存校舎跡地，グラウンド及び野球場には建築物等を計画しないこととする。
- ・プール西側は，木々を伐採し整地の上，活用しても差し支えない。
- ・校舎から実習棟並びに体育館に靴を履き替えることなく移動できるように配慮すること。
- ・校舎解体跡地の利活用については現在検討中のため，計画範囲には含めないこととする。
- ・仮設建築物を設置せずに学校の運営及び体育館の使用が可能な計画とすること。
- ・工事期間中の学校の運営及び安全の確保に配慮すること。
- ・建物は，ライフサイクルを通じた環境負荷の低減に配慮すること。
- ・再生可能エネルギー設備の設置については現在検討中であり，設置の有無，規模については設計業務において提示する。
- ・地質調査は，設計業務委託期間中に別途実施する。
- ・供用開始時の在校生については，供用開始年度（令和9年度予定）に入学する1学年のみでの開校となるか，既存の学校からの移転を含めた全学年揃っての開校となるかは現在検討している。

8 添付資料

別表1	事業スケジュール（予定）
別表2	整備諸室等一覧（目安）
別表3	解体建物等一覧
別図1	計画敷地 位置図
別図2	現況配置図
別図3	解体建物等位置図
別添資料1	大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校（仮称）教育基本構想
別添資料2	大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校整備事業基本構想
別添資料3	学校要覧（松山高校，鹿島台商業高校，南郷高校）
参考資料	参考地質調査資料

別表1

事業スケジュール（予定）

	令和3年度 (2021)				令和4年度 (2022)				令和5年度 (2023)				令和6年度 (2024)				令和7年度 (2025)				令和8年度 (2026)				令和9年度 (2027)				令和10年度 (2028)				
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
校舎・実習棟新築設計			プロポーザル		発注 随契	校舎・実習棟新築設計 21ヶ月																											
既存校舎等解体設計						既存校舎・プール等 解体設計 12ヶ月																											
地質調査							発注	地質 調査																									
プール解体工事											発注 総評	プール解体 5ヶ月																					
校舎新築工事											発注 WTO	仮 契約	議 会	校舎新築工事 24ヶ月																			
実習棟新築工事														発注 総評	仮 契約	議 会	実習棟新築工事 15ヶ月																
電波障害調査														発注	電波障害 調査																		
既存校舎解体工事																						発注 総評	既存校舎解体工事 10ヶ月										
屋外施設整備工事 (仮)																														発注 総評	屋外施設整備工事 (仮)		

←→★開校
引越・準備

大崎地区(東部ブロック)職業教育拠点校整備事業 整備諸室等一覧(目安)

【校舎棟】

分類	部屋名				備考
		室数	1室面積(m ²)	総面積(m ²)	
管理諸室	校長室	1	36.00	36.00	
	応接室	1	36.00	36.00	校長室に隣接
	職員室	1	216.00	216.00	
	事務室	1	72.00	72.00	
	技師室	1	36.00	36.00	
	印刷室	1	36.00	36.00	
	大会議室	1	144.00	144.00	
	小会議室	1	72.00	72.00	
	放送室	1	18.00	18.00	
	生徒会室	1	36.00	36.00	
	進路指導室	1	72.00	72.00	資料室含む(又は36m ² ×2)
	生徒指導室	2	18.00	36.00	
	生徒相談室	2	18.00	36.00	
	カウンセリング室	1	36.00	36.00	
	保健(指導)室	1	72.00	72.00	資料庫含む
	図書室	1	144.00	144.00	
	司書室	1	36.00	36.00	
	書庫	1	36.00	36.00	統合前の本を保管等
	職員更衣室	2	36.00	72.00	男女各1室
	農業クラブ室	1	36.00	36.00	
	同窓会資料室	1	36.00	36.00	既存校の資料等を保管・展示
	飲食スペース・売店	1	108.00	108.00	
	備蓄倉庫	1	18.00	18.00	災害対応
	家庭クラブ室	1	36.00	36.00	
	小計	27		1,476.00	
普通教室	普通教室	12	72.00	864.00	
	選択教室	6	72.00	432.00	3学科×2(類型)
	大講義室	1	198.00	198.00	3学科連携学習に使用(※)
	大講義室準備室	1	36.00	36.00	
	小計	20		1,530.00	
特別教室	理科(実験)室	2	126.00	252.00	物理化学・生物地学
	理科(実験)準備室	1	36.00	36.00	隣接共用・薬品庫兼を想定
	音楽室(ピアノ室)	1	156.00	156.00	音楽室に加え、ピアノ室を設置(5室程度30m ² 程)
	音楽準備室	1	36.00	36.00	楽器庫含む
	被服(実習)室	1	126.00	126.00	
	被服(実習)準備室	1	18.00	18.00	保育室との隣接共用も検討
	調理(実習)室	1	126.00	126.00	
	調理(実習)準備室	1	36.00	36.00	
	保育実習室	1	126.00	126.00	
	保育実習準備室	1	36.00	36.00	被服室との隣接共用も検討
	コンピュータ室	1	126.00	126.00	
	サーバ室(マシンルーム)	1	36.00	36.00	一部準備室
	情報処理(実習)室	2	126.00	252.00	
	総合(OA)実践室	1	126.00	126.00	
	商業科準備室	1	36.00	36.00	
	小計	17		1,524.00	
	共用部分(37%)			2,660.00	教材室(36m ² 程度)や倉庫等を設置
	校舎棟 合計①			7,190.00	

※新設校は、学校全体で学科間連携、地域連携を図ることとしているため、大講義室については、1学年全員(160人)を収容でき、研究発表等のプレゼンテーションや外部講師を招聘した講義にも対応できるものとする。

【農業系実習棟】

分類	部屋名				備考
		室	1室面積	総面積	
実習室	農業(基礎)実習室	1	126.00	126.00	
	農業準備室・農場管理室	1	36.00	36.00	
	職員更衣室	2	18.00	36.00	男女各1室
	生徒更衣室	2	36.00	72.00	男女各1室
	農業実習室	2	72.00	144.00	
	資材室(倉庫)	1	216.00	216.00	既存校の一部資材等を集約
	食品加工室	1	360.00	360.00	食品加工室内に手洗い・エアシャワー・包装室・醸造室・ボイラー室・麴製造室・麴室・貯蔵室・準備室等を設置
	農機具室	1	288.00	288.00	既存校の一部資機材等を集約
	作物収納室	1	72.00	72.00	
	小計	10		1,350.00	
共用部分(37%)				793.00	
農業系実習棟 合計②				2,143.00	

【家庭系実習棟】

分類	部屋名				備考
		室	1室面積	総面積	
実習室	家庭科準備室	1	18.00	18.00	
	職員更衣室	2	18.00	36.00	男女各1室
	生徒更衣室	2	36.00	72.00	男女各1室
	講義室	1	72.00	72.00	
	総合調理実習室	1	126.00	126.00	高校生カフェ等(下ごしらえ等)
	総合調理実習準備室	1	36.00	36.00	高校生カフェ等
	食堂(飲食スペース)	1	144.00	144.00	高校生カフェ等
	厨房	1	72.00	72.00	高校生カフェ等(調理仕上げ等)
	マーケティング実習室(兼物販所)	1	144.00	144.00	
	小計	11		720.00	
共用部分(37%)				422.00	
家庭系実習棟 合計③				1,142.00	
3棟面積総計 合計(①+②+③)				10,475.00	

解体建物等一覧

別表3

(建築物)

No.	名称	構造	階数	建築年	面積(m ²)
1	校舎	RC	3	S57	6,431.52
5	機械室	RC	1	S57	80.00

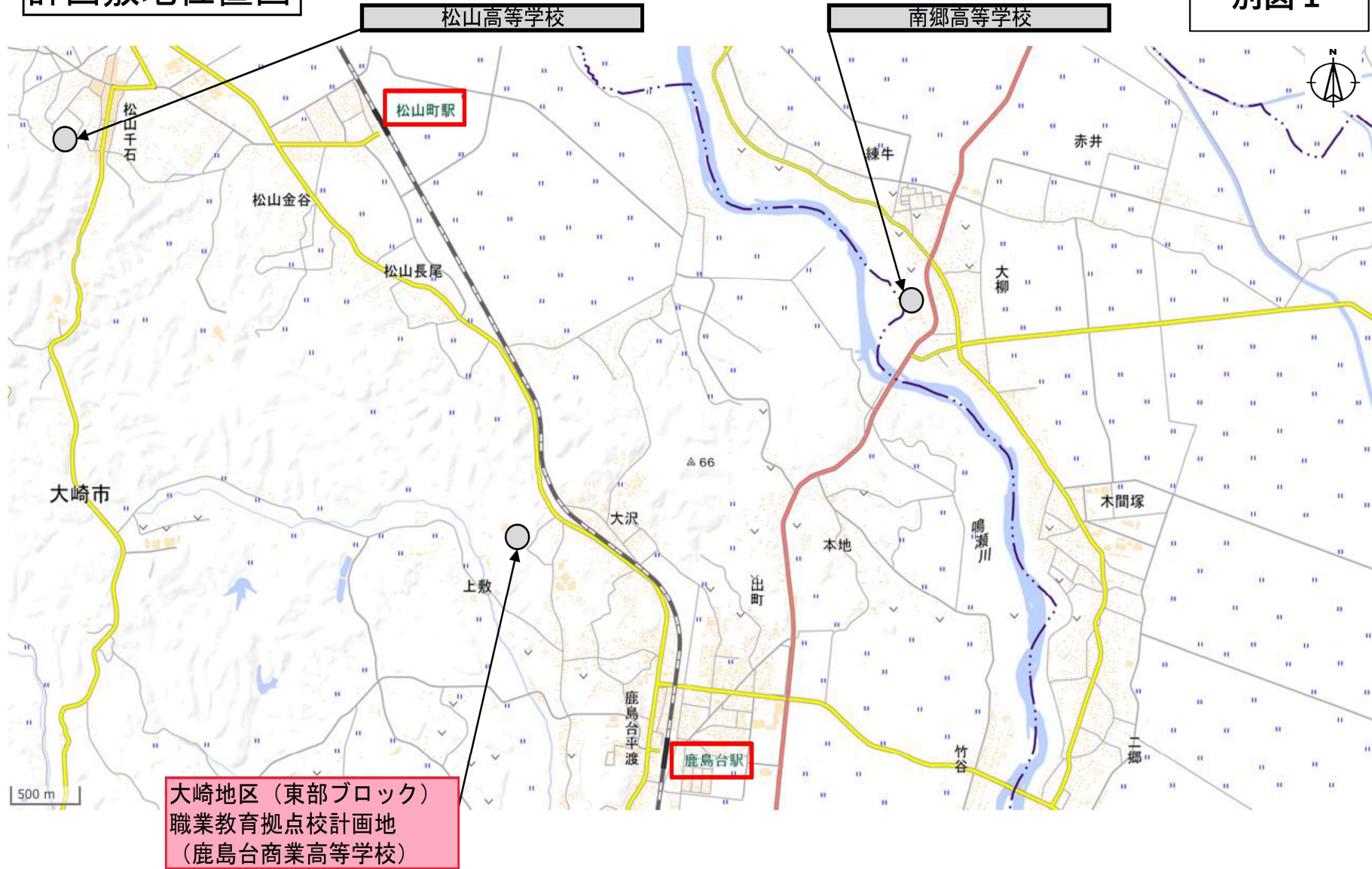
(工作物)

No.	名称	構造	階数	建築年	備考
2	フェンス	-	-	S57	鉄骨金網張 85.4m
3	キュービクルフェンス	-	-	S57	鉄骨金網 17.0m
5	フェンス	-	-	S60	鉄骨金網張 105.0m
7	外灯	-	-	S57	コンクリート基礎
11	受水槽	-	-	S57	コンクリート基礎
12	プール	S	-	S59	986.1m ² (28.5m×34.6m)
13	ゴミ集積場	-	-	S60	耐火レンガ鋼板屋根付
14	キュービクル	-	-	S57	鉄板屋外型高圧キュービクル
15	自転車置場	-	-	S57	鉄骨造 平屋
16	渡り廊下	-	-	S57	鉄骨造 平屋
18	自転車置場	-	-	S58	鉄骨平屋 ルーフデッキ
19	自転車置場	-	-	S63	鉄骨平屋 ルーフデッキ
26	ソフトボール用バックネット	-	-	H10	コンクリート電柱4本 ポリネット 11.8m×5m
27	ソフトボール用フェンス	-	-	H10	支柱2本 ポリネット 11.0m×2m
29	照明灯	-	-	H18	コンクリート基礎
32	テニスコートネットフェンス	-	-	H27	金網, 門扉付き H2.5m L172.0m

※解体建築物及び工作物の位置は別図3を参照してください。No.は別図3の番号を示しています。

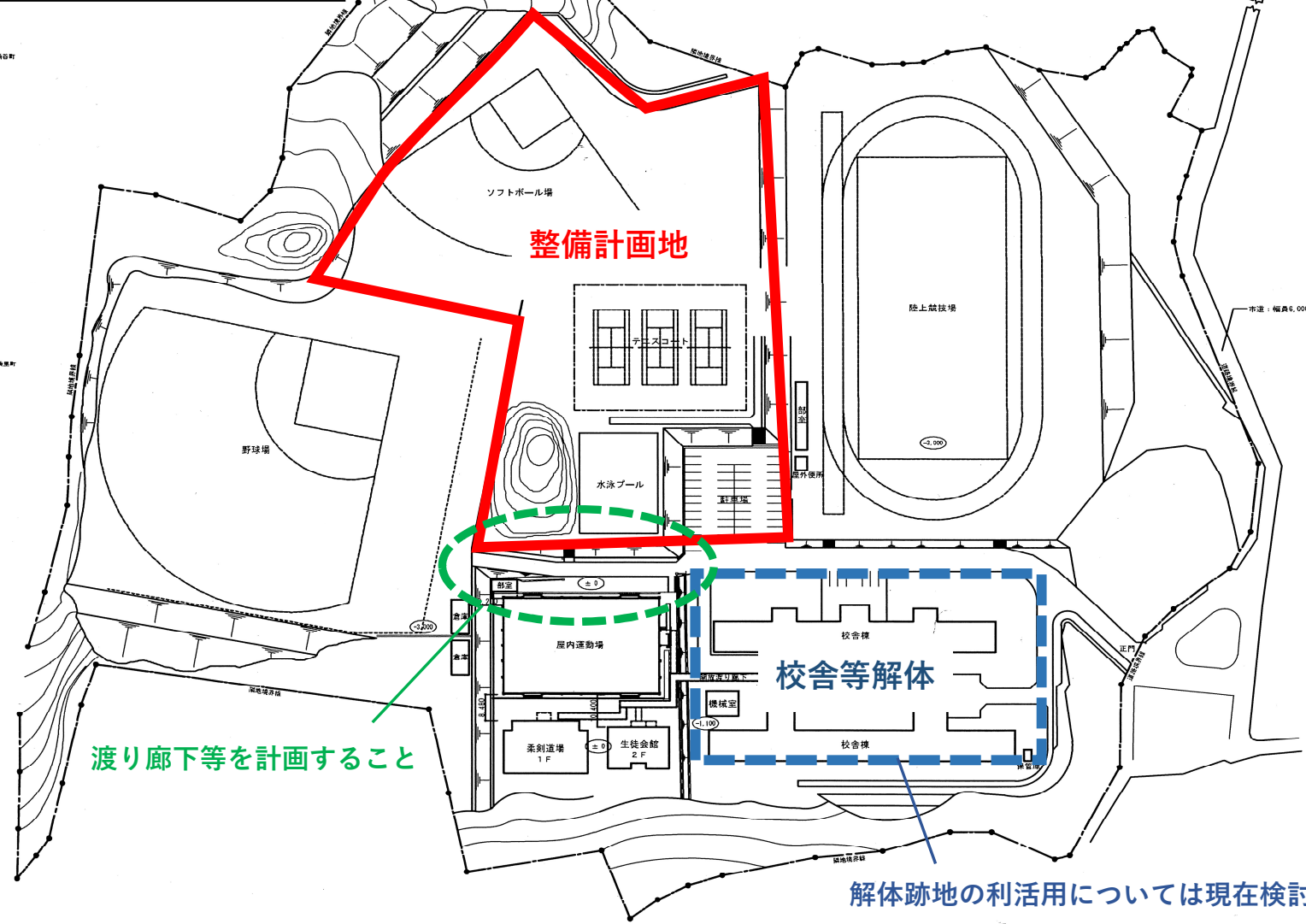
計画敷地位置図

別図 1



・地理院地図(電子地形図(タイル):ズームレベル14)に、各学校位置を図示し、近隣の駅名を枠囲みしたものである。

現況配置図



整備計画地

校舎等解体

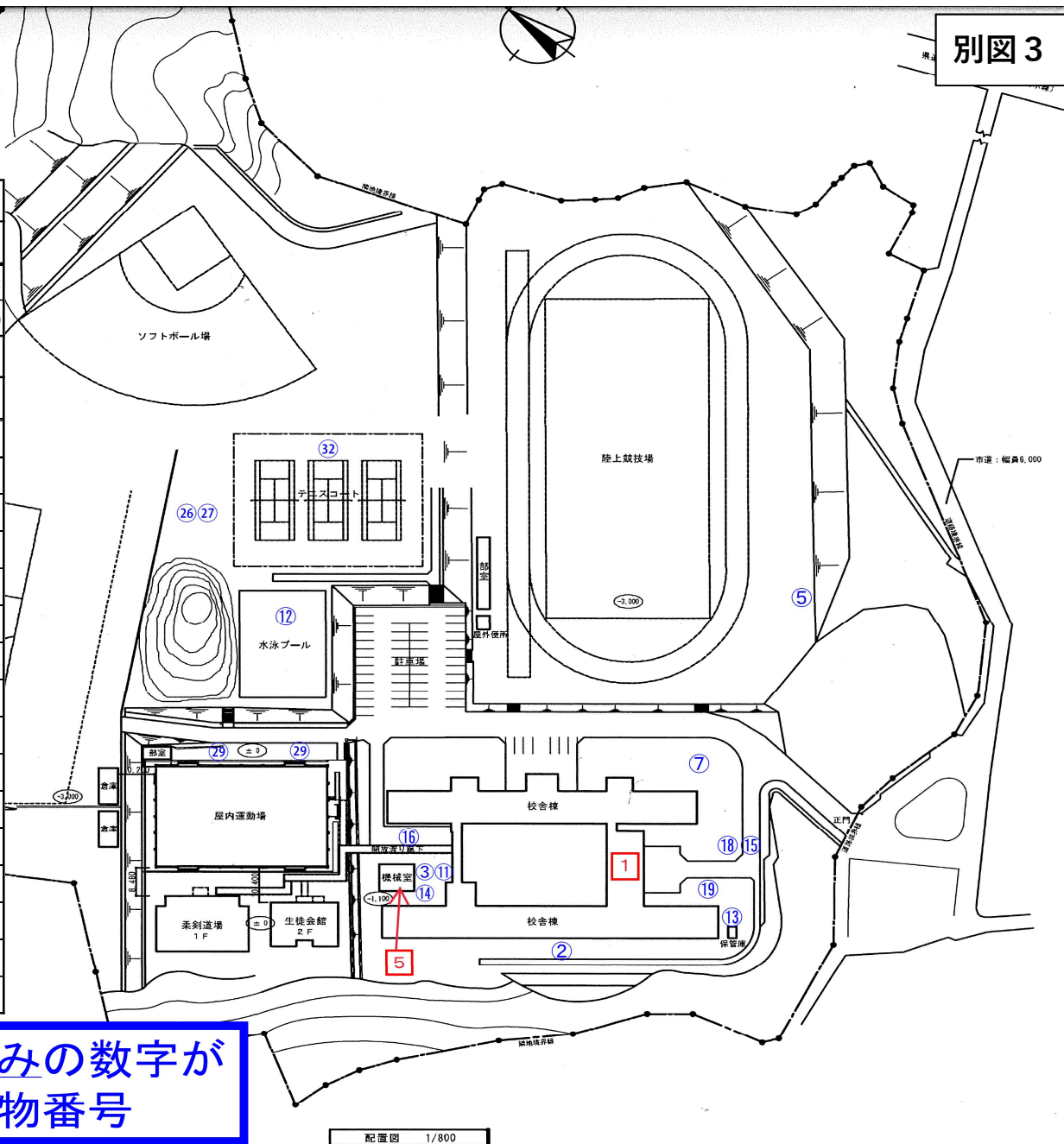
渡り廊下等を計画すること

解体跡地の利活用については現在検討中

解体建物等位置図

解体建物等一覧

(建築物)					
No.	名称	構造	階数	建築年	面積 (㎡)
1	校舎	RC	3	S57	6,431.52
5	機械室	RC	1	S57	80.00
(工作物)					
No.	名称	構造	階数	建築年	備考
2	フェンス	-	-	S57	鉄骨金網張 85.4m
3	キュービクルフェンス	-	-	S57	鉄骨金網 17.0m
5	フェンス	-	-	S60	鉄骨金網張 105.0m
7	外灯	-	-	S57	コンクリート基礎
11	受水槽	-	-	S57	コンクリート基礎
12	プール	S	-	S59	986.1㎡ (28.5m × 34.6m)
13	ゴミ集積場	-	-	S60	耐火レンガ鋼板屋根付
14	キュービクル	-	-	S57	鉄板屋外型高圧キュービクル
15	自転車置場	-	-	S57	鉄骨造 平屋
16	渡り廊下	-	-	S57	鉄骨造 平屋
18	自転車置場	-	-	S58	鉄骨平屋 ルーフデッキ
19	自転車置場	-	-	S63	鉄骨平屋 ルーフデッキ
26	ソフトボール用バックネット	-	-	H10	コンクリート電柱4本 ポリネット 11.8m × 5m
27	ソフトボール用フェンス	-	-	H10	支柱2本 ポリネット 11.0m × 2m
29	照明灯	-	-	H18	コンクリート基礎
32	テニスコートネットフェンス	-	-	H27	金網、門扉付き H2.5m L172.0m



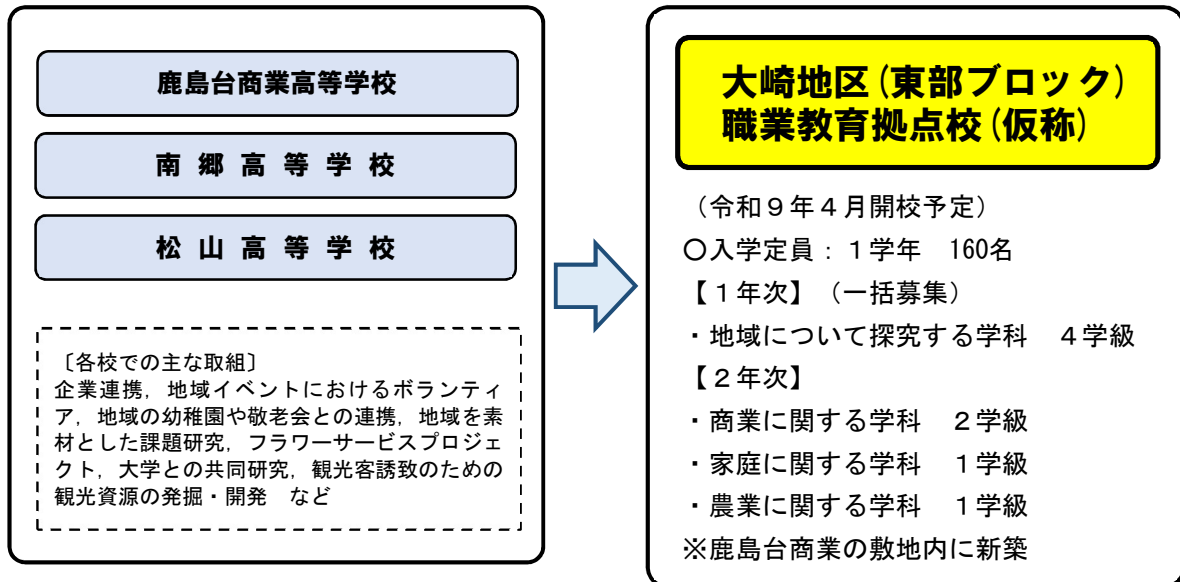
**枠囲みの数字が
建物番号**

**丸囲みの数字が
工作物番号**

大崎地区(東部ブロック)職業教育拠点校(仮称)
教育基本構想

令和3年5月17日

1 再編の概要



2 教育基本構想

基本理念

「食」をテーマとした様々な職業専門的学びを展開

目指す学校像

- 食をテーマとする専門教育を展開し、**社会的・職業的自立に必要な能力を持った生徒**を育成する。
- 各学科の特色ある取組をとおして、**生徒の多様な個性や能力の伸長**を図る。
- 各学科の連携・協働をとおして、**課題設定能力及び課題解決能力を育成**する。
- 地域の教育資源を活用し、地域ブランドの創出や魅力化に取り組み、**地域の活性化に貢献**する。

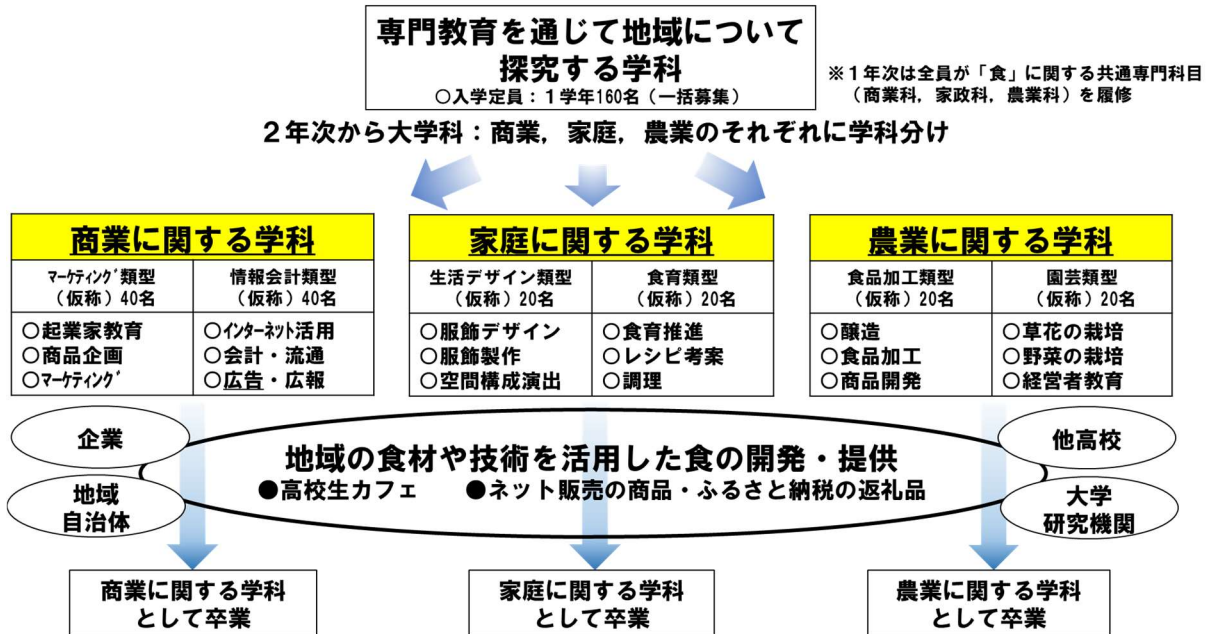
育成する生徒像

- 専門性を活かし、**各分野でよりよい社会の創造に貢献**することができる生徒
- 多様性を受容し、様々な人と協働して**新たな価値を創造**することができる生徒
- **自ら考え行動し、課題の解決に向けて意欲的に取り組む**ことができる生徒
- 地域との連携をとおして、**郷土に対する誇り**をもち、**地域の発展に貢献**することができる生徒

設置学科・類型

地域について探究する学科として一括募集し、2年次から商業、家庭、農業に関する3学科を設置する

概要図



※一括募集により地域について探究する学科に入学し、2年次から専門学科を選択し、それぞれの専門学科を卒業する。

各学科概要

商業に関する学科

起業家教育を通じて経営ノウハウを身に付け、地域の素材を生かした新たなブランドの創出を行うほか、インターネットを活用した商品の流通や販売などを学ぶ学科。

家庭に関する学科

保育・調理に関するノウハウを身に付け、地域の素材を活用した幅広い年代に対する食育の推進を行うほか、服飾デザイン・製作、食空間の構成・演出などを学ぶ学科。

農業に関する学科

農産物の栽培技術や農業経営のノウハウを身に付け、地域の野菜や草花の栽培を行うほか、醸造を含めた食品加工の技術などを学ぶ学科。

教育課程

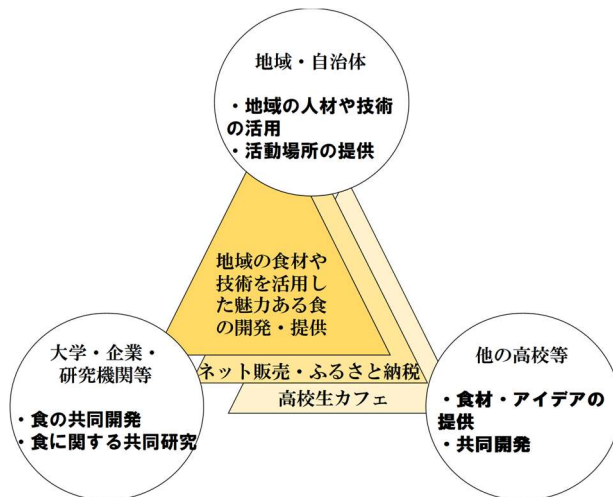
基本方針

- 食をテーマとする各分野について、**基本的な知識・技能の定着が図られる**とともに**系統的な学びが展開**されるように科目を配置する。
- **生徒の主体性や協働性を育成**できる学びを実践する。
- 学科間及び地域と密接に連携し、地域の資源を活用しながら地域ブランドの創出や魅力化に取り組み、**地域への貢献**を目指す。

教育課程例

1年生	共通教科・科目 (22単位程度)	共通専門科目 (7単位程度)	課題研究 (1単位)
2年生	共通教科・科目 (15単位程度)	専門科目 (14単位程度)	課題研究 (1単位)
3年生	共通教科・科目 (11単位程度)	専門科目 (18単位程度)	課題研究 (1単位)

学びのフィールド



【地域・自治体】

- 地域の保育所や幼稚園，介護施設等と共同で食の開発・提供を行うとともに食育を推進
- 空き店舗等を活用したカフェ経営及び道の駅や地元イベント，小売店等での物販
- 小中学校やこども食堂との連携

【大学・企業・研究機関等】

- 古川農業試験場，東北大学大学院農学研究科川渡フィールドセンター，宮城大学，地元企業等との共同研究や商品開発の実施

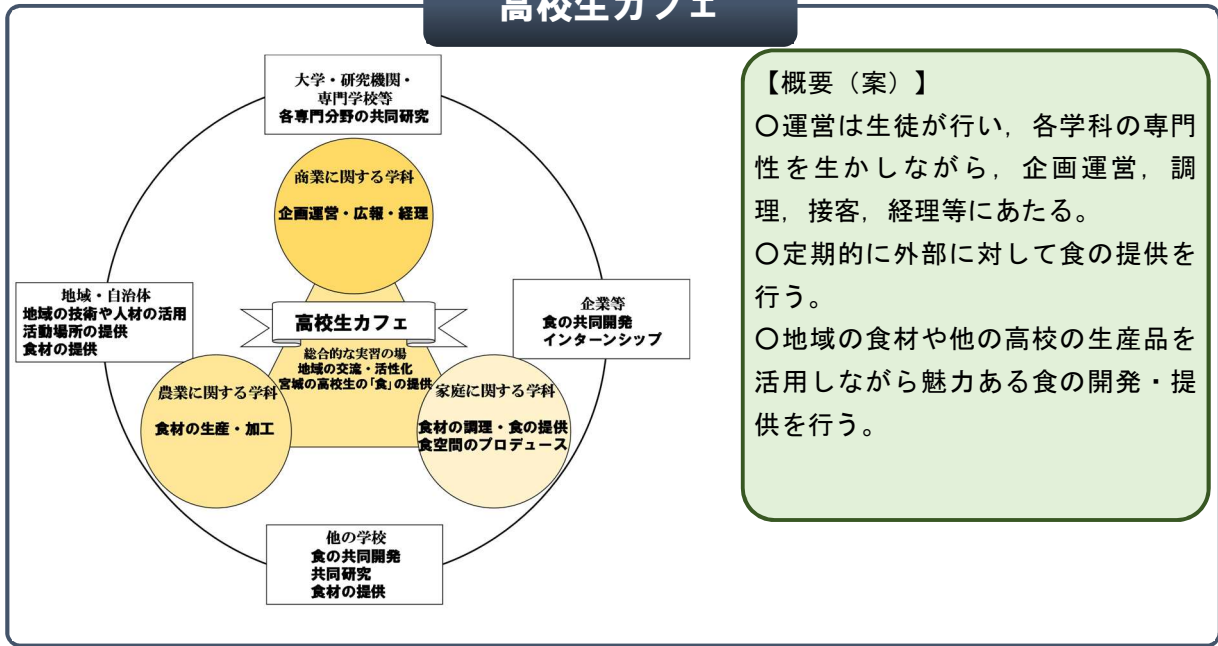
【他の高校等】

- 高校で生産，開発したものを積極的に活用し，「宮城の高校生による食」を提供

【その他】

- 開発商品について，ネット販売やふるさと納税返礼品として活用

高校生カフェ



【概要（案）】
 ○運営は生徒が行い、各学科の専門性を生かしながら、企画運営、調理、接客、経理等にあたる。
 ○定期的に外部に対して食の提供を行う。
 ○地域の食材や他の高校の生産品を活用しながら魅力ある食の開発・提供を行う。

3 スケジュール（予定）

○ 準備組織の設置と主な検討内容

年度	準備組織等	
	会議等	主な検討内容
平成30年度	大崎地区における高校の在り方検討会議	魅力ある高校づくりを推進するため、地域・学校関係者から今後の大崎地区の高校の在り方について幅広く意見を聴く。
令和元～2年度	大崎地区（東部ブロック）統合校教育基本構想検討会議	在り方検討会議の議論を踏まえながら、統合校の具体的な学科構成や教育内容の基本的な考え方を整理し、統合校の教育基本構想を策定する。
令和3～5年度	大崎地区職業教育拠点校準備委員会（仮称）	<ul style="list-style-type: none"> ・統合校の学校運営、教育内容、施設・設備等 ・移行期の統合対象校の教育内容等 ・その他、調整が必要な事項
令和6～8年度	開設準備委員会（仮称）	<ul style="list-style-type: none"> ・統合校の学校運営等 ・統合校の諸規程、規約、内規等 ・その他、調整が必要な事項

○ 施設整備計画

年度	施設整備計画
令和3年度	大規模事業評価
令和4年度	設計
令和5年度	↓
令和6年度	新校舎・各実習棟建設工事
令和7年度	↓
令和8年度	↓
令和9年度	供用開始（新設校開校）

大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校整備事業基本構想

1 大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校について

(1) 県立高校将来構想上の位置付け

<これまでの取組み>

宮城県教育委員会では、平成13年3月に時代の要請に対応した高校教育改革の方向性及び高校の整備・改編の方針を示す「県立高校将来構想」を策定し、生徒の多様な個性や特性に対応した魅力ある高校づくりと生徒数の減少に対応した学級減及び学校再編等を進めてきた。

また、平成22年3月には、引き続き減少する生徒数や地域経済のグローバル化、情報化の進展等の県立高校を取り巻く状況の変化に対応した高校のあり方を示すため、「新県立高校将来構想」を策定するとともに、将来構想を着実に推進するため、より具体的な取組を示す「新県立高校将来構想実施計画」（第1次～第3次）を策定し、施策を進めてきた。

<現在の取組み>

東日本大震災からの復興や少子高齢化、高度情報化など、これまで以上に急激に変化する社会状況に対応するため、平成31年2月に「第3期県立高校将来構想」を策定するとともに、将来構想を着実に推進するため、より具体的な取組を示す「第3期県立高校将来構想第1次実施計画」を令和2年7月に策定した。

大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校（以下「新設校」という。）は、第3期県立高校将来構想第1次実施計画において、松山高校（2学級）、鹿島台商業高校（3学級）及び南郷高校（2学級）を再編統合し、新たに職業教育拠点校（4学級）を設置するものとして位置づけている。

(2) 再編統合の背景

宮城県の中学校卒業生数は、昭和38年3月の49,909人をピークに増減はあるものの減少傾向が続き、令和3年3月には19,235人となっている。

この少子化に伴う中学校卒業生数の減少は全県的な傾向で、今後もさらに続くことが見込まれており、中学校卒業生数に合わせて、県立高校の定員を適正な規模とすることと併せて、活力ある高校の存続に向けてより一層の取組が求められている。

大崎地区（東部ブロック）においても中学校卒業生数の減少は例外ではなく、このような取組の一環として、大崎地区（東部ブロック）にある3つの高校（松山高校、鹿島台商業高校、南郷高校）を再編し、既存の専門学科や学びの取組を基本としながら、新たな魅力ある職業教育拠点校を設置することとした。

(3) 統合に向けた取組状況

イ 大崎地区における高校の在り方検討会議（平成30年度）

地元の行政、教育関係者などで構成する「大崎地区における高校の在り方検討会議」

を5回開催し、大崎地区（東部ブロック）における高校の将来像等を検討し、報告書を取りまとめた。

【報告書の内容（検討会議の結論）】

- ・ 少子化等の社会が変化する中においても、東部ブロックに所在する学校全体で学びの選択幅を確保し、職業人材を育成する。
- ・ 現在、東部ブロックに所在する5校（松山、鹿島台商業、南郷、涌谷、小牛田農林）のうち、松山高校、鹿島台商業高校及び南郷高校を再編し、3校体制とする。
- ・ 新設校に設置する学科については、既存校に設置されている専門学科及び学びを基本とした上で、併せて社会や地域ニーズに応じた新たな学科の設置も含めて検討する。

□ 第3期県立高校将来構想第1次実施計画（令和2年度）

平成31年度（令和元年度）から令和10年度までの県立高校の今後の方向性を示した「第3期県立高校将来構想」のアクションプランである「第1次実施計画」に「大崎地区（東部ブロック）における職業教育拠点校の設置」として位置づけた。

ハ 大崎地区（東部ブロック）統合校教育基本構想検討会議（令和元年度～令和2年度）

「大崎地区における高校の在り方検討会議」での議論を踏まえ、松山高校、鹿島台商業高校及び南郷高校の再編統合校における具体的な学科構成、教育内容及び教育施設等の検討を行うため、大崎地区（東部ブロック）統合校教育基本構想検討会議を開催し、大崎地区（東部ブロック）統合校教育基本構想を策定した。

（4）統合対象校の状況について

統合対象校の松山高校、鹿島台商業高校及び南郷高校の状況は4頁の表のとおり。

（5）統合対象校の特色・特徴的な取組みについて

イ 松山高校

（イ）家庭に関する学科

衣食住、家庭・被服、保育、調理についての基礎的・基本的な知識と技術を学び、2年生からはより専門性を深めるため、被服、保育、調理の3コースを設け、資格取得に挑戦し、授業で学んだ成果を文化祭や家庭科発表会で披露している。特にファッションショーは、地域の方々から喜ばれ、高く評価されている。

（ロ）学科の特徴を生かした学び

家政科の生徒が家庭クラブに所属し、学校や地域の生活の充実向上を図るために個人では解決できない問題について取り上げ、家庭科の学習で得た知識や技術を活かし、グループで協力しながら実践活動を行っている。また、他校にはないピアノレッスン用個室といった充実した施設設備があり、特別授業では社会人講師からピアノの技を学ぶことができる。

（ハ）家庭科技術検定

被服（和服・洋服）、食物、保育について全国統一の問題による検定試験を行い、

合格によって知識と技能の習得の証とすることができ、進路に役立てることができ
る。

(二) 習熟度別学習

数学と英語で少人数の編成による学習を展開し、個々のレベルに合わせた指導を
行うとともに、必要に応じて学び直しを行うことで自信に繋がるよう意欲的に取り
組んでいる。

□ 鹿島台商業高校

(イ) 商業に関する学科

商業の分野であるマーケティング・ビジネス経済・会計・ビジネス情報に関する
科目について系統的に学び、資格取得に挑戦し、産業界の経済活動に総合的に対応
できる職業人の育成を目指している。

(ロ) 学科の特徴を生かした学び

1年生の総合的な探究の時間で販売実習、2年生で地域企業等とタイアップして
商品開発と販売を行い、3年生の学校設定科目「地域ビジネスプランニング」では、
地域の経済活動や社会活動の中から課題を設定し、体験活動を通して解決策の考案
を行い、学んだ成果を発表している。

(ハ) キャリア教育

全学年対象に40名ほどの講師が来校し、キャリアセミナーを開催している。興
味がある講師を選び、実際に働いている人の考えや体験談を聞くことで、職業観や
勤労観を養い、新たな価値観の創造に繋げている。

八 南郷高校

(イ) 県内唯一の農業、工業、商業を総合的に学習する学科

農業教科を基礎として、地域産業に根ざした工業や商業の教科も合わせ、産業技
術に関する基礎的・基本的な学習を幅広く行っている。野菜・草花・作物といった
農業に関する科目のほかに、商業科目としてビジネス情報や情報処理、工業科目と
して工業技術基礎、機械工作、機械製図などの科目も学習している。

(ロ) 学科の特徴を生かした学び

産業技術科の生徒が農業クラブに所属し、意見発表大会や農業鑑定大会などを通
して、「科学性」「社会性」「指導性」を高め、農業はもとより、幅広い産業分野で活
躍できる優れた資質を身につけるよう自主的・自発的な活動を行っている。

(ハ) 地域貢献・支援

地域に開かれた学校として、復興支援活動や異世代間交流活動、地域を豊かに彩
るフラワーサービスプロジェクトなど、様々な地域貢献活動を実施している。フラ
ワーサービスプロジェクトでは、地域の施設や学校などに、生徒と教員が訪問し、
地域に草花を花壇やプランターに植栽し、異世代間コミュニケーション能力の向上
とボランティア精神を育んでいる。

○対象校の状況について

統合対象校	松山高校				鹿島台商業高校				南郷高校															
立地	大崎市				大崎市				遠田郡美里町															
創立	昭和55年				昭和25年				昭和6年															
沿革	昭和7年に志田郡松山町立松山女子専修学校として開校後、学制改革を経て、昭和55年に独立。				昭和25年に宮城県南郷農業高校鹿島台分校として開校後、地域の要望等により、昭和44年に独立。				町民（村民）の要望と旧南郷町の篤志家野田真一翁による浄財により、昭和6年に宮城県遠田郡南郷村立国民高等学校として開校。															
校訓	意欲・創造・規律・連帯				努力（以て道を拓き）・誠実（以て衆に奉ず）				礼譲和協															
定員（1学年）	80人				120人				80人															
学科	普通科1・家政科1				商業科3				普通科1・産業技術科1															
現校舎建築年	平成2年11月（築31年）				昭和57年7月（築39年）				昭和54年9月・昭和55年3月（築42年・41年）															
充足率		H31		R2		R3			H31		R2		R3											
	普通科	57.5%		57.5%		50.0%		商業科	65.8%		39.2%		18.3%											
	家政科	92.5%		92.5%		70.0%		産業技術科	62.5%		57.5%		27.5%											
出身中学地区 （R3学校要覧） ※太字は立地市町	大崎市		85		55.9%		大崎市		28		19.9%		大崎市		17		22.7%							
	加美町		1		0.7%		加美町		1		0.7%		加美町		0		—							
	色麻町		1		0.7%		色麻町		0		—		色麻町		0		—							
	美里町		28		18.4%		美里町		13		9.2%		美里町		18		24.0%							
	涌谷町		5		3.3%		涌谷町		0		—		涌谷町		6		8.0%							
	その他		32		21.0%		その他		99		70.2%		その他		34		45.3%							
	計		152		100.0%		計		141		100.0%		計		75		100.0%							
進路	学科	進路	H30.3卒		H31.3卒		R2.3卒		学科	進路	H30.3卒		H31.3卒		R2.3卒		学科	進路	H30.3卒		H31.3卒		R2.3卒	
			人	%	人	%	人	%			人	%	人	%	人	%			人	%	人	%	人	%
	普通	大学等	2	9.5%	2	11.1%	2	11.1%	商業	大学等	3	4.2%	6	7.1%	5	6.3%	普通	大学等	6	16.7%	1	4.5%	0	0.0%
		専修等	7	33.3%	5	27.8%	6	33.3%		専修等	19	26.4%	19	22.4%	9	11.3%		専修等	5	13.9%	3	13.6%	7	43.8%
		就職等	10	47.6%	11	61.1%	10	55.6%		就職等	50	69.4%	59	69.4%	62	77.5%		就職等	25	69.4%	17	77.3%	5	31.3%
		その他	2	9.5%	0	0.0%	0	0.0%		その他	0	0.0%	1	1.2%	4	5.0%		その他	0	0.0%	1	4.5%	4	25.0%
		計	21	100.0%	18	100.0%	18	100.0%		計	72	100.0%	85	100.0%	80	100.0%		計	36	100.0%	22	100.0%	16	100.0%
	家政	大学等	9	34.6%	4	12.5%	8	25.0%	農業	大学等	0	0.0%	1	3.2%	0	0.0%	農業	大学等	0	0.0%	1	3.2%	0	0.0%
		専修等	7	26.9%	11	34.4%	7	21.9%		専修等	9	27.3%	2	6.5%	4	13.3%		専修等	9	27.3%	2	6.5%	4	13.3%
		就職等	10	38.5%	16	50.0%	16	50.0%		就職等	24	72.7%	26	83.9%	18	60.0%		就職等	24	72.7%	26	83.9%	18	60.0%
		その他	0	0.0%	1	3.1%	1	3.1%		その他	0	0.0%	2	6.5%	8	26.7%		その他	0	0.0%	2	6.5%	8	26.7%
		計	26	100.0%	32	100.0%	32	100.0%		計	33	100.0%	31	100.0%	30	100.0%		計	33	100.0%	31	100.0%	30	100.0%

※令和3年11月現在

2 新設校の目指すべき方向性

(1) 学校の概要

入学定員 1 学年 4 学級 160 名

基本理念：「食」をテーマとした様々な職業専門的学びを展開

学科 (1 年次)	学科 (2 年次以降)	類型 (いずれも仮称)	定員	主な学習内容
地域について 探究する学科 (一括募集)	商業に関する 学科 (大学科：商業) 2 学級 80 名	マーケティング類型	40 名	・起業家教育 ・商品企画 ・マーケティング
		情報会計類型	40 名	・インターネット活用 ・会計、流通 ・広告・広報
	家庭に関する 学科 (大学科：家庭) 1 学級 40 名	生活デザイン類型	20 名	・服飾デザイン ・服飾製作 ・空間構成演出
		食育類型	20 名	・食育推進 ・レシピ考案 ・調理
	農業に関する 学科 (大学科：農業) 1 学級 40 名	食品加工類型	20 名	・醸造 ・食品加工 ・商品開発
		園芸類型	20 名	・草花の栽培 ・野菜の栽培 ・経営者教育

(2) 各学科の概要

イ 商業に関する学科

起業家教育を通じて経営ノウハウを身に付け、地域の素材を生かした新たなブランドの創出を行うほか、インターネットを活用した商品の流通や販売などを学ぶ。

ロ 家庭に関する学科

保育・調理に関するノウハウを身に付け、地域の素材を活用した幅広い年代に対する食育の推進を行うほか、服飾デザイン・製作、食空間の構成・演出などを学ぶ。

ハ 農業に関する学科

農産物の栽培技術や農業経営のノウハウを身に付け、地域の野菜や草花の栽培を行うほか、醸造を含めた食品加工の技術などを学ぶ。

(3) 目指すべき学校像

- ・ 食をテーマとする専門教育を展開し、社会的・職業的自立に必要な能力を持った生徒を育成する。
- ・ 各学科の特色ある取組をとおして、生徒の多様な個性や能力の伸長を図る。
- ・ 各学科の連携・協働をとおして、課題設定能力及び課題解決能力を育成する。
- ・ 地域の教育資源を活用し、地域ブランドの創出や魅力化に取り組み、地域の活性化に貢献する。

(4) 育成する生徒像

- ・ 専門性を活かし、各分野でよりよい社会の創造に貢献することができる生徒
- ・ 多様性を受容し、様々な人と協働して新たな価値を創造することができる生徒
- ・ 自ら考え行動し、課題の解決に向けて意欲的に取り組むことができる生徒
- ・ 地域との連携をとおして、郷土に対する誇りをもち、地域の発展に貢献することができる生徒

(5) 教育課程の基本方針

- ・ 食をテーマとする各分野について、基本的な知識・技能の定着が図られるとともに体系的な学びが展開されるように科目を配置する。
- ・ 生徒の主体性や協働性を育成できる学びを実践する。
- ・ 学科間及び地域と密接に連携し、地域の資源を利活用しながら地域ブランドの創出や魅力化に取り組み、地域への貢献を目指す。

(6) 学びのフィールド（想定される連携機関）

イ 地域・自治体

- ・ 地域の保育所や幼稚園，介護施設等と共同で食の開発・提供を行うとともに食育を推進
- ・ 空き店舗等を活用したカフェ経営及び道の駅や地元イベント，小売店等での物販
- ・ 小中学校やこども食堂との連携

ロ 大学・企業・研究機関等

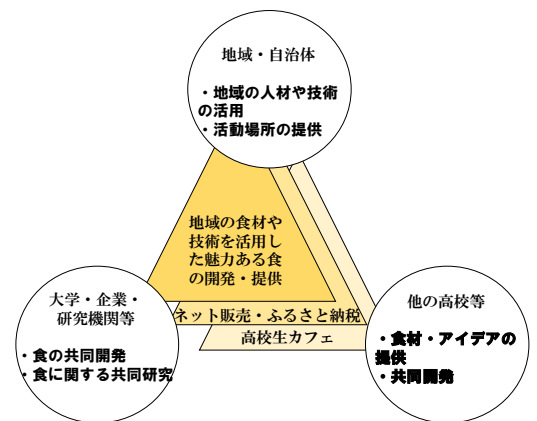
- ・ 古川農業試験場，東北大学大学院農学研究科川渡フィールドセンター，宮城大学，地元企業等との共同研究や商品開発の実施

ハ 他の高校等

- ・ 高校で生産，開発したものを積極的に活用し、「宮城の高校生による食」を提供

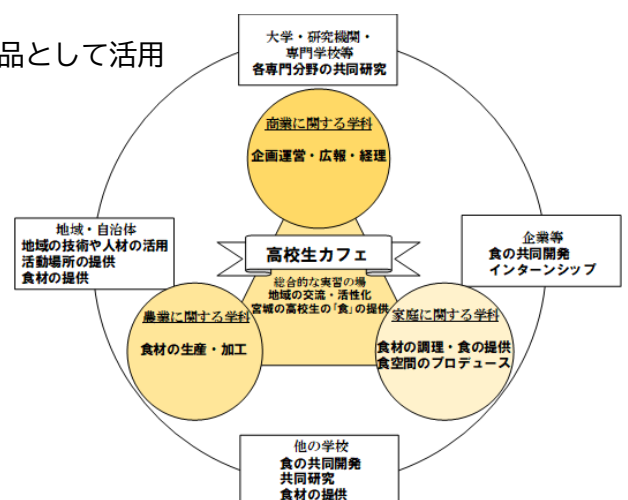
ニ その他

- ・ 開発商品について，ネット販売やふるさと納税返礼品として活用



(7) 特徴的な取組み：高校生カフェ

- ・ 運営は生徒が行い，各学科の専門性を生かしながら，企画運営，調理，接客，経理等にあたる。
- ・ 定期的に外部に対して食の提供を行う。
- ・ 地域の食材や他の高校の生産品を活用しながら魅力ある食の開発・提供を行う。



2 新設校の施設整備方針

(1) 整備概要

イ 予定地 大崎市鹿島台広長字空師前4 4 (鹿島台商業高校内)

□ 敷地面積 82,614.76㎡

ハ 法的規制等

法令	条文	規制の内容	
都市計画法	第 8 条第 1 項	用途地域	無指定 (非線引き都市計画区域) 建坪率 70% 容積率 200%
	第 2 9 条第 1 項	開発許可	50cm以上の造成を伴う場合は許可が必要
建築基準法	第 2 2 条第 1 項	防火地域及び 準防火地域以 外の市街地	屋根の構造
文化財保護法	第 9 2 条第 1 項 ほか	埋蔵文化財 指定文化財	非該当
森林法	第 1 0 条の 2	開発許可	非該当
農地法	第 4 条	農地転用	非該当
自然公園法	第 2 0 条第 3 項	国立公園 国定公園	非該当
県立自然公園 条例	第 1 0 条第 3 項	県立自然公園	非該当
河川法	第 5 5 条第 1 項	河川保全区域	非該当

(2) 建物

イ 新設建物

名称	面積 (予定)	階数 (予定)
校舎棟	7,190.00㎡	3階
農業系実習棟	2,143.00㎡	2階
家庭系実習棟	1,142.00㎡	2階

※ ゾーニングイメージ例は図1のとおり。

□ 仮設建物

建設予定なし

八 解体建物等

《建物》

建物 番号	名称	構造	階数	築年	面積等 (㎡)
1	校舎	RC	3	S57	6,431.52 ㎡
5	機械室	RC	1	S57	80.00 ㎡

《工作物》

工作物 番号	名称	構造	階数	築年	面積等 (㎡)
2	フェンス	—	—	S57	鉄骨金網張 85.4m
3	キュービクルフェンス	—	—	S57	鉄骨金網 17m
5	フェンス	—	—	S60	鉄骨金網張 H1.2m 105.0m
7	外灯	—	—	S57	コンクリート基礎 HST1-200・T4.5
11	受水槽	—	—	S57	コンクリート基礎 鉄骨架台 36t
12	プール	S	—	S59	約 986.1 ㎡ (28.5m×34.6m)
13	ゴミ集積場	—	—	S60	耐火レンガ鋼板屋根付
14	キュービクル	—	—	S57	鉄板屋外型高圧キュービクル
15	自転車置場	—	—	S57	鉄骨造 平屋
16	渡廊下	—	—	S57	鉄骨造 平屋
18	自転車置場	—	—	S58	鉄骨平屋 ルーフデッキ
19	自転車置場	—	—	S63	鉄骨平屋 ルーフデッキ
26	ソフトボール用バックネット	—	—	H10	コンクリート電柱4本 ポリネット 11.8m×5m
27	ソフトボール用フェンス	—	—	H10	支柱2本 ポリネット 11.00×2.03m
29	照明灯	—	—	H18	コンクリート基礎 灯具モールライト
32	テニスコートネットフェンス	—	—	H27	金網 門扉付き H2.5m L172.0m

※ 解体建物・工作物等の配置状況は図2のとおり。

※ 工作物番号12（プール）及び32（テニスコートネットフェンス）は校舎・実習棟を建設する前に解体し、それ以外は新設校開校後に解体する。

※ 工作物番号2（フェンス）及び5（フェンス）は、解体後に併せて再建する。

3 施設整備の基本的事項

- (1) 開校予定は令和9年4月とする。
- (2) 開校までに整備するのは、校舎棟、農業系実習棟及び家庭系実習棟とする。
- (3) 鹿島台商業高校の既存校舎等は新設校開校後に解体する。(解体後の敷地の利活用については未定であり、今後検討する。)
- (4) 体育館や武道館は、既存施設の活用を前提とする。
- (5) 具体の設計に当たっては、以下の点に留意する。

<校舎>

- ・ 特別教室型とするが、学科、学年の垣根を越えた交流が図れる配置とする。
- ・ 学科間連携、地域連携を図る施設として、1学年全員(160人)を収容でき、研究発表等のプレゼンテーションや外部講師を招聘した講義にも対応できる大講義室を設置する。
- ・ 生徒間の交流が図れる又は生徒の居場所となるような多目的スペース(飲食スペース)を設置する。
- ・ 図書室やその他共用空間等を活用したラーニングコモンスの設置を検討する。

<家庭系実習棟>

- ・ 高校生カフェの実施運営に対応できる総合調理実習室や厨房、飲食スペース等を設置する。
- ・ 高校生カフェは一般の来客があるので、外部の人がアクセスしやすいような配置とするとともに、建物内における動線やセキュリティ等についても配慮する。
- ・ 物販所も兼ねたマーケティング実習室を設置する。(ショーウィンドウやPOSシステム等の導入を想定。)

<農業系実習棟>

- ・ 醸造等に対応できるよう食品加工室を設置する。(食品加工室内には、手洗い、エアシャワー、包装室、醸造室、ボイラー室、麴製造室、麴室、貯蔵室、準備室等の設置を想定。)
- ・ 土足での利用等も想定される農業(基礎)実習室等と食品を取り扱う食品加工室の衛生的な区分けについて配慮して配置する。

<その他>

- ・ 造成工事は行わないため、高低差を含めた既存の敷地を生かして設計する。
- ・ 図1に示すゾーニングイメージや配置イメージ例は基本となるイメージではあるが、それ以外の提案でも差し支えない。ただし、グラウンド及び野球グラウンドには建物の配置は行わないものとする。
- ・ 畑(1,500㎡~2,000㎡)やビニール(パイプ)ハウス(100㎡~150㎡のハウスを最大で7棟程度)等の設置を想定の上、校舎等を配置する。なお、畑やハウスへの日当たり等も考慮する。
- ・ 農業用水は、敷地内に井戸を掘り、地下水を活用することが想定されることを踏まえ、校舎等の配置を検討する。
- ・ 畑での実習や作業により、一定の作業音が発生することが想定されることを踏まえ、校舎等の配置や校舎等内の各部屋の配置等を検討する。
- ・ 校舎及び実習棟については、「4 整備する教室」に示す内訳や面積等を基本とし、校舎及び実習棟全体で10,475㎡を上限とする。なお、校舎及び実習棟については、一体的な建物としても差し支えない。また、2(2)に示す階数以外の提案をしても差し支えない。
- ・ 校舎等は採光、通風、断熱、換気等を考慮して、省エネルギーかつ生徒が健康的に学校生活を送

れるように配慮する。

- ・ 設計に当たっては、将来的な維持管理費（ランニングコスト）が低廉となるよう、建物の構造や外装、内部設備、冷暖房等を計画する。
- ・ 教育におけるICTの活用や今後の情報化の進展を見据え、柔軟性や拡張性を考慮して設計する。
- ・ 家庭系実習棟や農業系実習棟に配置する各施設については、HACCPやJGAP等の衛生管理に関する認証の取得を想定して設計する。（農薬等が体に付着した際に必要なシャワー室等も含む。）
- ・ 既存の駐輪場やその他の施設（受水槽やゴミ集積場、キュービクル、外灯等）は開校後に解体することを踏まえて、校舎等と一体的に設計する。
- ・ 設計に当たり、既存の駐車場の敷地を活用する場合は、同規模の駐車場を校舎等と一体的に設計する。
- ・ プール西側については、木々を伐採し整地の上、活用しても差し支えない。

(6) 周辺住家への粉塵の飛散，騒音等による生活環境悪化を避けるような配置・工事計画とする。

(7) 障害を持つ生徒・教員及び来校者等をはじめ，すべての利用者に配慮してユニバーサルデザイン化を進め，誰でも校舎内の移動が容易となる視点を取り入れて整備する。

(8) 自然エネルギーの活用については，その有効性・経済性を判断した上で導入を検討する。

5 整備する教室等

(1) 校舎 別表1のとおり

(2) 農業系実習棟及び家庭系実習棟 別表2のとおり

6 防犯上の配慮

平時，教員や生徒が使用する入口と外部から来訪者が使用する入口の分離，受付窓口の明確化などによって動線を区別し，外部からの来訪者に対する視認性を確保し，監視機能を強化する。

7 工事中の安全配慮

(1) 工事に当たっては，安全のために極力，生徒の動線と工事関係者の交差は避ける計画とする。

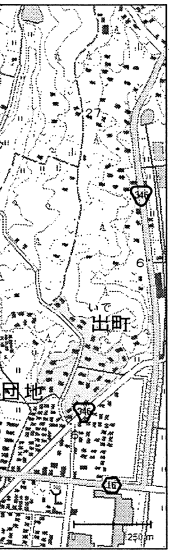
(2) 工事期間中のグラウンド等の利用に当たっては，生徒用の通路を設けて安全を確保する。

(3) 工事車両は校地南東側の市道の使用を想定する。

(4) 工事の騒音・粉塵の影響は，防砂ネット，散水による防塵対策等において最小限になるように配慮するが，学校のテスト等の際には大型車両の通行・騒音等の影響が大きい場合は該当工事を休止することがある。

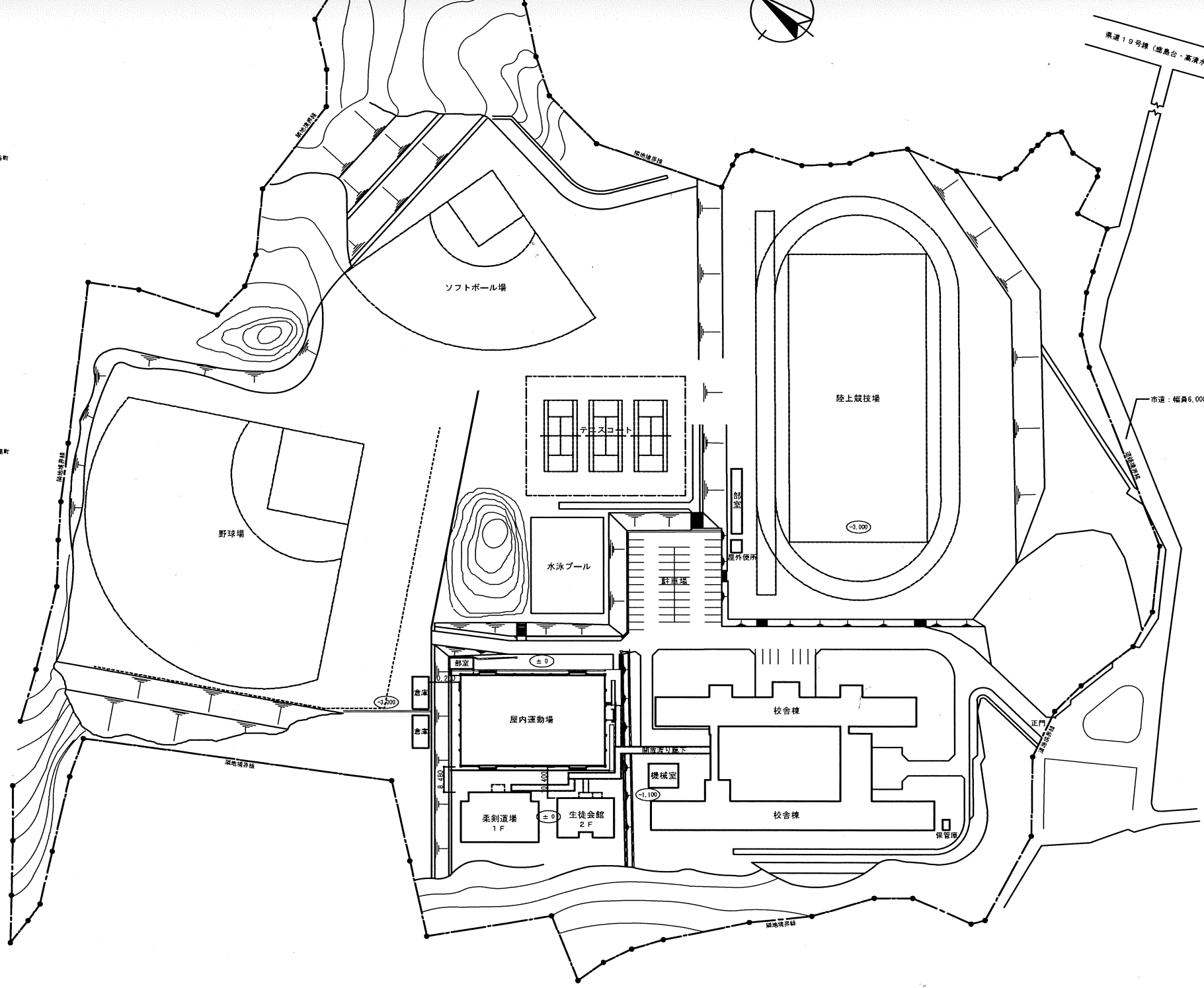
(5) 工事現場事務所等は，学校との調整により工事現場内に設けることができる。





東道19号線(鹿島台・高清水線) 幅員9.0m

市道:幅員6.000



ソフトボール場

陸上競技場

野球場

水泳プール

テニスコート

屋内運動場

校舎棟

乗剣道場 1F

生徒会館 2F

機械室

校舎棟

保管庫

配置図 1/800

(別表1)

校舎棟に整備する教室等

分類	部屋名				備考	
		室	1室面積	総面積		
管理諸室	校長室	1	36.000	36.000		
	応接室	1	36.000	36.000	校長室に隣接	
	職員室	1	216.000	216.000		
	事務室	1	72.000	72.000		
	技師室	1	36.000	36.000		
	印刷室	1	36.000	36.000		
	大会議室	1	144.000	144.000		
	小会議室	1	72.000	72.000		
	放送室	1	18.000	18.000		
	生徒会室	1	36.000	36.000		
	進路指導室	1	72.000	72.000	資料室含む(又は36㎡×2)	
	生徒指導室	2	18.000	36.000		
	生徒相談室	2	18.000	36.000		
	カウンセリング室	1	36.000	36.000		
	保健(指導)室	1	72.000	72.000	資料庫含む	
	図書室	1	144.000	144.000		
	司書室	1	36.000	36.000		
	書庫	1	36.000	36.000	統合前の本を保管等	
	職員更衣室	2	36.000	72.000	男女各1室	
	農業クラブ室	1	36.000	36.000		
	同窓会資料室	1	36.000	36.000	既存校の資料等を保管・展示	
	飲食スペース・売店	1	108.000	108.000		
	備蓄倉庫	1	18.000	18.000	災害対応	
	家庭クラブ室	1	36.000	36.000		
		小計	27		1,476.000	
	普通教室	普通教室	12	72.000	864.000	
		選択教室	6	72.000	432.000	3学科×2(類型)
大講義室		1	198.000	198.000	3学科連携学習に使用(※)	
大講義室準備室		1	36.000	36.000		
小計		20		1,530.000		
特別教室	理科(実験)室	2	126.000	252.000	物理化学・生物地学	
	理科(実験)準備室	1	36.000	36.000	隣接共用・薬品庫兼を想定	
	音楽室(ピアノ室)	1	156.000	156.000	音楽室に加え、ピアノ室を設置(5室程度30㎡程)	
	音楽準備室	1	36.000	36.000	楽器庫含む	
	被服(実習)室	1	126.000	126.000		
	被服(実習)準備室	1	18.000	18.000	保育室との隣接共用も検討	
	調理(実習)室	1	126.000	126.000		
	調理(実習)準備室	1	36.000	36.000		
	保育実習室	1	126.000	126.000		
	保育実習準備室	1	36.000	36.000	被服室との隣接共用も検討	
	コンピュータ室	1	126.000	126.000		
	サーバ室(マシンルーム)	1	36.000	36.000	一部準備室	
	情報処理(実習)室	2	126.000	252.000		
	総合(OA)実践室	1	126.000	126.000		
	商業科準備室	1	36.000	36.000		
		小計	17		1,524.000	
共用部分(37%)				2,660.000	教材室(36㎡程度)や倉庫等を設置	
校舎棟 合計				7,190.000		

※新設校は、学校全体で学科間連携、地域連携を図ることとしているため、大講義室については、1学年全員(160人)を収容でき、研究発表等のプレゼンテーションや外部講師を招聘した講義にも対応できるものとする。

(別表2)
実習棟に整備する教室等
(家庭系実習棟)

部屋名				備考
	室	1室面積	総面積	
家庭科準備室	1	18.00	18.000	
職員更衣室	2	18.00	36.000	男女各1室
生徒更衣室	2	36.00	72.000	男女各1室
講義室	1	72.00	72.000	
総合調理実習室	1	126.00	126.000	高校生カフェ等(下ごしらえ等)
総合調理実習準備室	1	36.00	36.000	高校生カフェ等
食堂(飲食スペース)	1	144.00	144.000	高校生カフェ等
厨房	1	72.00	72.000	高校生カフェ等(調理仕上げ等)
マーケティング実習室(兼物販所)	1	144.00	144.000	
小計	11		720.000	
共用部分(37%)			422.000	
家庭系実習棟 合計			1,142.000	

(農業系実習棟)

部屋名				備考
	室	1室面積	総面積	
農業(基礎)実習室	1	126.00	126.000	
農業準備室・農場管理室	1	36.00	36.000	
職員更衣室	2	18.00	36.000	男女各1室
生徒更衣室	2	36.00	72.000	男女各1室
農業実習室	2	72.00	144.000	
資材室(倉庫)	1	216.00	216.000	既存校の一部資材等を集約
食品加工室	1	360.00	360.000	食品加工室内に手洗い・エアシャワー・包装室・醸造室・ポイラー室・麴製造室・麴室・貯蔵室・準備室等を設置
農機具室	1	288.00	288.000	既存校の一部資機材等を集約
作物収納室	1	72.00	72.000	
小計	10		1,350.000	
共用部分(37%)			793.000	
農業系実習棟 合計			2,143.000	



学 校 要 覧

令和3年度



宮 城 県 松 山 高 等 学 校

〒987-1304 宮城県大崎市松山千石字松山1番地の1
電 話 (0229)55-2313
F A X (0229)55-2314
<https://matuyama-h.myswan.ed.jp/>
E-mail:matuyama-h@od.myswan.ed.jp

宮城県松山高等学校校歌

作詞 永野為武
作曲 片岡良和

Moderato

1. な る 一 せ の な が れ そ う そ う と れ き し の
 り 一 こ ま や ま は せ い れ つ の ゆ き い た

ひ び 一 き た ゆ 一 み な 一 く は ぐ 一 ろ の や ま に は
 だ い 一 て は る 一 か に 一 も た か 一 い り そ う を あ

な 一 か お り ま つ せ ん ざ 一 い 一 の さ か え あ
 お 一 ぐ と き じ ゆ う の つ 一 ば 一 さ お と た て

る み ど り の だ い ち ゆ た り か に 一 も せ い
 て へ い わ の さ と に ふ り そ そ 一 ぐ し ぜ

し ゅ ん も ま た け ん 一 こ う に ひ び そ う ぞ う
 ん の さ と し み に 一 う け て み と せ に は え

の ふ え 一 な ら 一 す あ あ か な で よ ま つ
 る き ぼ 一 う の 一 め あ あ た た え よ ま つ

や ま こ う こ う わ れ ら の し る し 2. く
 や ま こ う こ う わ れ ら の し る し

一
 鳴瀬の流れ 涇涇と
 歴史の響き たゆみなく
 羽黒の山に 花かおり
 松千歳の 栄えある
 緑の大地 豊かにも
 青春もまた 健康に
 日々創造の 笛鳴らす
 ああ奏てよ 松山高校
 われらの校章

二
 栗駒山は 清冽の
 雪いただいて 遥かにも
 高い理想を 仰ぐとき
 自由の翼 音たてて
 平和の郷に 降り注ぐ
 自然の啓示 身に受けて
 三年に映える 希望の瞳
 ああ讃えよ 松山高校
 われらの校章

目 次

1	校訓・校是・校章	1
2	学校沿革	1
3	歴代校長	2
4	教育目標	3
5	各部・各学年の重点目標	4
6	教育課程表	5
7	職員組織	6
8	生徒会	10
9	年間行事予定表	11
10	生徒一覽	13
11	進路状況	14
12	日課時刻表	15
13	父母教師会	15
14	同窓会	15
15	施設	16

1 校訓・校是・校章

校 訓 意欲・創造・規律・連帯

校 是 至誠・感恩



校章由来

宮城県松山高等学校は松山城跡（茂庭館跡）に所在するので、茂庭家の重ね剣菱紋の輪郭をとり、その由緒ある歴史をふまえ、生徒と教師がしっかり手を組んで更に新たな文化を創造しようという意味をこめている。

また、左右に松の葉をあしらい、瑞木、松のごとくたくましく常磐なる発展を象徴している。

2 学 校 沿 革

昭和	7.	3.	31	志田郡松山町立松山女子専修学校設立認可
	16.	3.	31	志田郡松山町立松山実科高等女学校設立
	18.	4.	1	志田郡松山町立松山高等女学校に移行（3年制）
	23.	7.	12	宮城県古川女子高等学校松山分校を松山高女跡に設置
	24.	3.	31	志田郡松山町立松山高等女学校を廃校
	55.	3.	31	宮城県古川女子高等学校松山分校を閉校
	55.	4.	1	宮城県松山高等学校開設、第1学年定員普通科男女90名・家政科45名
	55.	4.	1	初代校長 飯村富也就任
	55.	4.	9	宮城県松山高等学校開校式並びに第一回入学式
	55.	9.	19	宮城県松山高等学校開校記念式典
	55.	9.	19	宮城県松山高等学校校歌制定
	56.	3.	2	宮城県松山高等学校第一回卒業式
	58.	4.	1	二代校長 高城公彦就任
	60.	4.	1	三代校長 尾形修二就任
	62.	4.	1	四代校長 森廣雄就任
平成	元.	4.	28	運動場に仮設校舎建築
	元.	7.	10	仮設校舎へ移転
	元.	7.	12	木造校舎解体
	元.	9.	22	宮城県松山高等学校創立十周年記念式典
	元.	10.	18	新校舎建築着工（鉄筋コンクリート造3階建、延面積4,900.42㎡）
	2.	4.	1	五代校長 安藤忠就任
	2.	11.	16	新校舎竣工
	2.	11.	20	新校舎へ移転
	2.	11.	24	新校舎入校式

- 平成 3. 4. 1 六代校長 菅原壽就任
 3. 11. 19 新体育館建築着工（2階建，延面積2,177.48㎡）
 4. 10. 2 新体育館竣工
 4. 11. 9 新体育館柿落とし
 5. 3. 18 グラウンド整備完了
 5. 3. 29 ひょうたん広場完成
 5. 9. 17 校舎・体育館改築落成記念式典
 6. 4. 1 七代校長 千坂篤就任
 6. 4. 1 家政科定員40名
 7. 4. 1 普通科定員86名
 8. 4. 1 八代校長 佐藤勝二郎就任
 8. 4. 1 普通科定員80名
 9. 4. 1 新制服制定
 10. 4. 1 家政科定員男女40名
 11. 4. 1 九代校長 及川浩就任
 11. 9. 24 宮城県松山高等学校創立20周年記念式典
 14. 4. 1 十代校長 鈴木孝和就任
 16. 4. 1 普通科定員40名
 16. 4. 1 十一代校長 林崎義昭就任
 19. 4. 1 十二代校長 奥山恒義就任
 21. 4. 1 十三代校長 伊東玲子就任
 21. 9. 18 宮城県松山高等学校創立30周年記念式典
 25. 4. 1 十四代校長 鈴木茂幸就任
 28. 3. 25 空調設備設置
 28. 4. 1 十五代校長 栗野琴絵就任
 30. 4. 1 十六代校長 徳能順子就任
 令和元. 9. 19 宮城県松山高等学校創立40周年
 3. 4. 1 十七代校長 佐竹潤一就任

3 歴 代 校 長

代	氏 名	就 任 期 間	在任期間
初	飯 村 富 也	昭和55年4月1日～昭和58年3月31日	3 年
2	高 城 公 彦	昭和58年4月1日～昭和60年3月31日	2 年
3	尾 形 修 二	昭和60年4月1日～昭和62年3月31日	2 年
4	森 廣 雄	昭和62年4月1日～平成2年3月31日	3 年
5	安 藤 忠	平成2年4月1日～平成3年3月31日	1 年
6	菅 原 壽	平成3年4月1日～平成6年3月31日	3 年
7	千 坂 篤	平成6年4月1日～平成8年3月31日	2 年
8	佐 藤 勝 二 郎	平成8年4月1日～平成11年3月31日	3 年
9	及 川 浩	平成11年4月1日～平成14年3月31日	3 年
10	鈴 木 孝 和	平成14年4月1日～平成16年3月31日	2 年
11	林 崎 義 昭	平成16年4月1日～平成19年3月31日	3 年
12	奥 山 恒 義	平成19年4月1日～平成21年3月31日	2 年
13	伊 東 玲 子	平成21年4月1日～平成25年3月31日	4 年
14	鈴 木 茂 幸	平成25年4月1日～平成28年3月31日	3 年
15	栗 野 琴 絵	平成28年4月1日～平成30年3月31日	2 年
16	徳 能 順 子	平成30年4月1日～令和3年3月31日	3 年
17	佐 竹 潤 一	令和3年4月1日～	

4 教 育 目 標

令和3年度 宮城県松山高等学校教育目標

○ 教 育 目 標

自主自律の精神を培い、常に進取と奉仕の心を持ち豊かな情操を養うと共に、真理の探究に努め、平和を愛し心身ともに健康で品位ある調和のとれた人格の育成をめざす。

- | |
|-----------------------|
| 1 「学」「創」「共」(小規模校の挑戦) |
| 2 地域に貢献できる人材の育成と学校づくり |
| 3 家政科・家庭科の充実 |

○ 学校経営方針

- ① 学習意欲を高め、自主的に学習に取り組む向学心を育てる。
- ② 品位と温情を持ち、常に反省を怠らない人間性を育てる。
- ③ 規律と連帯を重んじ、勤労に誇りをもつ社会性を育てる。
- ④ 能力・適性を開発し、将来の進路や生き方に目を向ける向上心を育てる。

○ 令和3年度 重点目標

<学ぶ楽しさ>

- (1) 授業の充実と基礎学力の向上
 - ① 基礎学力の育成(文章読解力・計算能力・家庭学習時間の確保)
 - ② 全校朝読書の徹底と図書館の積極的活用の工夫
 - ③ 少人数クラスでの習熟度別学習指導(英語)
 - ④ TT(ティームティーチング)による授業実践(数学)
 - ⑤ 授業力の向上
学ぶ楽しさを実感させる工夫
授業研究、互見授業(「学び合い」の土壌づくり)
- (2) 教育内容の理解を広げる取り組み
 - ① 基礎・基本の徹底と専門性を高める指導(実習の充実、更に発展的な学習へ)
 - ② 「通級による指導」によるサポート体制の充実
 - ③ 普通科における家庭科教育の充実
 - ④ 家庭科技術検定ほか、資格取得の推進

<自分を創る>

- (1) 自己実現を目標とした生徒指導
 - ① 全職員の共通理解による指導体制の充実・実践
 - ② 基本的生活習慣の見直しと確立・定着
 - ③ 集団生活を通しての規範意識・倫理観の育成
- (2) SST(ソーシャルスキルトレーニング)による社会性の拡充
 - ① 「サポ松」, 「SSTゼミ」でのSSTの実施と一般化
 - ② 「ほっこりカフェ」の計画的な実施
- (3) 「ちゃれんじ松高生」を軸とした志教育
- (4) 進路目標の実現
 - ① 進路指導体制「3ヶ年計画」の充実
 - ② 生徒全員の進路指導の実現(課外授業や個別指導の徹底)
 - ③ 進路意識の昂揚ときめ細やかな指導(インターンシップの実施)の工夫

<共に学び、共に生きる>

- (1) 生徒の人間関係づくり
 - ① 自主的・自発的に行動できる生徒の育成と確かなコミュニケーションづくり
 - ② 相手や他人を「思いやる」心豊かな生徒の育成
- (2) 「共に学ぶ教育推進モデル事業」を活用して共生社会への理解を深める
- (3) 特別活動の活性化と地域から信頼される生徒の育成
 - ① 部活動や課外活動を通じた人間形成の推進
 - ② 主体的活動の場の設定と充実感や達成感を味わえる、活気ある学校づくり
 - ③ 学校活動理解のための情報発信・広報活動の工夫
- (4) 地域に貢献する家政科の取り組み
 - ① 「松翠ゼミ」(県民大学開放講座)の充実
 - ② 被服・調理・保育、各コースの地域連携強化の取り組み

5 各部・各学年の重点目標

総務部	① 最新情報を伝える広報活動の推進 ② 各種式典の円滑な運営 ③ P T A活動の活性化と同窓会の円滑な運営 ④ 朝読書の促進と読書活動・学習支援の充実 ⑤ 実践的な防災活動の推進 ⑥ 奨学金情報伝達の迅速化・詳細化の推進
教務部	① 学力の基礎・基本を育成する。 ② わかる授業を実践する。 ③ 新学習指導要領に向け、内規・規程等の整備及び適切に運用する。 ④ 教務・校務運用システムを活用する。 ⑤ ホームページを活用する。 ⑥ 教務保存資料の整理を図る。
生徒指導部	◆生徒指導関連 ① 社会生活秩序の涵養を図る。 ② 主体的活動を推進し、個性の伸長を図る。 ③ 安全教育の推進と意識の高揚を図る。 ④ 関係諸機関との連携・強化を図る。 ◆保健厚生・教育相談関連 ① 健康的な生活を送るために適切な自己管理ができる生徒を育てる。 ② 安全で安心して生活できる教育環境を整える。 ③ 保健室利用が必要な生徒のケアを十分に行えるよう環境を整える。 ④ 不安や悩みを抱える生徒に対し、教育相談を効果的に活用し、問題の解決を図れるよう援助する。 ⑤ 通級指導・共に学ぶ教育推進モデル事業に関する活動の充実
進路指導部	① 規律ある生活と先を見通す力の育成 ② 志教育計画に基づく、3年間を見通した体系的な進路体制の構築 ③ 生徒全員の進路希望の実現 ④ 進路先との連携を密にし、定着に向けた細やかな指導 ⑤ 2・3学年保護者ガイダンスの実施、HIP等での情報発信
事務部	① 迅速かつ適正な会計処理の推進 ② 学校施設、設備の充実と維持管理の徹底 ③ 就学支援金、奨学給付金、学校徴収金等に係る生徒保護者への的確な対応を行うための情報共有
第一学年	① 基本的な生活習慣の確立 ・時間を意識して行動できる生徒を育成する。 ・健全な生活態度で学校生活を送れる生徒を育成する。 ② 健全な生活態度の育成 ・健全な生活態度で学習に臨む生徒を育成する。 ③ 目標を持つ生徒の育成 ・具体的な目標を持ち、地道に努力できる生徒を育成する。 ④ 望ましい人間関係の構築 ・自分のことだけでなく、相手の立場を考えた行動できる生徒を育成する。 ・日々の学校生活や学校行事を通して、集団としての規範意識を育成する。
第二学年	① 進路目標を具現化できる生徒の育成 ・インターンシップを通して職業観・勤労観を育成する。 ・全体指導とともに個別相談を通して適切な情報を提供する。 ・総合的な探究の時間・LHR等を活用し、生徒が自分自身の将来を見つめ、進路目標を設定し具体化できるように指導する。 ② 健全な生活態度の育成 ・集団行動を通して協調して行動できる生徒を育成する。 ・時間を厳守する生徒を育成する。 ・身だしなみをきちんと整える生徒を育成する。 ③ 基礎学力の充実 ・学習習慣を確立させる。 ・授業を大切にすることを育成する。 ・定期考査への重点的取り組み
第三学年	① 進路目標の実現 ・生徒に正確な進路情報の提供と進路意識の向上を図る。 ・目標の達成に向けた意識付けと自発的な行動を導く支援 ・自主的、意欲的に進路目標を実現させるための取組み ② 生活習慣の確立 ・高校生としてふさわしい健全な生活態度の育成 ・環境整備・美化に対する意識付け ③ 学力の充実 ・社会人として必要な教養と学力の習得 ・社会に適応するために必要な問題解決能力の育成 ・進路指導部と学年の連携
家政科	① 基礎・基本の充実と技術の確立 指導内容を精選し、実験・実習、体験的な学習を積極的に取り入れながら、系統的に指導を行う。また、2年次からコース（被服・保育・調理）に分かれ、家庭科技術検定の資格取得を目指すことにより、生徒の進路意識の向上を推進する。 ② 発展的な学習の推進 課題研究、ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を通して解決すべき諸問題を見だし、問題解決能力を育成する。また、発表の機会（家政科集会・課題研究発表会・家庭科発表会）を設け、学びを深めさせる。 ③ 地域施設・外部企業との連携における人間性の伸長 松山子育て支援総合施設おおぞら園での実習体験、企業・施設の職場見学、外部講師の活用、講演会等を通して、社会との関わりを体験させ、勤労観・職業観を持たせることにより、将来の職業人としての意識を高めさせる。

6 教育課程表

令和3年度実施 教育課程表						
【普通科】			【家政科】 宮城県松山高等学校			
1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年	
1	国語総合	現代文B	国語表現	1	現代文A	国語表現
2				2		
3		3				
4	古典A	現代文B	4	現代社会	地理A	
5			5			
6	世界史A	現代社会	6	数学Ⅰ	数学A	
7			7			
8	数学Ⅰ	数学Ⅱ	8	化学基礎	体育	
9			9			
10			10			
11	科学と人間生活	化学基礎	11	体育	コミュニケーション英語Ⅱ	
12			12			
13	生物基礎	体育	13	保健	選択Ⅰ	
14			14			
15	体育	保健	15	コミュニケーション英語Ⅱ	選択Ⅰ	
16			16			
17	音楽Ⅰ	家庭総合	17	音楽Ⅰ	家庭総合	
18			18			
19	保健	コミュニケーション英語Ⅱ	19	生活産業情報	課題研究	
20			20			
21	音楽Ⅰ	英語表現Ⅰ	21	フードデザイン	子どもの発達と保育	
22			22			
23	コミュニケーション英語Ⅰ	家庭総合	23	家庭総合	ファッション造形	
24			24			
25	社会と情報	選択Ⅲ	25	子ども文化	調理	
26			26			
27	家庭総合	選択Ⅳ	27	ファッション造形基礎	ファッション造形	
28			28			
29	総合的な探究の時間		29	総合的な探究の時間		
30	ロングホームルーム活動		30	ロングホームルーム活動		

普通科・家政科共通	普通科のみ		
選択Ⅰ(4単位) 生物 日本史B 器楽 情報処理	選択Ⅱ(4単位) 化学 英語表現Ⅱ 古典B ビジネス基礎	選択Ⅲ(2単位) 物理基礎 英語会話 電子商取引	選択Ⅳ(2単位) 数学B 音楽Ⅱ スポーツⅡ

【註】①2, 3年の家政科「子ども文化」は音楽分野2単位を含む ②家政科2年の「生活産業情報」は「社会と情報」の代替
 ③選択Ⅰ器楽と選択Ⅳ音楽Ⅱの同時履修不可。④選択Ⅰ情報処理と選択Ⅲ電子商取引は2つを同時に履修すること。

7 職 員 組 織

(1) 教 職 員 数

区分	教 員							A L T	事 務 職 員					学 校 生 活 適 応 支 援 員	就 職 支 援 教 員	ス ク ー ル カ ウ ン セ ー ラ ー	ス ク ー ル シ ャ ル ワ ー カ ー	合 計	学 校 医 生	薬 劑 師
	校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭 等	実 習 助 手	講 師	非 常 勤 講 師		事 務 長	事 務 次 長	主 事	学 校 司 書	技 師 (<small>庁務</small>)							
人数	1	1	17	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	38	4	1

(2) 職 員 一 覧

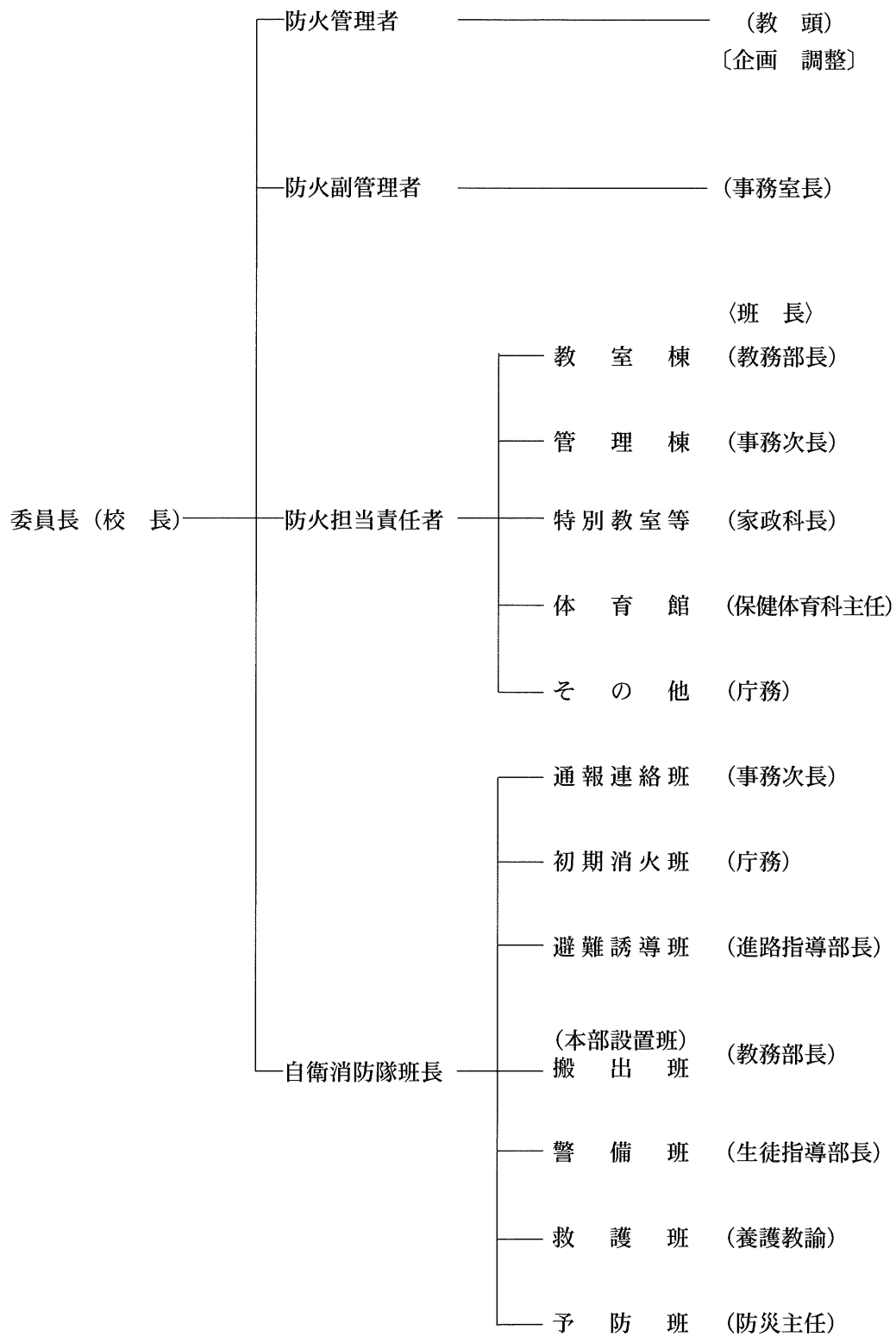
職 名	氏 名	教 科	校 務 分 掌		
			H R	各 部	部 活 動
校 長	佐 竹 潤 一	国 語			
教 頭	井 崎 英 滋	数 学			
教 諭	星 島 太	国 語	3 学 年 主 任	総 務 部 副 部 長	自 然 科 学
教 諭	熊 谷 孝	地 歴 ・ 公 民	3 学 年 所 属	進 路 指 導 部 長	男 子 卓 球
教 諭	深 沼 美 雪	家 庭	2 学 年 所 属	総 務 部 長	総 合 文 化 (マ ル チ)
教 諭	村 上 真 由 美	音 楽 ・ 通 級	1 学 年 所 属	生 徒 指 導 部	総 合 文 化 (美 術)
教 諭	佐 藤 裕 子	家 庭 科 家 政 科 長	1 - 2	正 担 任	進 路 指 導 部 男 女 卓 球
教 諭	高 橋 由 樹	数 学	3 - 2	副 担 任	教 務 部 長 女 子 バ レ ー ボ ー ル
教 諭	阿 部 浩 人	国 語	2 学 年 主 任	生 徒 指 導 部 副 部 長	女 子 バ ド ミ ン ト ン
教 諭	庄 司 朱 見	家 庭	3 - 2	正 担 任	教 務 部 自 然 科 学
教 諭	佐 々 木 亮 子	英 語	1 学 年 主 任	教 務 部 副 部 長	男 女 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル
教 諭	三 浦 輝 彦	理 科	1 - 1	副 担 任	生 徒 指 導 部 吹 奏 楽
教 諭	柴 田 香 子	保 健 体 育	2 - 2	副 担 任	生 徒 指 導 部 長 女 子 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル
教 諭	小 川 彩	数 学	3 - 1	正 担 任	進 路 指 導 部 副 部 長 男 女 バ ド ミ ン ト ン
教 諭	中 野 弘 己	英 語	2 - 1	正 担 任	教 務 部 総 合 文 化 (マ ル チ)
教 諭	大 内 知 美	家 庭	2 - 2	正 担 任	生 徒 指 導 部 調 理 手 芸
教 諭	菅 原 輝	情 報 ・ 商 業	1 - 1	正 担 任	教 務 部 男 子 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル
教 諭	佐 藤 夏 南	音 楽	2 - 1	副 担 任	教 務 部 吹 奏 楽
教 諭	荒 千 尋	家 庭	1 - 2	副 担 任	総 務 部 女 子 卓 球
常 勤 講 師	山 田 勇 司	保 健 体 育	3 - 1	副 担 任	生 徒 指 導 部 男 子 バ ト ミ ン ト ン
就 職 支 援 教 員	佐 々 木 英 一				

職名	氏名	教科	校務分掌		
			H R	各部	部活動
養護教諭	佐藤夏子	養護教諭	1学年所属	生徒指導部	
実習助手	藤田優平	実習助手	2学年所属	進路指導部	総合文化（ダンス）
副参事兼 事務室長	鈴木辰雄				
総括主幹 (事務次長)	伊藤裕康				
主任主査 (学校司書)	大場真紀			総務/図書	
主事	大友夏菜枝				
技師(庁務)	常盤仁				
非常勤講師	嶋津知子	家庭			
非常勤講師	渡邊沙保里	家庭			
非常勤講師	高橋ゆき乃	数学			
非常勤講師	鹿野元気	理科			
非常勤講師	及川弥世	保健体育			
非常勤講師	藤原李菜	英語			
学校生活 適応支援員	金原香代			生徒指導部	総合文化（美術）
スクールカウンセラー	竹内純子				
スクールソーシャルワーカー	鈴田泰子				
A L T	マシユーン ティーマン				
校医	渡邊孝紀	(内科)			
校医	宮崎浩充	(耳鼻科)			
校医	一迫浄	(眼科)			
校医	千葉昌一	(歯科)			
薬剤師	村木さおり				

(3) 校務分掌組織図

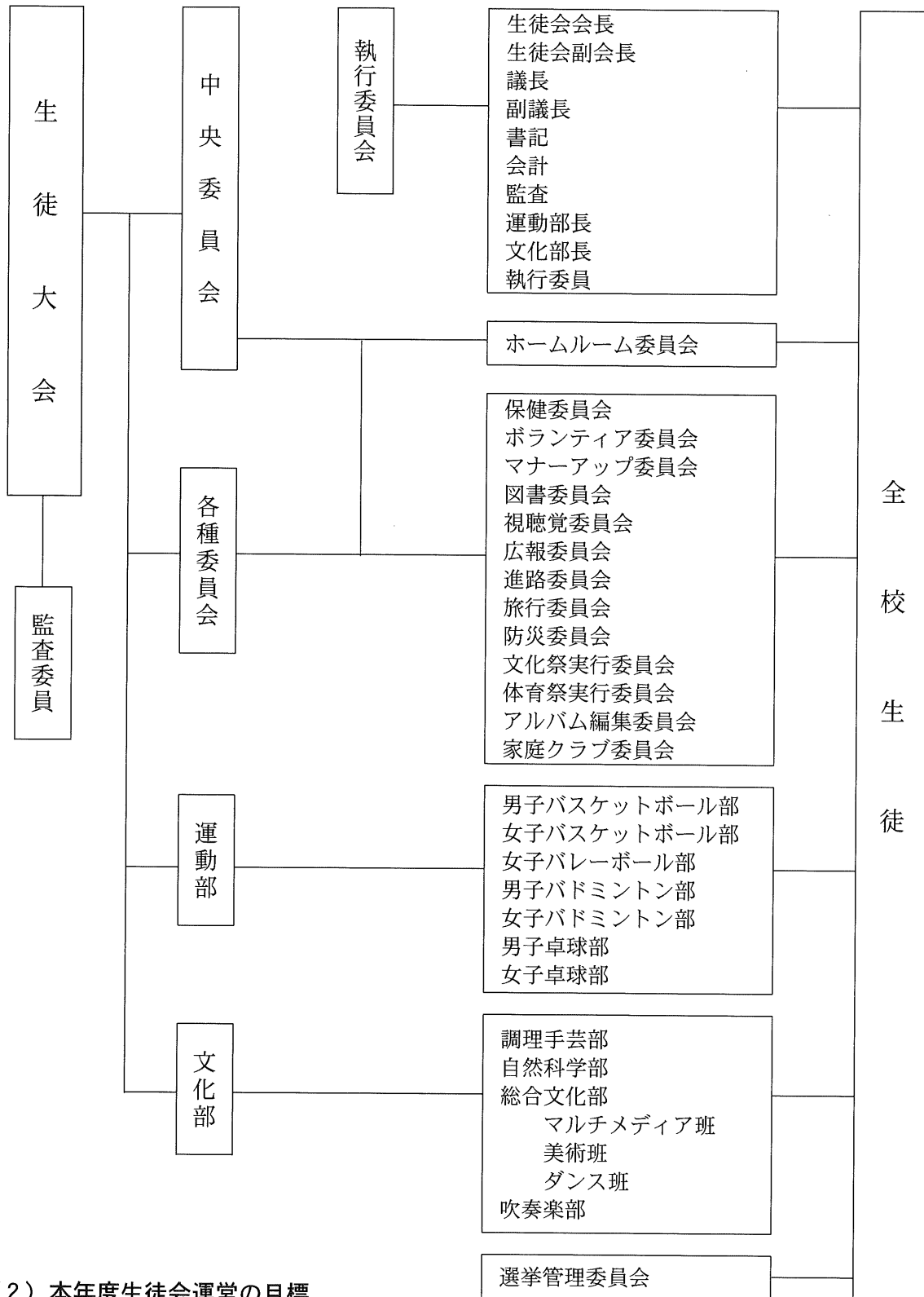


(4) 防火対策委員会組織編成



8 生徒会

(1) 生徒会機構図



(2) 本年度生徒会運営の目標

- ① 生徒一人ひとりが本校生徒会の一員であるという自覚のもとに、意欲的にかつ建設的活動を通じて、望ましい校風創りを目指す。
- ② 部活動及び各種委員会を顧問と生徒が一体になって、計画的かつ活発な運営を行う。

9 令和3年度 年間行事予定表

水曜日 6校時：総合的な総探の時間 金曜日 6校時：：ロング・ホームルーム

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
日	口数	日	口数	日	口数	日	口数	日	口数	日	口数
1	1	1		1	35	1	7	1	14	1	28
木		土		火		木		日		水	
	学年始休業(～7日)↑ 着任式				月間皆勤表彰		7				月間皆勤表彰
2	2	2		2	36	2	8	2	15	2	29
金		日		水		金		月		木	
							運動会 求人票掲示				
3	3	3		3	37	3	3	3	16	3	30
土		月		木		土		火		金	
			憲法記念日				みやぎ県民大学				球技大会
4	4	4		4	38	4		4	17	4	
日		火		金		日		水		土	
			みどりの日		家政科集会③④				3年生就職希望者登校口		
5	5	5		5		5	9	5	18	5	
月		水		土		月		木		日	
			子どもの日		県総体		9		18		
6	6	6	17	6		6	10	6	19	6	31
火		木		日		火		金		月	
			月間皆勤表彰 頭髪服装検査				10		19		31
7	7	7	18	7	39	7	11	7	20	7	32
水		金		月		水		土		火	
			頭髪服装検査 教科研究会(特編)				11		20		32
8	1	8	19	8	40	8	12	8	21	8	33
木		土		火		木		日		水	
	入学式・始業式 頭髪服装検査2・3年		地区総体 生徒登校日		頭髪服装検査		12		21		33
9	2	9		9	41	9	13	9	22	9	34
金		日		水		金		月		木	
	対面式・部活動紹介 個人写真1年 SC SSW				頭髪服装検査 内科検診9:00～		13		22		34
10		10		10	42	10		10	23	10	35
土		月		木		土		火		金	
			振替休日(5/8)				みやぎ県民大学		23		35
11		11	20	11	43	11		11	24	11	
日		火		金		日		水		土	
			頭髪服装再検査		第1回避難訓練		地区別公立高校合同説明会		24		
12	3	12	21	12		12	14	12	25	12	
月		水		土		月		木		日	
	面談週間40分授業(～21日) 頭髪服装再検査2・3年				3年生生徒保護者進路説明会 (3年生登校日)		14		25		
13	4	13	22	13		13	15	13	26	13	36
火		木		日		火		金		月	
	眼科検診 13:10～						15		26		36
14	5	14	23	14	44	14	16	14	27	14	37
水		金		水		水		土		火	
					頭髪服装再検査		16		27		37
15	6	15		15	45	15	17	15	28	15	38
木		土		火		木		日		水	
	結核検診13:30～1年						17		28		38
16	7	16		16	46	16	18	16	29	16	39
金		日		水		金		月		木	
	循環器・血液10:15～						18		29		39
17		17	24	17	47	17		17	30	17	40
土		月		木		土		火		金	
			学校公開週間(～21日)		第1期考査(～22日)				30		40
18		18	25	18	48	18		18	31	18	
日		火		金		日		水		土	
			耳鼻科検診9:30～						31		
19	8	19	26	19		19	19	19	32	19	
月		水		土		月		木		日	
			保育実習心得講話				19		32		開校記念日
20	9	20	27	20		20	20	20	33	20	
火		木		日		火		金		月	
	尿検査		歯科検診9:00～				20		33		敬老の日
21	10	21	28	21	49	21	21	21	34	21	41
水		金		月		水		土		火	
	尿検査						21		34		41
22	11	22		22	50	22		22	35	22	42
木		土		火		木		日		水	
					バイク安全運転講習会				35		42
23	12	23		23	1	23		23	36	23	
金		日		水		金		月		木	
	生徒大会				保育実習②				36		秋分の日
24	13	24	29	24	2	24		24	22	24	43
土		月		木		土		火		金	
	PTA総会 2時間授業								22		43
25		25	30	25	3	25		25	23	25	
日		火		金		日		水		土	
									23		保育実習④ あおぞら園運動会
26	14	26	31	26		26	8	26	24	26	
月		水		土		月		木		日	
			保育実習①		みやぎ県民大学		8		24		
27	15	27	32	27		27	9	27	25	27	44
火		木		日		火		金		月	
							9		25		44
28	16	28	33	28	4	28	10	28		28	45
水		金		月		水		土		火	
							10				45
29		29		29	5	29	11	29		29	46
木		土		火		木		土		水	
	昭和の日						11				46
30		30		30	6	30	12	30	26	30	47
金		日		水		金		月		木	
	振替休日(4/24)				ちゃれんじ松高生(午前)		12		26		47
		31	34			31	13	31	27		
		月				土		火			
※松山組発行(4月)		※第1回予約奨学生説明会 ※松山組発行(5月) ※人事評価(目標)校長面談(2～3週目) ※学校要覧発行		※第1回評議委員会※衛生委員会① ※飲料水検査※松山組発行(6月) ※同窓会役員会※教育後援会役員会		※みやぎ学力状況調査 ※合同企業説明会 古川(7/27又(428)室(7/19)、6巻(7/14) ※松山組(7月)※PTA会報発行(7/21) ※中学校訪問		※松山組発行(8月)		※衛生委員会② 献血※行事検討(前期)会議 ※松山組発行(9月)	

※新型コロナウイルス感染状況により予定が変更となる場合があります。

授業日数	1期	2期	3期	4期	合計
1年生	50日	47日	41日	59日	197日
2年生	50日	47日	42日	59日	198日
3年生	51日	普：47日	41日	40日	普：179日
		家：49日			家：181日

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
日	日数	日	日数	日	日数	日	日数	日	日数	日	日数
1	1	1	10/30振替休日	1	1	1	45	1	33	1	51
金		月		水	1	元	日	火		火	40
2	2	2	23	2	2	2	46	2	34	2	52
土		火		木	2			水	34	水	52
3	3	3		3	3	3	47	3	35	3	53
日		水		金	3			木	35	木	53
4	4	4	24	4	4	4	48	4	36	4	40
月		木		土	4			金	36	金	40
5	5	5	25	5	5	5	49	5	37	5	
火		金		日	5			土	37	土	
6	6	6		6	6	6	50	6		6	
水		土		木	6			日		日	
7	7	7		7	7	7	51	7		7	
木		日		火	7			月		月	
8	8	8	26	8	8	8		8	38	8	41
金		土		土	8			火	38	火	41
9	9	9	27	9	9	9		9	39	9	54
土		火		木	9			水	39	水	54
10	10	10	28	10	10	10		10	40	10	
日		水		金	10			木	40	木	
11	11	11	29	11	11	11	18	11		11	
月		木		土	11			火		金	
12	12	12	30	12	12	12	19	12		12	
火		金		日	12			水		土	
13	13	13		13	13	13	20	13		13	
水		土		火	13			日		日	
14	14	14		14	14	14	21	14	41	14	55
木		日		火	14			月	41	月	55
15	15	15	31	15	15	15		15	42	15	
金		月		土	15			火	42	火	
16	16	16	32	16	16	16		16	43	16	
土		火		木	16			水	43	水	
17	17	17	33	17	17	17	22	17	44	17	56
日		水		金	17			木	44	木	56
18	18	18	34	18	18	18	23	18	45	18	57
月		木		土	18			火	45	火	57
19	19	19	35	19	19	19	24	19		19	
火		金		日	19			土		土	
20	20	20		20	20	20	25	20		20	
水		土		木	20			日		日	
21	21	21		21	21	21	26	21	46	21	
木		日		火	21			月	46	月	
22	22	22	36	22	22	22		22	47	22	58
金		月		水	22			火	47	火	58
23	23	23		23	23	23		23		23	
土		火		木	23			水		水	
24	24	24	37	24	24	24	27	24	48	24	59
日		水		金	24			木	48	木	59
25	25	25	38	25	25	25	28	25	49	25	62
月		木		土	25			火	49	金	62
26	26	26	39	26	26	26	29	26		26	
火		金		日	26			水		土	
27	27	27		27	27	27	30	27		27	
水		土		月	27			日		日	
28	28	28		28	28	28	31	28	50	28	
木		日		火	28			金	50	月	
29	29	29	40	29	29	29		29		29	
金		月		水	29			土		火	
30	30	30	41	30	30	30		30		30	
土		火		木	30			日		水	
31	31	31		31	31	31	32	31		31	
日		金		金	31			月		木	
※高卒者就職面接会 石巻(10月中), 仙台(10/18)		※学校保健委員会 ※松山組発行(11月)		※松山組発行(12月)		※行事検討(後期)会議 ※第2回学校評議員会(1/30)		※衛生委員会③ ※空気検査		※松山組発行(3月)	
※松山組発行(10月)		※学校評価アンケート実施 ※第2回避難訓練				※松山組発行(1月)		※松山組発行(2月)		※PTA会報発行(3/1)	
※中学校訪問						※人事評価(最終)校長面談(4~5週)				※生徒会誌(希望)発行(3/1)	
										※中学校訪問(新入生情報交換)	
										※転入者事務引継	

10 生 徒 一 覧

(1) 在 籍 数

学年	組	男	女	計
1 学年	1組(普通科)	11	9	20
	2組(家政科)	4	24	28
小 計		15	33	48
2 学年	1組(普通科)	12	7	19
	2組(家政科)	6	31	37
小 計		18	38	56
3 学年	1組(普通科)	6	12	18
	2組(家政科)	0	30	30
小 計		6	42	48
合 計		39	113	152

(2) 通学方法及び通学距離

通学方法 通学距離	徒歩	自転車	バス	鉄道	バイク	自動車 保護者送迎	合計
2 km未満	4	1	0	0	0	0	5
2 km以上 5 km未満	4	1	0	2	0	12	19
5 km以上 10 km未満	0	4	2	11	0	11	28
10 km以上 15 km未満	1	1	8	29	1	14	54
15 km以上 20 km未満	0	0	2	13	0	1	16
20 km以上	0	0	0	24	0	6	30
合 計	9	7	12	79	1	44	152

(3) 出身中学校別

市・郡	出身中学 校名	1年		2年		3年		中学校 合計	市町村 合計
		1 組	2 組	1 組	2 組	1 組	2 組		
大 崎 市	古 川	2	1	3	1	2	1	10	85
	古 川 東	1	2	7	6		4	20	
	古 川 西							0	
	古 川 南		5	1	2	2	1	11	
	古 川 北							0	
	三 本 木	2	1	1	8		2	14	
	鹿 島 台		3		1	5	3	12	
	松 山	4	1		3	4	1	13	
田 尻		2		2		1	5		
加 美 郡	小 野 田		1					1	2
	色 麻		1					1	
遠 田 郡	不 動 堂	5	1	1	3	2	2	14	33
	小 牛 田	2	1	2	2	1	3	11	
	南 郷			1	2			3	
	涌 谷				3	1	1	5	
多 賀 城 市	東 豊		1					1	3
	多 賀 城 第 二					1	1	2	
宮 城 郡	松 島		1	1	2		2	6	12
	七 ヶ 浜						1	1	
	利 府		1					1	
	利 府 西							0	
	しらかし台	2						2	
向 洋		2					2		
仙 台 市	田 子		1					1	6
	東 仙 台			1				1	
	西 山				1		2	3	
	中 野							0	
	岩 切 町			1				1	
幸 町							0		
塩 竈 市	玉 川		1				1	2	2
	塩 竈 第 二							0	
栗 原 市	栗 原 南				1			1	2
	高 清 水							0	
	若 柳		1					1	
登 米 市	南 方	2					3	5	5
黒 川 郡	大 郷		1				1	2	2
石 巻 市	桃 生							0	0
クラス合計		20	28	19	37	18	30	152	152

11 進路状況

進路別		令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
進学	4年制大学	1	2	2	5	3
	短期大学	7	8	4	5	8
	専修・各種学校	9	13	16	14	16
就職	公共職業安定所・学校紹介	35	24	27	21	23
	自己縁故就職・自営・家事従事者	1	2	0	1	3
	その他(含 進学準備・進路未定)	1	1	1	1	3
合計		54	50	50	47	56

県別就職状況		令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
県内	古川職安管内	23	9	13	11	11
	古川職安外	10	16	11	7	13
県外	東京	0	0	2	1	0
	関西地方	0	0	0	0	1
	福島	0	0	0	1	0
	関東地方(東京を除く)	1	0	0	1	1
	中部地方	0	1	1	0	0
	その他	2	0	0	1	0
合計		36	26	27	22	26

職業分類別		令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
職業分類別	専門・技術職従事者	0	0	0	3	0
	事務従事者	4	2	3	1	5
	販売従事者	2	2	2	3	1
	サービス職業従事者	7	5	7	4	8
	保安職業従事者	0	1	0	1	3
	生産工程従事者	13	10	8	7	5
	輸送・機械運転従事者	3	1	1	2	2
	建設・掘削、運搬・清掃等従事者	6	5	4	1	2
	その他	1	0	2	0	0
合計		36	26	27	22	26

産業分類別		令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
産業分類別	建設業	2	0	2	1	1
	製造業	17	11	11	7	9
	電気・ガス・水道業	0	0	0	0	0
	情報通信・運輸郵便	3	4	0	0	2
	卸・小売業	2	2	1	3	2
	専門技術・宿泊飲食・娯楽・教育	2	6	3	4	6
	医療・福祉	8	2	3	5	2
	その他(他に分類されないもの)	1	1	6	2	0
	公務員	1	0	1	0	4
合計		36	26	27	22	26

12 日課時刻表

【平常点鐘時刻】

職員打合せ	8:25~8:35
朝読書	8:40~8:50
諸連絡	8:50~8:55
1校時	9:00~9:50
2校時	10:00~10:50
3校時	11:00~11:50
4校時	12:00~12:50
昼休み	12:50~13:25
5校時	13:30~14:20
6校時	14:30~15:20
清掃	15:20~15:35
S H R	15:35~15:40

【考查点鐘時刻】

職員打合せ	8:25~8:35
S H R	8:40~8:55
1校時	9:00~9:50
2校時	10:05~10:55
3校時	11:10~12:00
清掃	考查終了後15分間
S H R	清掃終了後5分間

13 父母教師会

目 的

- (1) 概 況…毎年春の定期総会の外、研修会、学年P T A、支部P T Aを開催する。
- (2) 組 織…本校生徒の保護者及び本校職員の正会員と、本会の趣旨に賛同し、総会において推薦された賛助会員をもって組織する。

役 員 会 長 1名 副 会 長 3名 理 事 8名
庶務会計 3名 監 事 2名

14 同 窓 会

同窓会会員数

松山高等学校全日制課程	普通科	1,852名
	家政科	1,394名
合 計		3,246名

松美会員（古川女子高等学校家政科卒業生）
 総 数 1,336名
 内 訳 家庭専修科 67名
 定時制課程家政科 367名
 全日制課程家政科 902名

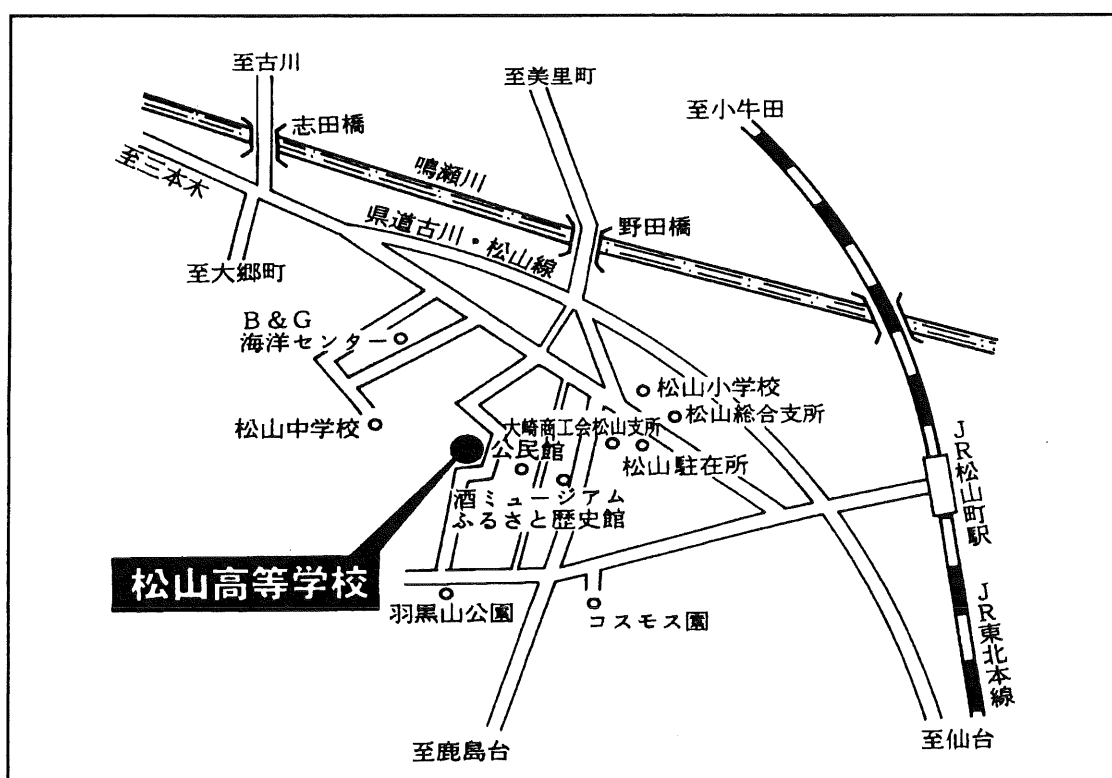
「卒業台帳」より

15 施 設

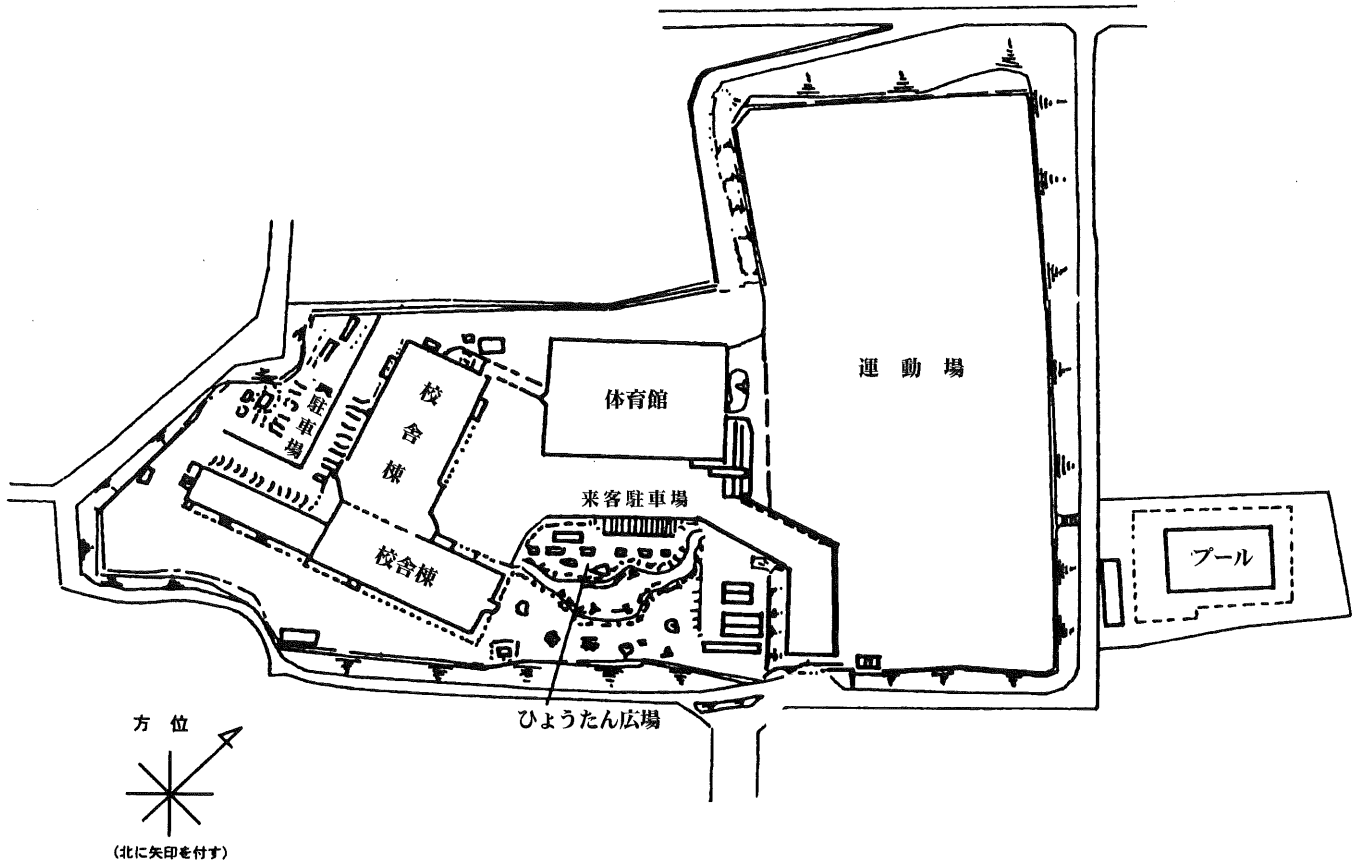
- (1) 名 称 宮城県松山高等学校 TEL (0229)55-2313 FAX (0229)55-2314
- (2) 所在地 〒987-1304 宮城県大崎市松山千石字松山1番地の1
- (3) 校地面積 校舎敷地 11,909.06㎡ プール敷地 1,881.89㎡
運動場 12,016.00㎡ 総面積 25,806.95㎡
- (4) 建物面積 校舎 4,900.42㎡ 屋内体育館 2,177.48㎡
その他 152.80㎡ 総面積 7,230.70㎡
- (5) 校舎概要 総面積 4,900.42㎡
管理棟 事務室, 校長室, 保健室, 職員室, 生徒相談室
(2,192.53㎡) コモンホール, 音楽室, カウンセリング室, 第二被服室,
第二保育実習室(ピアノ室), 第三保育実習室, その他
普通教室棟 9教室, その他
(918.45㎡)
特別教室棟 図書室, 第一被服室, 調理室, 進路相談室, 第一保育実習室
(1,789.44㎡) 生物・化学室, 物理準備室, 視聴覚室, 情報処理室, 天体ドーム, その他
- (6) 蔵 書

分類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	小計	家政科	視聴覚	合計
受入数	5	13	28	61	19	19	2	35	15	93	290	0	0	290
総数	514	328	728	1,179	674	959	131	1,087	322	3,562	9,484	190	7	9,681
構成率(%)	5%	3%	8%	12%	7%	10%	2%	11%	3%	38%	100%			

(7) 学校位置図

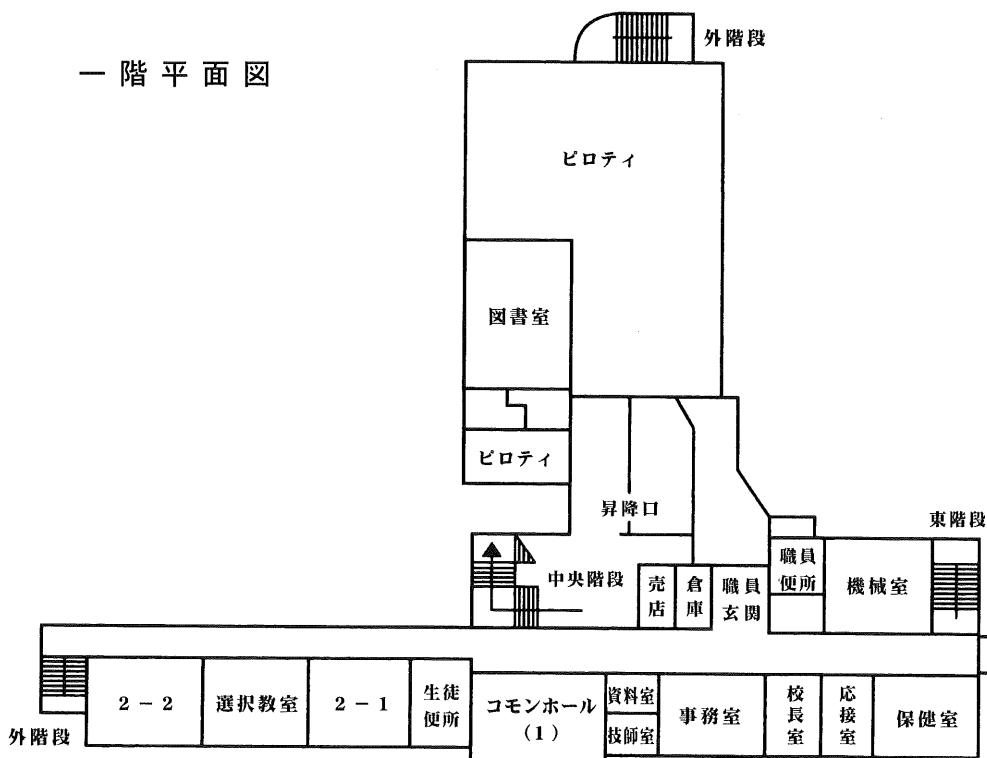


学校位置図

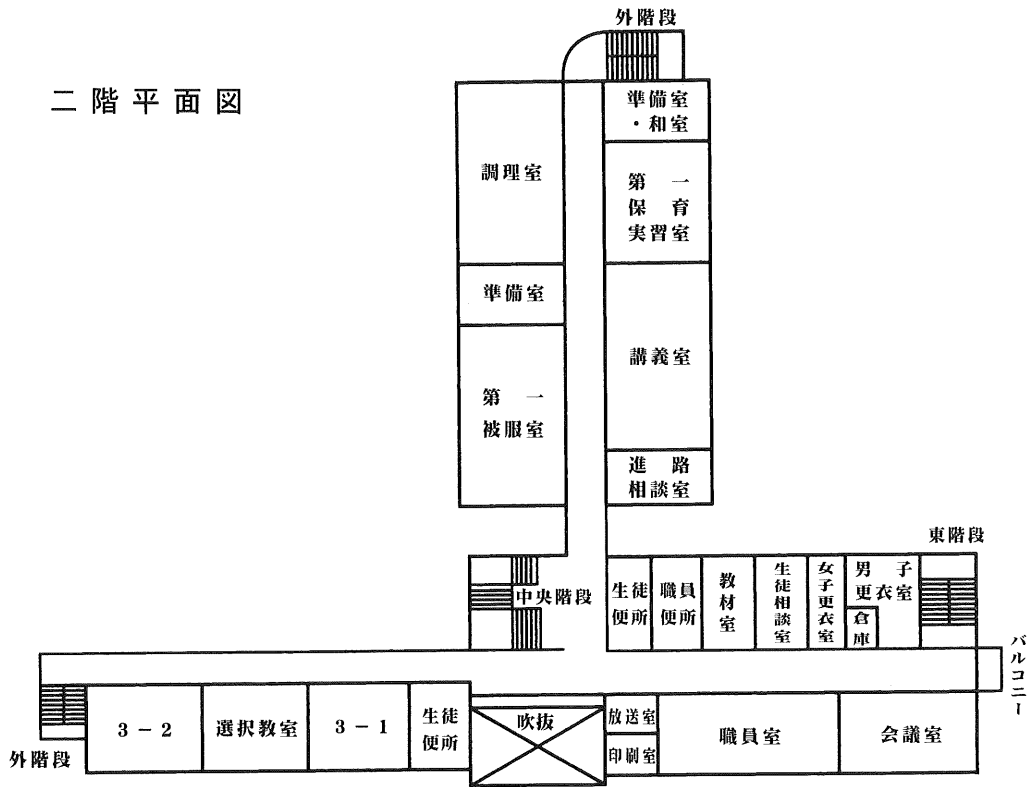


校舎配置図

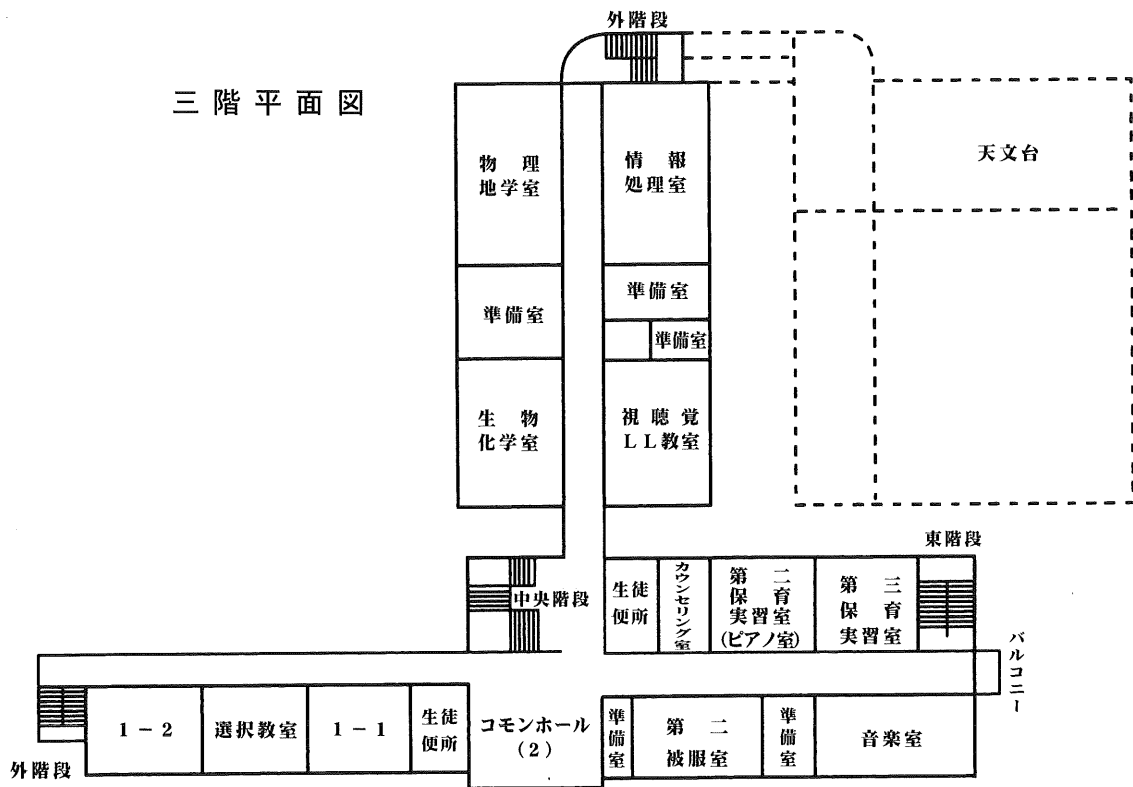
一階平面図



二階平面図



三階平面図



令和3年度



学校要覧



宮城県鹿島台商業高等学校

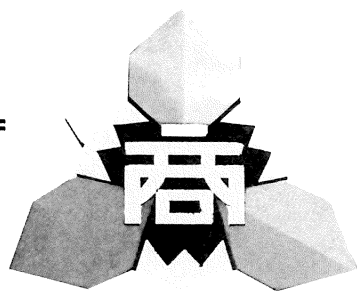
〒989-4104 宮城県大崎市鹿島台広長字柰師前44

電話 0229 (56) 2664

FAX 0229 (56) 2461

URL <https://kasimadai-ch.myswan.ed.jp/>


E-mail kasimadai-ch@td.myswan.ed.jp



校章の由来

三つの大きな葉は、宮城野萩の葉と商業の表徴ともいうべき算盤の珠を併せ表そうとしたものである。

そして、それら三つの組み合わせは、知・徳・体、三者の調和のとれた円満な人格の形成をめざす教育理念の表徴でもある。

「商」をかこむ  は「力」^{ちから}と鹿島台の「力」の字を図案化したものである。

その一つ一つは、「努力・協力・実力」であって、鹿島台商高生の進むべき具体的な指標を表示している。

校歌

扇 畑 忠 雄 作詞
海 鋒 義 美 作曲

一 青雲の かがやく平野

若き者 ここに学ぶ

鳴瀬の川の 一すじ白く

よみがえる 生命の光り

誠実に心つくして

未来に生きる いさぎよきもの 我ら

二 見はるかす 山脈遠く

若き者 ここにはげむ

ゆたかな稔り 微風にそよぎ

ほとぼしる 真理の泉

相和して 生を営み

理想に進む たくましきもの 我ら

三 夕空の 星座は高く

若き者 ここに集う

真澄みの水に 思索を宿し

口ずさむ 平和の賛歌

鹿島台 その名ゆかしく

歴史に学ぶ 限りなきもの 我ら

(昭和四十四年十一月十七日稿)

目 次

校章の由来	
校 歌	
1 沿 革 概 要	1
2 校 地 及 び 施 設	2
3 歴 代 校 長	2
4 校 訓	2
5 令和3年度「限りなきもの人材育成プラン」～志以て世をつなぐ～	3
各学年・各部重点目標	
6 令和3年度実施教育課程表	6
7 令和3年度行事予定	7
8 令和3年度校務分掌	8
(1)校務分掌図	8
(2)令和3年度学級担任	9
(3)令和3年度教科担当者	9
9 職 員 数	9
10 職 員 名 簿	10
11 生徒に関する調査	12
(1)学科・学年別生徒数	12
(2)出身中学校別生徒数	12
(3)通学方法別生徒数	13
(4)電車通学生徒・乗降駅別人数	14
12 図 書 館	15
13 生 徒 会	16
(1)組 織	16
(2)クラブ所属人数	17
14 卒 業 生	18
(1)年度別卒業者数	18
(2)令和2年度卒業生の進路	19
15 校 舎 略 図	20
16 校 舎 配 置 図	21
17 校 地 見 取 図	21

1 沿 革 概 要

- 昭和25. 4. 1 宮城県南郷農業高等学校鹿島台分校設置
普通科（昼間）・被服科（昼間）
31. 4. 1 普通科を農業科（夜間）に変更
35. 5.17 鹿島台町広長吹上三壇16に新校舎落成、
移転
38. 4. 1 被服科を廃止，商業科（男・女）設置
9.15 商業科実践室竣工
40. 4. 1 農業科，夜間を昼間に変更（昭和40宮教
委規2号）
4.10 特別教室，普通科教室6教室を竣工
41. 4. 1 定時制を全日制に課程変更（2学級）
42. 4. 1 商業科を男女100名に学級増
農業科40名，商業科（男女）100名
特別教室3教室竣工
43. 4. 1 商業科男女144名（3学級）に学級増
44. 4. 1 宮城県鹿島台商業高等学校として開校
募集定員141名（男女）
初代校長 唐牛 誠 着任
45. 4. 1 商業科1学級増 募集定員184名（男女）
46. 3.31 特別教室2教室および普通教室4教室竣工
4. 1 募集定員180名（男女）
47. 4. 1 二代校長 柏 信一 着任
50. 3. 1 創立25周年記念誌発行
51. 3.30 鹿島台町広長字鳥屋場16の1
新校舎建設予定地 80,182㎡取得
4. 1 三代校長 岡本 精一 着任
53. 4. 1 四代校長 三浦 三郎 着任
- 54.11. 7 新校舎建設予定地造成工事開始
11.28 鹿島台町広長無清水新校舎建設予定地
2,627㎡取得
55. 5. 鹿島台町広長字鳥屋場16の1
新校舎建設予定地土地造成工事完成
56. 4. 1 五代校長 関 寿和 着任
57. 7.26 新校舎竣工
8.26 新校舎移転（鹿島台町広長字空師前44）
58. 4. 1 六代校長 丸山 勝義 着任
11. 4 新校舎落成 鹿商独立15周年記念式典
鹿商独立15周年記念誌発行
12.16 運動部部室完成
59. 3.29 電子計算機一式（HITAC L-470）導入
8. 7 プール建設竣工
61. 4. 1 七代校長 邊見 裕 着任
- 62.12.21 武道館完成
63. 4. 1 八代校長 小川 久松 着任
- 平成元. 1.31 生徒会館「鹿萩会館」竣工
8.31 合宿所（佐々君会館）解体
10. 1 中庭完成
10.28 鹿商独立20周年記念
生徒会館落成記念式典
2. 4. 1 教育振興会発足
3. 4. 1 九代校長 越後谷 稔 着任
4. 2.19 コンピュータ更新
（NEC・EWS 480035ネットワークシステム導入）
6. 4. 1 十代校長 吉川 清 着任
機械警備導入
7. 4. 1 類型制の導入（2学年より）
9.25 ワープロ導入（45台）
8. 1.23 野球場防球ネット新設
4. 1 十一代校長 佐藤 孝一 着任
10. 1 コンピュータ更新（PCSEMI教育システム
NEC Express5800 120PROサーバネット
ワークシステム）
10. 3.23 ソフトボール用バックネット新設
6. 3 宮城県教育委員会より高等学校就職支援
プログラム事業実施校に指定にされる
11. 1 宮城県学習情報ネットワーク（SWAN）接続
11. 4. 1 十二代校長 佐藤 光彦 着任
スクールカウンセラー配置
1学年定員 120名（3学級）
- 10.27 創立50周年記念式典
新運動部部室完成（4室）
創立50周年記念誌発行 同窓会名簿発行
12. 4. 1 宮城県教育委員会よりみやぎアドベンチャー
プログラム調査研究指定校として指定される
13. 4. 1 各学年3学級編成
10. 1 コンピュータ機種更新（NEC MATEZZ8）
前教育振興会会長 木村春男氏より図書
寄贈
14. 4. 1 十三代校長 阿部 礼哉 着任
15. 4. 1 二学期制の導入
光ファイバーによるLAN整備
10. 1 第2情報処理室完成
新コンピュータ（NEC MA26YGZEDG8C）導入
16. 4. 1 十四代校長 芳賀 邦夫 着任
17. 3. 校内LAN整備
4. 1 類型制を廃止 選択制の拡大
18. 4. 1 新制服制定
10. 1 コンピュータ機種更新（NEC Mate MY28V）
19. 4. 1 十五代校長 阿部 敏 着任
個性かがやく高校づくり推進事業の指定
校となる
- 20.10. 1 第2情報処理室コンピュータ機種更新
（DELL OptiPlex）
- 21.10.22 創立60周年記念セレモニー
22. 4. 1 十六代校長 池田 東照 着任
23. 3.11 東日本大震災による校地、校舎、体育館被災
10. 1 第1情報処理室コンピュータ機種更新
24. 4. 1 十七代校長 佐藤 洋一 着任
8.15 文部科学省委託事業「東日本大震災から
の復興を担う専門人材育成支援事業」指
定校になる（～平成28年2月29日）
- 25.10. 1 第2情報処理室コンピュータ機種更新
- 26.11.28 屋内運動場大規模改造工事竣工
27. 1.21 第8回キャリア教育優良教育委員会
学校及びPTA 団体等文部科学大臣表彰
4. 1 十八代校長 上総 通 着任
9.25 同窓会名簿発行
- 28.10. 1 第1情報処理室コンピュータ機種更新
29. 4. 1 十九代校長 三浦義雄 着任
30. 4. 1 制服マイナーチェンジ
10. 1 第2情報処理室コンピュータ機種更新
31. 4. 1 二十代校長 高橋 俊隆 着任
- 令和元.11. 1 創立70周年記念式典
創立70周年記念誌発行
3. 4. 1 二十一代校長 佐藤 好彦 着任

2 校地及び施設

(1) 校地面積 82,614.76㎡（建物面積〈延〉9,268.41㎡，運動場，その他）

(2) 校舎

種 別	室数	種 別	室数	種 別	室数	種 別	室数
普通教室	9	保健室	1	放送室	1	マシンルーム	1
理科教室	2	校長室	1	更衣室	3	マーケティング実習室	1
同準備室	2	応接室	1	図書室	1	同準備室	1
音楽室	1	事務室	1	司書室	1	簿記室	1
同準備室	1	業務員室	1	視聴覚教室	1	計算実習室	1
芸術準備室	1	書庫	1	同準備室	1	ワープロ室	1
社会科準備室	1	会議室	1	生徒会室	1	同準備室	1
調理実習室	1	職員室	1	商品実驗室	1	体育館	1
同準備室	1	印刷室	1	同準備室	1	部室	9
被服実習室	1	教科室	1	総合実践室	1	倉庫	1
同準備室	1	校務室	1	同準備室	1	武道館	1
カウンセリングルーム	1	生徒指導室	1	情報処理実習室	2	生徒会館	1
進路指導室	1	第一教材室	1	同準備室	1	第二教材室	1

3 歴 代 校 長

歴 代	氏 名	在 任 期 間
第一代	唐 牛 誠	自昭和 4 4. 4. 1 至昭和 4 7. 3. 3 1 (3年)
第二代	柏 信 一	昭和 4 7. 4. 1 昭和 5 1. 3. 3 1 (4年)
第三代	岡 本 精 一	昭和 5 1. 4. 1 昭和 5 3. 3. 3 1 (2年)
第四代	三 浦 三 郎	昭和 5 3. 4. 1 昭和 5 6. 3. 3 1 (3年)
第五代	関 寿 和	昭和 5 6. 4. 1 昭和 5 8. 3. 3 1 (2年)
第六代	丸 山 勝 義	昭和 5 8. 4. 1 昭和 6 1. 3. 3 1 (3年)
第七代	邊 見 裕	昭和 6 1. 4. 1 昭和 6 3. 3. 3 1 (2年)
第八代	小 川 久 松	昭和 6 3. 4. 1 平成 3. 3. 3 1 (3年)
第九代	越 後 谷 稔	平成 3. 4. 1 平成 6. 3. 3 1 (3年)
第十代	吉 川 清	平成 6. 4. 1 平成 8. 3. 3 1 (2年)
第十一代	佐 藤 孝 一	平成 8. 4. 1 平成 1 1. 3. 3 1 (3年)
第十二代	佐 藤 光 彦	平成 1 1. 4. 1 平成 1 4. 3. 3 1 (3年)
第十三代	阿 部 礼 哉	平成 1 4. 4. 1 平成 1 6. 3. 3 1 (2年)
第十四代	芳 賀 邦 夫	平成 1 6. 4. 1 平成 1 9. 3. 3 1 (3年)
第十五代	阿 部 敏	平成 1 9. 4. 1 平成 2 2. 3. 3 1 (3年)
第十六代	池 田 東 照	平成 2 2. 4. 1 平成 2 4. 3. 3 1 (2年)
第十七代	佐 藤 洋 一	平成 2 4. 4. 1 平成 2 7. 3. 3 1 (3年)
第十八代	上 総 通	平成 2 7. 4. 1 平成 2 9. 3. 3 1 (2年)
第十九代	三 浦 義 雄	平成 2 9. 4. 1 平成 3 1. 3. 3 1 (2年)
第二十代	高 橋 俊 隆	平成 3 1. 4. 1 令和 3. 3. 3 1 (2年)
第二十一代	佐 藤 好 彦	令和 3. 4. 1

4 校 訓

努 力 以て道を拓き
誠 実 以て衆に奉ず

5 令和3年度「限りなきもの人材育成プラン」～志以て世をつなぐ～

●校訓	「努力以て道を拓き」 「誠実以て衆に奉ず」
●教育理念	人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民を育成する
●教育目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 幅広い知識と教養を身に付け（知育）、豊かな情操と道徳心を培い（徳育）、健やかな身体を養う（体育） 2 個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主自律の精神と勤労を重んずる態度を養う 3 商業に関する基礎的、専門的な知識と技能を身に付け、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する人財を養う
●学校経営方針	生徒が心身ともに健康で、将来、社会において活躍できる人材となれるよう基本的な生活習慣を身につけさせ、社会で必要な知識や技術の修得ならびに倫理観や道徳心の涵養に努める。もって生徒や保護者、地域の期待に応えられる学校を目指す
●学校重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な生活習慣を確立し、「思いやりの心」を持つ生徒を育てる 2 生徒が“わかる”を実感できる授業により、学習意欲を高め基礎学力の充実に努める 3 キャリア教育の推進と系統的な進路指導による生徒の進路実現 4 社会人として望ましいコミュニケーション能力の育成 5 資格取得の推進

●目指す生徒像	<ol style="list-style-type: none"> 1 心身ともに健康で社会規範を守り礼儀をわきまえ、社会人として必要な生活習慣が身に付いている生徒 2 商業に関する知識・技能のみならず幅広い教養を身に付け、何事にも意欲的に取り組み、将来の社会において貢献できる生徒 3 鹿商生としての自覚と誇りを持ち、何事にも率先して行動することができ、高校生としての好ましい態度が身に付いている生徒
●目指す学校像	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒が将来の自立に向けて着実に力を身に付けることができる安全と安心を備えた学校 2 品位と礼儀のある学校 3 生徒と保護者、そして地域の期待に応えられる学校
●目指す教師像	<ol style="list-style-type: none"> 1 個性の違いや障害の有無、そして生育環境や家庭状況にかかわらず生徒及び保護者理解に努め、良いところを伸ばす教師 2 変化の激しい社会にあっても、その変化を適確に捉え、常に半歩先を見据えながら新しい学校づくりを試みる教師 3 学びの専門家として絶えず自己研鑽に努めるとともに、法令を遵守し温かくも厳しく公正で、生徒と保護者、そして地域社会から信頼される教師

第1学年 重点目標		
1 高校生活への適応 (基本的生活習慣の確立と授業・部活を両輪とした学校生活の推進)	2 基礎学力の定着及び学習習慣の確立(授業を通しての基礎学力の定着, 集中できる授業態度の確立)	3 自己進路の実現 (将来の可能性を広く探れるような言葉かけや支援)
具体的な対策や手立て		
(1) 高校生としてふさわしい日常の挨拶や言葉遣いの励行。 (2) 基本的生活習慣を確立させ, 学校生活における校則の理解と遵守。 (3) 授業や部活を通して, 高校生として望ましいコミュニケーション能力やたくましく努力を続ける力の育成に努める。	(1) 教科担任とクラス担任の相互の情報連絡を密にし, 実態を踏まえた指導法を工夫する。 (2) 朝学習時に読書を行うことで, 授業に落ち着いて臨む態度を養う。また自主的に自分自身の課題を見つけ解決する態度を養う。 (3) 年間でベル着席をできるように声掛けし, 卒業後に向け自分で時間を意識して行動できる力の育成に努める。	(1) 進路に関する講話や企業見学を実施し, 生徒の進路意識を高める。 (2) 保護者や外部機関等と連携し充実した指導を図る。 (3) 地域の諸行事に参加することで, 商業への意識と自分の将来について考えることの一助とする。
第2学年 重点目標		
1 中心学年としての自覚と責任をもった生活態度(特に定時着席や挨拶)を育成する。	2 基礎的・基本的知識・技能を身につけ, 学習習慣の定着・部活動や生徒会活動等の教育活動を通し豊かな人間性や社会性の育成をはかる。	3 進路意識の高揚を図り, 進路目標を明確化する。
具体的な対策や手立て		
(1) 欠席, 遅刻, 早退をなくすように常日頃, 言葉かけをし, 家庭との連絡を密にする。 (2) 挨拶や服装, 時間厳守等, 基本的なマナーを身につける。 (3) 修学旅行を通じて, 集団生活のマナーとルールを身につける。	(1) 基礎的な学力を身につけるため毎学習を実施する。 (2) 定期考査, 各種検定試験や課題に積極的に取り組み, 検定取得に向けて計画的に学習を行う。 (3) 部活動や生徒会活動等の教育活動を通し, 同級生だけでなく上級生・下級生にもリーダーシップを積極的にとる。	(1) 総合的な学習の時間を通して, 進路目標の具体化を図る。 (2) 就業体験を通して, 働くことへの関心を高める。 (3) 卒業後の進路を意識して, 生活態度をしっかりと学校生活を送る。
第3学年 重点目標		
1 社会人への準備期間であることを自覚させ, 基本的生活習慣の確立を図る。	2 生徒の進路希望を明確にし, 全員の進路希望達成を目指す。	3 部活動や生徒会, 学校行事等への積極的参加を促し, 最上級生としての責任感を持たせる。
具体的な対策や手立て		
(1) 礼儀作法(入室マナー等) (2) 時間の厳守(欠席・遅刻等) (3) 頭髪・服装指導 (4) 学校への帰属意識を持たせ集団行動の定着を図る。	(1) 総合的な学習の時間の充実 (2) 授業やマナトレを大切に基礎学力を身につける。 (3) 各種検定試験に積極的に取り組む。	(1) 部活動や生徒会, 委員会活動等における積極的な活動を促す。 (2) 学校行事における積極的参加と学級としての団結力を高める。
総務部 重点目標		
1 各部・各学年・各教科・諸団体・諸機関等との連携を図り, 校務運営の円滑化を促進する。	2 生徒自ら健康の保持・増進に努める積極的な姿勢と態度を養わせる。	3 学校環境の整備を図る。
具体的な対策や手立て		
(1) 諸行事の組織的・計画的な実施を図る。 (2) 対外的諸団体との円滑な運営を図る。 (3) 防災関係について, 防災主任と連携を図りながら運営する。	(1) 救命応急処置等の意識高揚を図る。 (2) 生徒の健康管理意識の高揚と健康相談の推進を図る。 (3) 教育相談やスクールカウンセリングの充実・推進を図る。	(1) 校舎内外の美化の推進と生徒保健委員会の活性化を図る。

教務部 重点目標		
1 授業改善の推進	2 学習習慣の確立	3 入試出願者数の増加
具体的な対策や手立て		
(1) ガイダンスなどをとおして、当然のことを当然にできる学習環境をつくる。 (2) 校内の課題解決に結びつく職員研修会を企画し実施する。特に、発達障害、学習障害に関する研修会は継続して行う。 (3) 授業評価を活用し、教員が自分の授業を見直す機会とし、次年度の授業改善の一助とする。 (4) ICTの活用や生徒が主体的に取り組める内容など、分かる授業の実践を心がける。	(1) 基礎学力の向上にむけて、週末課題などを活用し、生徒に家庭学習時間を確保させる。 (2) ベル着・ベルまで授業を徹底する。授業時間はベルとベルの間であり、教員がそれをしっかりと守ることで生徒にも授業の大切さを実感させる。 (3) 各授業で評価の一環として小テストを実施することを推奨する。	(1) オープンスクールの内容を再考し、中学生や保護者にとって本校の魅力が伝わる内容とする。 (2) スクールガイドの配布する機会を増やす。中学3年生とその保護者を対象として配布してきたが、広く本校について知ってもらう広報誌として積極的に活用する。
生徒指導部 重点目標		
1 基本的な生活習慣の確立を図る。	2 本校生徒として責任のある行動をとれる生活態度を育成する。	3 生徒会活動・部活動の活性化を図る。
具体的な対策や手立て		
(1) 月初め頭髪服装検査の実施。注意書（頭髪・服装指導）の活用。 (2) 全職員による登校指導時の声かけを継続する。全職員昇降口登校指導の実施。 (3) 身だしなみについての啓発活動に取り組む。 (4) 遅刻の予防と防止についての段階的な指導の徹底を図る。	(1) 他者の視点にたって行動する心を育む指導の充実を図ると共に、学校全体でマナーアップに取り組む。 (2) 学校内外での積極的な挨拶の習慣化に取り組む。 (3) 公共の場所でのマナーについての啓発活動に取り組む。 (4) 教職員の共通認識に基づく指導の徹底を図る。	(1) 生徒会活動の充実を図ると共に、生徒にとって有意義な学校行事の実現を目指した取り組みを進める。 (2) 部活動の活性化を図るために広報活動や部活動単位での活動機会の充実を図る。定期的な学校周辺の清掃活動 (3) 各専門委員会の連携を図り各種行事等への積極的な参加と協力体制の確立に取り組む。
進路指導部 重点目標		
1 総合的な探求の時間を核とし、生徒が自分の人生に希望を持ち、将来設計する力を育成する。	2 基礎学力の定着と伸長を図り、変化の激しい社会で生き抜く力を身につかせ、進路選択の幅を広げさせる。	3 早期離職を防ぐため、進路決定に向けた積極的な学びを促す。
具体的な対策や手立て		
(1) 未来セミナーや就業体験で、働く人々と出会い、触れ合う体験を通して、職業観を広げさせる。 (2) 外部講師や卒業生の講話等から、自分自身を見つめ、自分の将来を思い描くことで、学習への意欲に結びつけさせる。	(1) 各教科、学年と共通理解を図りながら、基礎学力向上のための支援プログラムを計画する。 (2) 生徒自身が、基礎学力の定着の重要性を理解し、学び続けることができるよう促し、励ますような働きかけをしていく。 (3) 基礎力診断テスト等では脱D3を目指して事前・事後指導に力を入れる。	(1) 総合的な探求の時間の計画を系統立てて準備し、3年間を通して自己理解と職業理解を深めさせる。 (2) 就業体験や職場見学、オープンキャンパスを適切に奨め、生徒自身が意識的に進路先を選ぶことでミスマッチを防ぐようにする。 (3) 卒業生に対する追指導を継続的に実施し、企業や上級学校と連携し情報共有していく。
図書情報システム部 重点目標		
1 親しみやすく利用しやすい図書館の整備	2 「生きる力」を育む言語活動の充実	3 情報活用能力の育成サポート
具体的な対策や手立て		
(1) ブラウジングスペースの設置や冷暖房の調整等により、居心地よく交流が広がる場を提供する。 (2) 本への関心を高められるような「図書館だより」の発行や本の紹介に努める。 (3) リクエストボックスの設置により、「読みたい」「知りたい」気持ちに答えた図書購入に努める。	(1) 読書習慣の定着を目指し、学級文庫の内容を充実させる。 (2) 他機関との資料相互貸借事業の展開や学校司書との連携等により、校内外問わず多種多様な幅広い資料の提供に努める。 (3) 読書週間時に朝の朗読や読書を行い、普段自分からは触れない物語に触れる機会を作る。	(1) 情報関連機器（タブレット、プロジェクタ等）の整備に努める。 (2) 情報関連機器の利活用の推進のため、教職員向けの説明会、講習会および研究授業を実施する。 (3) 教務支援システムおよび校務運営システムの利用のためのサポートを行う。

6 令和3年度実施教育課程表

【商業科】

単 位	1 学 年	2 学 年	3 学 年
1	国 語 総 合 (4)	現 代 文 A (3)	現 代 文 B (4)
2			
3			
4		地 理 A (2)	
5	現 代 社 会 (2)	数 学 A (2)	世 界 史 A (2)
6			
7	数 学 I (3)	科学と人間生活(2)	数 学 活 用 (2)
8			
9			化 学 基 礎 (2)
10	体 育 (2)	体 育 (2)	体 育 (3)
11			
12	保 健 (1)	保 健 (1)	
13	音 楽 I (2)	コミュニケーション英語Ⅱ(3)	コミュニケーション英語Ⅱ(3)
14			
15	コミュニケーション英語Ⅰ(3)		
16			
17			
18	ビ ジ ネ ス 基 礎 (4)	課 題 研 究 (4)	地 域 ビ ジ ネ ス プ ラ ン ニ ン グ (2)
19			
20			
21			総 合 実 践 (2)
22	簿 記 (5)	マ ー ケ テ ィ ン グ (3)	選 択 A(3) 国語表現・政治経済・数学Ⅱ・ フードデザイン・経済活動と法・ 財務会計Ⅰ・ビジネス情報
23			
24		情 報 処 理 (4)	選 択 B(3) 古典A・日本史A・生物基礎・ 英語表現Ⅰ・広告と販売促進・ 原価計算・プログラミング
25			
26			
27	情 報 処 理 (2)		
28			
29	総合的な探究の時間(1)	総合的な探究の時間(1)	総合的な探究の時間(1)
30	ホームルーム(1)	ホームルーム(1)	ホームルーム(1)
備 考	「社会と情報」は「情報処理」で代替 「地域ビジネスプランニング」は商業科の学校設定科目		

7 令和3年度行事予定

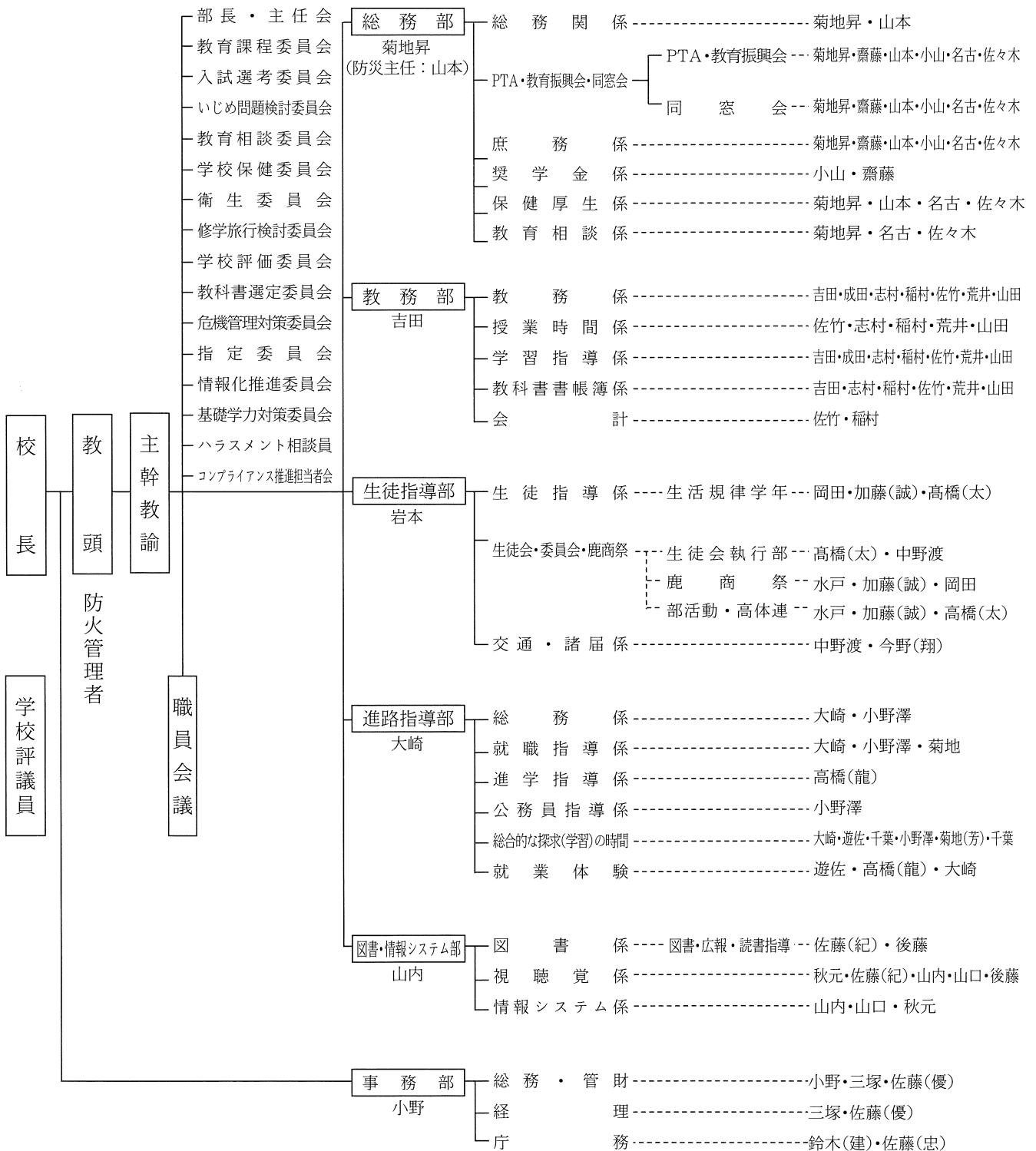
宮城県鹿島台商業高等学校

4月行事予定			5月行事予定			6月行事予定			7月行事予定			8月行事予定			9月行事予定			10月行事予定			11月行事予定			12月行事予定			1月行事予定			2月行事予定			3月行事予定																	
日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事												
1	水	年度休業	1	土	入学式	1	火	入学式	1	木	入学式	1	日	入学式	1	金	入学式	1	水	入学式	1	月	入学式	1	月	入学式	1	水	入学式	1	土	入学式	1	日	入学式	1	火	入学式	1	木	入学式	1	土	入学式	1	日	入学式			
2	金		2	日	入学式	2	水	入学式	2	金	入学式	2	月	入学式	2	水	入学式	2	金	入学式	2	日	入学式	2	月	入学式	2	木	入学式	2	土	入学式	2	日	入学式	2	火	入学式	2	木	入学式	2	土	入学式	2	日	入学式			
3	土		3	月	入学式	3	木	入学式	3	土	入学式	3	火	入学式	3	木	入学式	3	土	入学式	3	日	入学式	3	月	入学式	3	水	入学式	3	金	入学式	3	土	入学式	3	日	入学式	3	火	入学式	3	木	入学式	3	土	入学式	3	日	入学式
4	日		4	木	入学式	4	金	入学式	4	日	入学式	4	水	入学式	4	金	入学式	4	土	入学式	4	月	入学式	4	水	入学式	4	金	入学式	4	土	入学式	4	日	入学式	4	火	入学式	4	木	入学式	4	土	入学式	4	日	入学式			
5	月		5	金	入学式	5	土	入学式	5	月	入学式	5	木	入学式	5	土	入学式	5	日	入学式	5	月	入学式	5	水	入学式	5	金	入学式	5	土	入学式	5	日	入学式	5	火	入学式	5	木	入学式	5	土	入学式	5	日	入学式			
6	火		6	土	入学式	6	日	入学式	6	火	入学式	6	木	入学式	6	土	入学式	6	月	入学式	6	水	入学式	6	金	入学式	6	土	入学式	6	日	入学式	6	月	入学式	6	水	入学式	6	金	入学式	6	土	入学式	6	日	入学式			
7	水		7	日	入学式	7	月	入学式	7	水	入学式	7	金	入学式	7	土	入学式	7	日	入学式	7	月	入学式	7	水	入学式	7	金	入学式	7	土	入学式	7	日	入学式	7	月	入学式	7	水	入学式	7	金	入学式	7	土	入学式	7	日	入学式
8	木		8	月	入学式	8	火	入学式	8	木	入学式	8	土	入学式	8	日	入学式	8	月	入学式	8	水	入学式	8	金	入学式	8	土	入学式	8	日	入学式	8	月	入学式	8	水	入学式	8	金	入学式	8	土	入学式	8	日	入学式			
9	金		9	火	入学式	9	水	入学式	9	金	入学式	9	土	入学式	9	日	入学式	9	月	入学式	9	水	入学式	9	金	入学式	9	土	入学式	9	日	入学式	9	月	入学式	9	水	入学式	9	金	入学式	9	土	入学式	9	日	入学式			
10	土		10	水	入学式	10	木	入学式	10	土	入学式	10	日	入学式	10	月	入学式	10	水	入学式	10	金	入学式	10	土	入学式	10	日	入学式	10	月	入学式	10	水	入学式	10	金	入学式	10	土	入学式	10	日	入学式						
11	日		11	木	入学式	11	金	入学式	11	日	入学式	11	月	入学式	11	水	入学式	11	金	入学式	11	土	入学式	11	日	入学式	11	月	入学式	11	水	入学式	11	金	入学式	11	土	入学式	11	日	入学式									
12	月		12	金	入学式	12	土	入学式	12	月	入学式	12	水	入学式	12	金	入学式	12	土	入学式	12	日	入学式	12	月	入学式	12	水	入学式	12	金	入学式	12	土	入学式	12	日	入学式												
13	火		13	土	入学式	13	日	入学式	13	火	入学式	13	木	入学式	13	土	入学式	13	日	入学式	13	月	入学式	13	水	入学式	13	金	入学式	13	土	入学式	13	日	入学式															
14	水		14	日	入学式	14	月	入学式	14	水	入学式	14	金	入学式	14	土	入学式	14	日	入学式	14	月	入学式	14	水	入学式	14	金	入学式	14	土	入学式	14	日	入学式															
15	木		15	月	入学式	15	火	入学式	15	木	入学式	15	土	入学式	15	日	入学式	15	月	入学式	15	水	入学式	15	金	入学式	15	土	入学式	15	日	入学式																		
16	金		16	火	入学式	16	水	入学式	16	金	入学式	16	土	入学式	16	日	入学式	16	月	入学式	16	水	入学式	16	金	入学式	16	土	入学式	16	日	入学式																		
17	土		17	水	入学式	17	木	入学式	17	土	入学式	17	日	入学式	17	月	入学式	17	水	入学式	17	金	入学式	17	土	入学式	17	日	入学式																					
18	日		18	木	入学式	18	金	入学式	18	日	入学式	18	月	入学式	18	水	入学式	18	金	入学式	18	土	入学式	18	日	入学式																								
19	月		19	土	入学式	19	日	入学式	19	月	入学式	19	水	入学式	19	金	入学式	19	土	入学式	19	日	入学式																											
20	火		20	日	入学式	20	月	入学式	20	火	入学式	20	木	入学式	20	土	入学式	20	日	入学式																														
21	水		21	月	入学式	21	火	入学式	21	水	入学式	21	金	入学式	21	土	入学式	21	日	入学式																														
22	木		22	火	入学式	22	水	入学式	22	木	入学式	22	土	入学式	22	日	入学式																																	
23	金		23	水	入学式	23	木	入学式	23	金	入学式	23	土	入学式	23	日	入学式																																	
24	土		24	木	入学式	24	金	入学式	24	土	入学式	24	日	入学式																																				
25	日		25	金	入学式	25	土	入学式	25	日	入学式	25	月	入学式																																				
26	月		26	土	入学式	26	日	入学式	26	月	入学式	26	水	入学式																																				
27	火		27	日	入学式	27	月	入学式	27	火	入学式	27	木	入学式																																				
28	水		28	月	入学式	28	火	入学式	28	水	入学式	28	金	入学式																																				
29	木		29	火	入学式	29	水	入学式	29	木	入学式	29	土	入学式																																				
30	金		30	水	入学式	30	木	入学式	30	金	入学式	30	土	入学式																																				
31	土		31	木	入学式	31	金	入学式	31	土	入学式	31	日	入学式																																				

進路指導課(在学中)			進路指導課(在学中)			進路指導課(在学中)			進路指導課(在学中)			進路指導課(在学中)			進路指導課(在学中)			進路指導課(在学中)			進路指導課(在学中)			進路指導課(在学中)			進路指導課(在学中)			進路指導課(在学中)			進路指導課(在学中)			進路指導課(在学中)					
毎月1回：頭脳体操			毎月1回：頭脳体操			毎月1回：頭脳体操			毎月1回：頭脳体操			毎月1回：頭脳体操			毎月1回：頭脳体操			毎月1回：頭脳体操			毎月1回：頭脳体操			毎月1回：頭脳体操			毎月1回：頭脳体操			毎月1回：頭脳体操			毎月1回：頭脳体操			毎月1回：頭脳体操			毎月1回：頭脳体操		
3年総合学習(4/28)			3年総合学習(4/28)			3年総合学習(4/28)			3年総合学習(4/28)			3年総合学習(4/28)			3年総合学習(4/28)			3年総合学習(4/28)			3年総合学習(4/28)			3年総合学習(4/28)			3年総合学習(4/28)			3年総合学習(4/28)			3年総合学習(4/28)			3年総合学習(4/28)					
PTA総会(4/28)			PTA総会(4/28)			PTA総会(4/28)			PTA総会(4/28)			PTA総会(4/28)			PTA総会(4/28)			PTA総会(4/28)			PTA総会(4/28)			PTA総会(4/28)			PTA総会(4/28)			PTA総会(4/28)			PTA総会(4/28)			PTA総会(4/28)					

8 令和3年度校務分掌

(1) 校務分掌図



(2) 令和3年度学級担任

学年	組	担任	副担任	第2副担任	学年主任
1	1	岡田航	千葉徹	佐々木ひとみ	菊地芳幸
	2	水戸奈央	今野翔太	吉田勇喜	
	3	荒井永人	山田駿介	菊地昇	
2	1	加藤誠也	秋元琢也	山口裕康	高橋龍馬
	2	稲村味和	遊佐数馬	岩本朝貴	
	3	佐竹昭吾	山本浩人	名古明子	
3	1	高橋太仁	齋藤勇二	大崎幸世	小山徳幸
	2	志村速人	小野澤由江	山内和博	
	3	佐藤紀子	中野渡峻也	成田大介	

(3) 令和3年度教科担当者

◎印 教科主任

教科	担当者
国語	◎稲村味和・大崎幸世・今野翔太
社会	◎山本浩人・高橋太仁
数学	◎高橋龍馬・荒井永人・中野渡峻也
理科	◎佐竹昭吾・山口裕康
保健体育	◎加藤誠也・菊地昇・水戸奈央
音楽	木村友紀
外国語	◎小野澤由江・千葉徹・遊佐数馬・鈴木二葉
家庭	◎佐藤紀子・千葉春恵
商業	◎吉田勇喜・秋元琢也・山内和博・菊地芳幸 成田大介・伊藤拓哉・岩本朝貴・志村速人 齋藤勇二・小山徳幸・岡田航・山口裕康 山田駿介

9 職員数

校長	1	事務職員	4	スクールカウンセラー	1
教頭	1	学校司書	1	スクールソーシャルワーカー	1
主幹教諭	1	技師(庁務)	2	A L T	1
教諭	24	常勤講師	3	任用職員(教務補助)	1
教諭(再)	1	非常勤講師	3	校医	4
養護教諭	2	就職支援担当教員	1	学校薬剤師	1
実習教諭	1	学校生活適応支援員	1		
				計	55

10 職 員 名 簿

番号	職 名	氏 名	本校発令 年 月 日	担 当 教科名	校務分掌	担当学年・組	クラブ顧問
1	校 長	佐 藤 好 彦	令 和 3.4.1	商 業			
2	教 頭	都 築 美 幸	令 和 2.4.1	家 庭			
3	主幹教諭	吉 田 勇 喜	令 和 2.4.1	商 業	教 務 部 長 教 商 業 科 長	1 - 2 第 2 副 担	簿記部
4	教 諭	菊 地 昇	平 成 26.4.1	保 体 健 育	総 務 部 長	1 - 3 第 2 副 担	カヌー部
5	教 諭	千 葉 徹	令 和 3.4.1	英 語	進路指導部	1 - 1 副担	芸術部
6	教 諭	山 本 浩 人	令 和 2.4.1	社 会	総 務 部	2 - 3 副担	軽音楽部
7	教 諭	菊 地 芳 幸	令 和 2.4.1	商 業	進路指導部	1 学年主任	簿記部
8	教 諭	成 田 大 介	令 和 3.4.1	商 業	教 務 部	3 - 3 第 2 副 担	陸上競技部
9	教 諭	小野澤 由 江	平 成 23.4.1	英 語	進路指導部	3 - 2 副担	家庭部
10	教 諭	伊 藤 拓 哉	平 成 30.4.1	商 業	進路指導部		
11	教 諭	大 崎 幸 世	平 成 30.4.1	国 語	進路指導部長	3 - 1 第 2 副 担	芸術部
12	教 諭	岩 本 朝 貴	令 和 3.4.1	商 業	生徒指導部長	2 - 2 第 2 副 担	柔道部
13	教 諭	佐 藤 紀 子	平 成 27.4.1	家 庭	図 書 情 報 シ ス テ ム 部	3 - 3 担任	家庭部
14	教 諭	志 村 速 人	令 和 3.4.1	商 業	教 務 部	3 - 2 担任	ソフトテニス部
15	教 諭	秋 元 琢 也	平 成 27.4.1	商 業	図 書 情 報 シ ス テ ム 部	2 - 1 副担	コンピュータ部
16	教 諭	齋 藤 勇 二	令 和 3.4.1	商 業	総 務 部	3 - 2 副担	軽音楽部
17	教 諭	小 山 徳 幸	平 成 30.4.1	商 業	総 務 部	3 学年主任	サッカー部
18	教 諭	稲 村 味 和	令 和 2.4.1	国 語	教 務 部	2 - 2 担任	卓球部
19	教 諭	高 橋 龍 馬	平 成 31.4.1	数 学	進路指導部	2 学年主任	野球部
20	教 諭	工 藤 広 美	平 成 30.4.1	商 業			
21	教 諭	遊 佐 数 馬	令 和 3.4.1	英 語	進路指導部	3 - 2 副担	バスケットボール部
22	教 諭	高 橋 太 仁	令 和 2.4.1	社 会	生徒指導部	3 - 1 担任	サッカー部
23	教 諭	荒 井 永 人	令 和 3.4.1	数 学	教 務 部	1 - 3 担任	バドミントン部
24	教 諭	水 戸 奈 央	令 和 2.4.1	保 体 健 育	生徒指導部	1 - 2 担任	陸上競技部
25	教 諭	佐 竹 昭 吾	平 成 31.4.1	理 科	教 務 部	2 - 3 担任	バドミントン部
26	教 諭	加 藤 誠 也	平 成 31.4.1	保 体 健 育	生徒指導部	2 - 1 担任	野球部
27	教 諭	岡 田 航	令 和 2.4.1	商 業	生徒指導部	1 - 1 担任	バスケットボール部
28	教 諭(再)	山 内 和 博	令 和 2.4.1	商 業	図 書 情 報 シ ス テ ム 部 長	3 - 2 第 2 副 担	コンピュータ部

番号	職名	氏名	本校発令 年月日	担当 教科名	校務分掌	担当学年・組	クラブ顧問
29	養護教諭	名古明子	令和 2.4.1		総務部	2 - 3 第2副担	
30	実習教諭	山口裕康	平成 27.4.1	商業	図書情報 システム部	2 - 1 第2副担	カヌー部
31	事務室長	小野大基	令和 3.4.1				
32	主幹 (事務次長)	三塚真紀	平成 30.4.1				
33	主査 (学校司書)	後藤裕里	令和 3.4.1		図書情報 システム部		
34	主事	佐藤優斗	平成 31.4.1				
35	主任技師 (庁務)	鈴木建一	平成 30.4.1				
36	常勤講師	中野渡峻也	令和 3.4.1	数学	生徒指導部	3 - 3 副担	ソフトテニス部
37	常勤講師	今野翔太	令和 3.4.1	国語	生徒指導部	1 - 2 副担	卓球部
38	常勤講師 (養護教諭)	佐々木ひとみ	令和 3.4.1		総務部	1 - 1 第2副担	
39	育休代替講師	山田駿介	令和 2.4.21	商業	教務部	1 - 3 副担	柔道部
40	技師 (庁務)	佐藤忠政	令和 3.4.1				
41	主事 (臨時)	和田二三子	令和 3.4.1				
42	非常勤講師	千葉春恵	令和 3.4.1	家庭			
43	非常勤講師	木村友紀	令和 3.4.1	音楽			
44	非常勤講師	鈴木二葉	令和 3.4.1	英語			
45	就職支援 担当教員	今野好彦	令和 3.4.1				
46	学校生活 適応支援員	佐々木夕	令和 3.4.1				
47	スクールカウンセラー	三谷理恵	令和 3.4.1				
48	スクールソーシャル ワーカー	菅野希	令和 3.4.1				
49	A L T	デニス リビンゲストーン	令和 3.4.1				
50	教務補助	遠藤優花	令和 3.4.1				
51	校医(内科)	渡邊孝紀	平成 28.4.1				
52	校医(眼科)	一迫 淨	平成 17.4.1				
53	校医(歯科)	千葉昌一	平成 27.12.1				
54	校医 (耳鼻科)	佐竹順一	平成 24.4.1				
55	学校薬剤師	渡邊園子	平成 28.4.1				

11 生徒に関する調査

(1) 学科・学年別生徒数

令和3年5月1日現在

科	学年	1 年	2 年	3 年	計
	商業科	男	12	23	48
	女	12	21	25	58
計		24	44	73	141

(2) 出身中学校別生徒数

中学校名		1			2			3			合計		
		男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
大崎市	大崎市立鹿島台	2	3	5	3	3	6	5	1	6	10	7	17
	大崎市立松山				3	0	3	0	1	1	3	1	4
	大崎市立田尻				0	1	1				0	1	1
	大崎市立古川							0	1	1	0	1	1
	大崎市立古川東							4	0	4	4	0	4
	大崎市立古川南				1	0	1				1	0	1
加美郡	加美町立中新田				0	1	1				0	1	1
遠田郡	美里町立南郷	1	1	2	0	2	2	4	1	5	5	4	9
	美里町立小牛田				1	1	2				1	1	2
	美里町立不動堂	1	0	1	1	1	2				2	1	3
石巻市	石巻市立桃生				0	1	1				0	1	1
塩竈市	塩竈市立第一				1	0	1	7	0	7	8	0	8
	塩竈市立第二							0	1	1	0	1	1
	塩竈市立第三				0	1	1				0	1	1
	塩竈市立玉川	3	2	5	2	3	5	5	4	9	10	9	19
多賀城市	多賀城市立多賀城	1	0	1				2	1	3	3	1	4
	多賀城市立第二	0	2	2	1	0	1	4	2	6	5	4	9
	多賀城市立東豊	0	2	2	3	0	3	2	0	2	5	2	7
	多賀城市立高崎				0	1	1	0	1	1	0	2	2
宮城郡	利府町立利府	1	1	2	1	1	2	4	3	7	6	5	11
	利府町立利府西							1	0	1	1	0	1
	利府町立しらかし台				1	1	2	1	0	1	2	1	3
	松島町立松島				1	0	1	1	0	1	2	0	2
	七ヶ浜町立向洋	0	1	1				4	0	4	4	1	5
黒川郡	大郷町立大郷	1	0	1	3	2	5	3	4	7	7	6	13
栗原市	栗原市立瀬峰							0	1	1	0	1	1
仙台市	仙台市立岩切	1	0	1	0	1	1	0	2	2	1	3	4
	仙台市立中野	1	0	1	1	1	2				2	1	3
	仙台市立北仙台							1	0	1	1	0	1
	仙台市立西山							0	2	2	0	2	2
総計		12	12	24	23	21	44	48	25	73	83	58	141

(3) 通学方法別生徒数

学年男女別 通学方法		1 年			2 年			3 年			計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
徒 歩		0	1	1	1	2	3	2	0	2	3	3	6
自 転 車		2	0	2	2	0	2	2	0	2	6	0	6
バ イ ク		0	0	0	0	0	0	3	0	3	3	0	3
東 北 本 線	徒 歩	7	6	13	7	3	10	24	17	41	38	26	64
	自 転 車	2	2	4	5	6	11	2	0	2	9	8	17
	そ の 他	0	0	0	5	3	8	5	1	6	10	4	14
東 北 本 線 と 陸 羽 東 線	徒 歩	0	0	0	0	0	0	2	1	3	2	1	3
	自 転 車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1	1	2
東 北 本 線 と 石 巻 線	徒 歩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自 転 車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
東 北 本 線 と 仙 山 線	徒 歩	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
	自 転 車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 (自家用車等)		1	3	4	2	5	7	7	6	13	10	14	24
合 計		12	12	24	23	21	44	48	25	73	83	58	141

(4) 電車通学生徒・乗降駅別人数

乗車駅		学年男女別			1年			2年			3年			計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
東 北 本 線	東 仙 台	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2			
	岩 切	1	0	1	0	2	2	0	2	2	1	4	5			
	利 府	0	0	0	1	0	1	2	0	2	3	0	3			
	陸 前 山 王	1	1	2	1	1	2	4	0	4	6	2	8			
	国 府 多 賀 城	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	2	2			
	塩 釜	5	6	11	9	6	15	22	10	32	36	22	58			
	松 島	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	2			
	愛 宕	1	0	1	2	0	2	2	0	2	5	0	5			
	品 井 沼	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	1	2			
	松 山 町	0	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	2			
小 牛 田	1	0	1	1	2	3	0	0	0	2	2	4				
瀨 峰	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1				
陸羽東線	古 川	0	0	0	1	0	1	2	1	3	3	1	4			
	西 古 川	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1			
仙 山 線	北 仙 台	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1			
合 計		9	8	17	18	12	30	34	19	53	61	39	100			

12 図 書 館

- (1) 施 設 閲覧室 130.95㎡
- (2) 設 備 木製書架：傾斜単式7段2連 (4)，傾斜複式5段2連 (4) ・傾斜単式5段2連 (3)，
傾斜単式2連2段 (6)，直立2連3段 (1)
- スチール書架：大型本用4段 (1)，文庫・新書用複式1連 (1)，新書用8段 (1)
- 回転式書架文庫用：8列8段 (2)，8列7段 (2)
- 差込雑誌架 (1)，スチール雑誌架2段 (1)，新聞架 (1)，カードケース (1)，
ブックトラック (3)，マルチワゴン(1)，ディスプレイラック(1)，閲覧机 (9)，椅子 (42)，
ソファ (1)，カウンター用P C (1)，検索性P C(1)，液晶ディスプレイ (1)

(3) 蔵 書 (令和3年3月末現在)

分 類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会 科学	4 自然 科学	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	計
冊 数	496	383	1,114	1,473	728	500	243	1,370	354	4,582	11,243
百分比	4.4	3.4	9.9	13.1	6.5	4.5	2.2	12.2	3.1	40.7	100%

図書以外の資料

CD-ROM, DVD-ROM

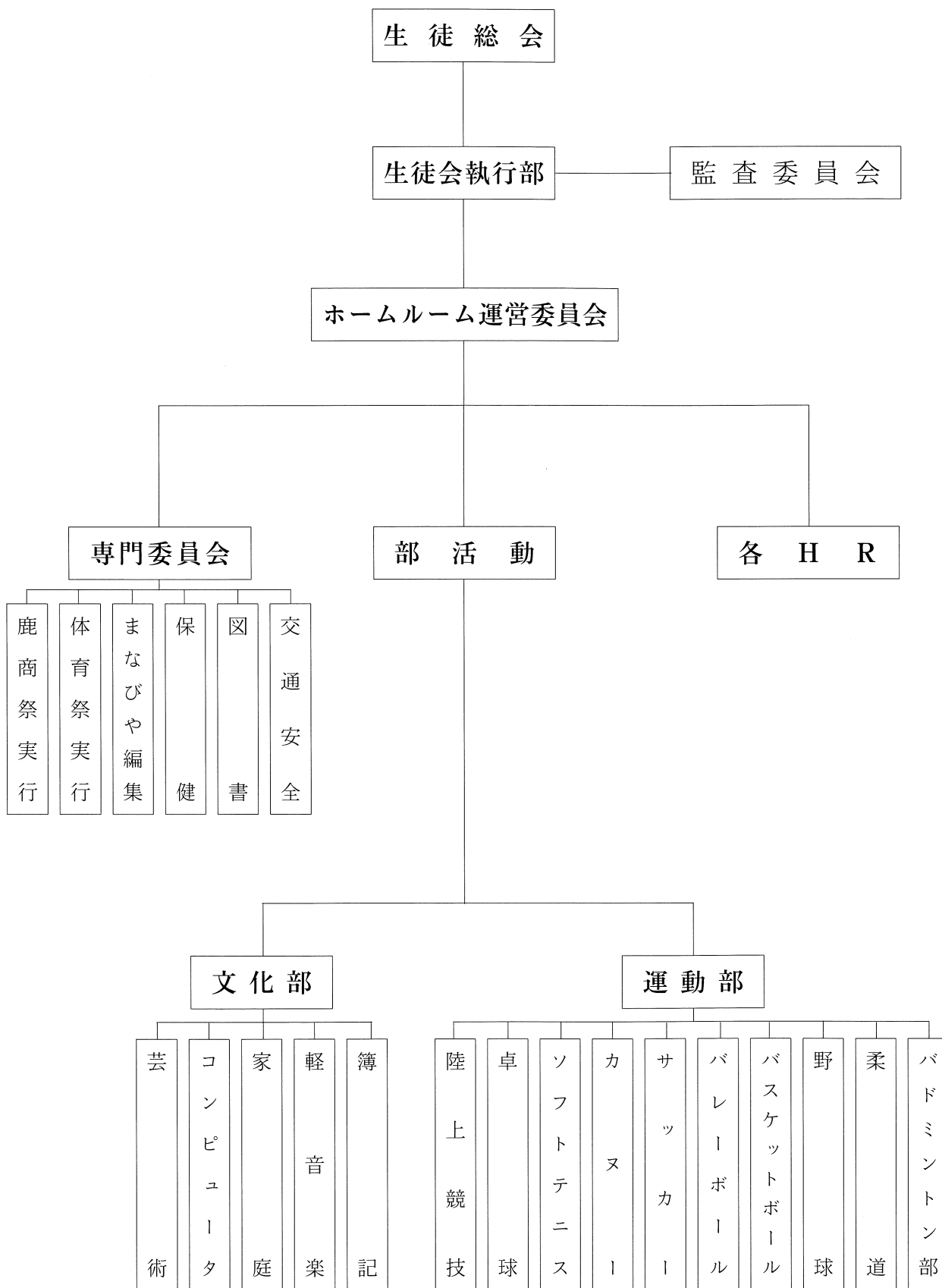
雑誌：きょうの料理ビギナーズ，ダ・ヴィンチ，日経PC21，セヴンティーン，SS，S-Style

新聞：朝日新聞，河北新報，大崎タイムス，日本農業新聞

13 生徒会

生徒会組織図

(1) 組織



※生徒全員がボランティア部に所属する。

(2) クラブ所属人数

〈文化部〉

クラブ名	1		2		3		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
芸 術 部	1	1	0	1	2	4	3	6	9
コンピュータ部	0	0	7	1	3	0	10	1	11
家 庭 部	0	2	0	0	0	9	0	11	11
軽 音 楽 部	1	1	1	2	15	0	17	3	20
簿 記 部	0	0	0	9	0	0	0	9	9

〈運動部〉

クラブ名	1		2		3		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
野 球 部	2	5	4	0	2	0	8	5	13
陸上競技部	0	0	1	0	0	0	1	0	1
バレーボール部	0	0	0	1	0	2	0	3	3
バスケットボール部	2	0	3	2	2	1	7	3	10
ソフトテニス部	0	0	2	0	0	3	2	3	5
卓 球 部	2	0	0	0	1	1	3	1	4
サ ッ カ ー 部	2	1	1	1	11	0	14	2	16
カ ヌ ー 部	0	0	0	1	1	0	1	1	2
柔 道 部	0	0	0	0	3	0	3	0	3
バドミントン部	2	2	2	2	8	3	12	7	19

14 卒 業 生

(1) 年度別卒業生数

年度 性別	昭和44 年度まで	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58
男	543	85	74	88	87	78	76	71	82	95	85	75	90	77	68
女	241	56	59	92	91	100	100	99	95	73	79	92	73	80	93
計	784	141	133	180	178	178	176	170	177	168	164	167	163	157	161

年度 性別	59	60	61	62	63	平成 元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
男	60	74	79	70	64	66	57	68	69	68	68	61	60	55	57
女	78	82	84	86	93	93	110	95	97	96	89	85	80	80	77
計	138	156	163	156	157	159	167	163	166	164	157	146	140	135	134

年度 性別	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
男	60	70	33	35	44	64	45	57	52	42	56	52	62	54	63
女	67	63	58	67	54	47	50	46	47	45	39	40	37	39	32
計	127	133	91	102	98	111	95	103	99	87	95	92	99	93	95

年度 性別	26	27	28	29	30	令和 元	令和 2	計
男	58	53	53	44	56	56	47	3,806
女	44	36	40	28	29	24	25	3,705
計	102	89	93	72	85	80	72	7,511

(2) 令和2年度卒業生の進路

A. 進路別内訳

令和3年4月現在

進路内訳		男	女	合計
進学	四年制大学	4	0	4
	短期大学	0	1	1
	専門学校	9	4	13
	未決定者	0	0	0
就職	大崎地区	8	1	9
	仙台地区	7	4	11
	塩釜・県内地区	7	7	14
	県外	0	0	0
	公務員	5	0	5
	縁故・自己就職	5	1	6
その他		2	6	8
未決定者		0	1	1
合計		47	25	72

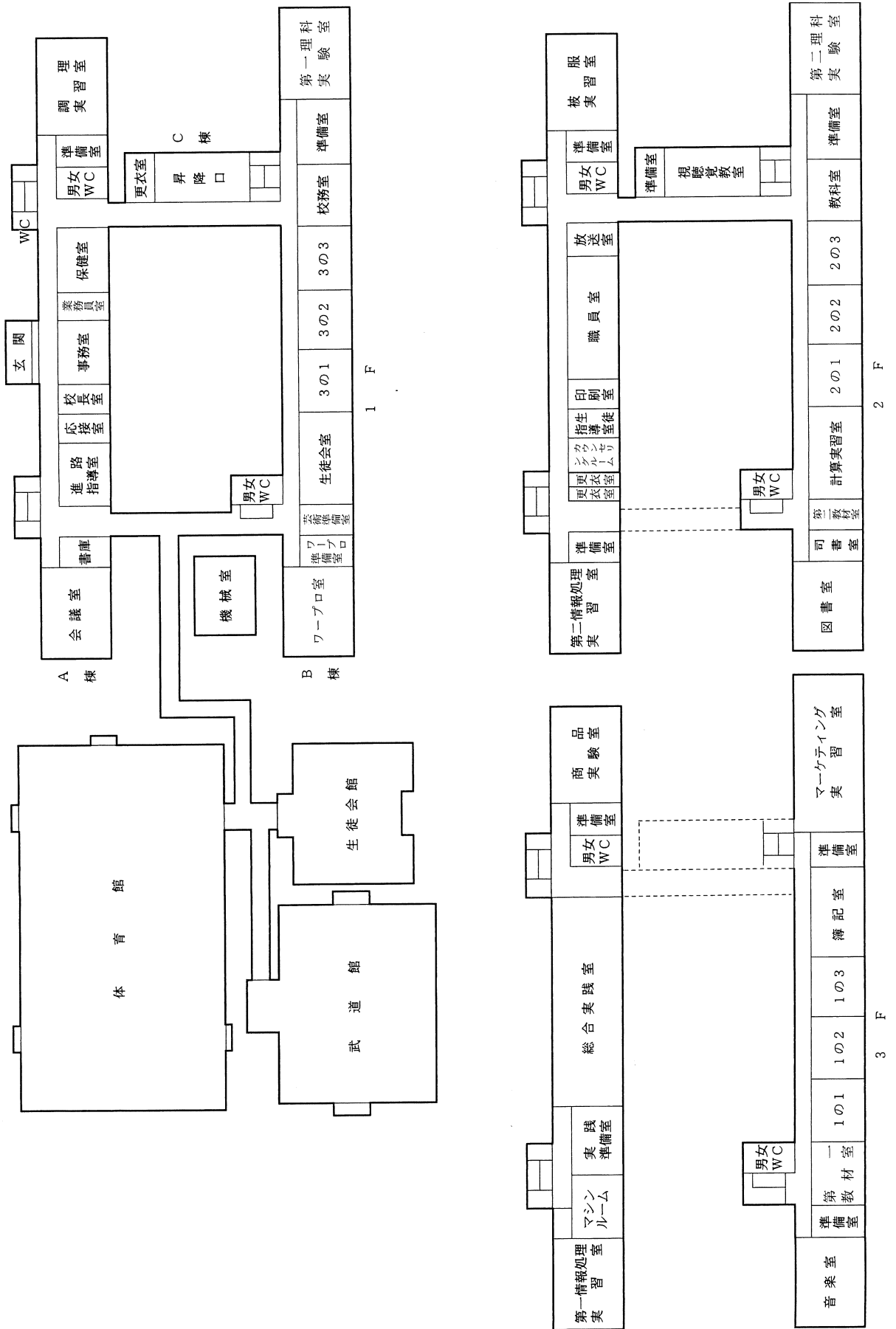
B. 就職者の職種別内訳（縁故・自己就職は除く）

職業分類	男	女	合計	%
専門・技術系	0	0	0	0.0%
事務系	2	4	6	15.4%
営業・販売系	0	0	0	0.0%
サービス系	0	4	4	10.3%
技能・製造系	14	4	18	46.2%
その他	6	0	6	15.4%
公務員	5	0	5	12.8%
合計	27	12	39	100.0%

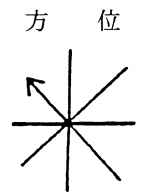
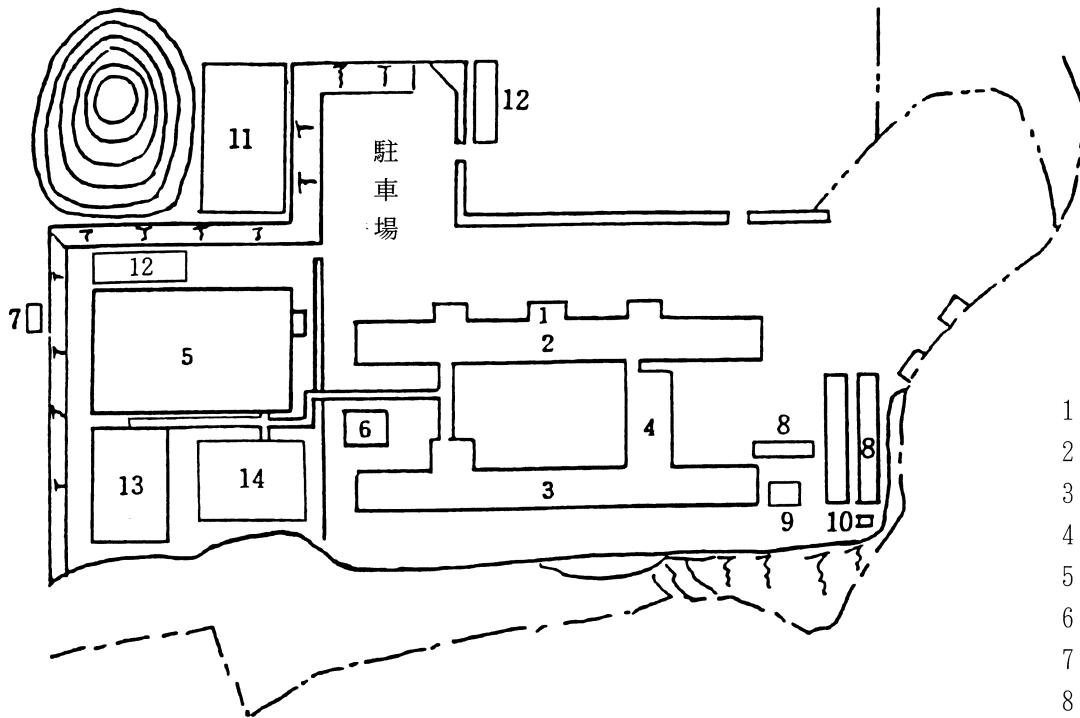
C. 就職者の業種別内訳（縁故・自己就職は除く）

産業分類	男	女	合計	%
建設業	2	0	2	5.1%
製造業	10	5	15	38.5%
運輸通信業	6	1	7	17.9%
卸・小売業	1	0	1	2.6%
金融・保険業	0	0	0	0.0%
サービス業	3	6	9	23.1%
公務	5	0	5	12.8%
その他	0	0	0	0.0%
	27	12	39	100.0%

15 校舎略図



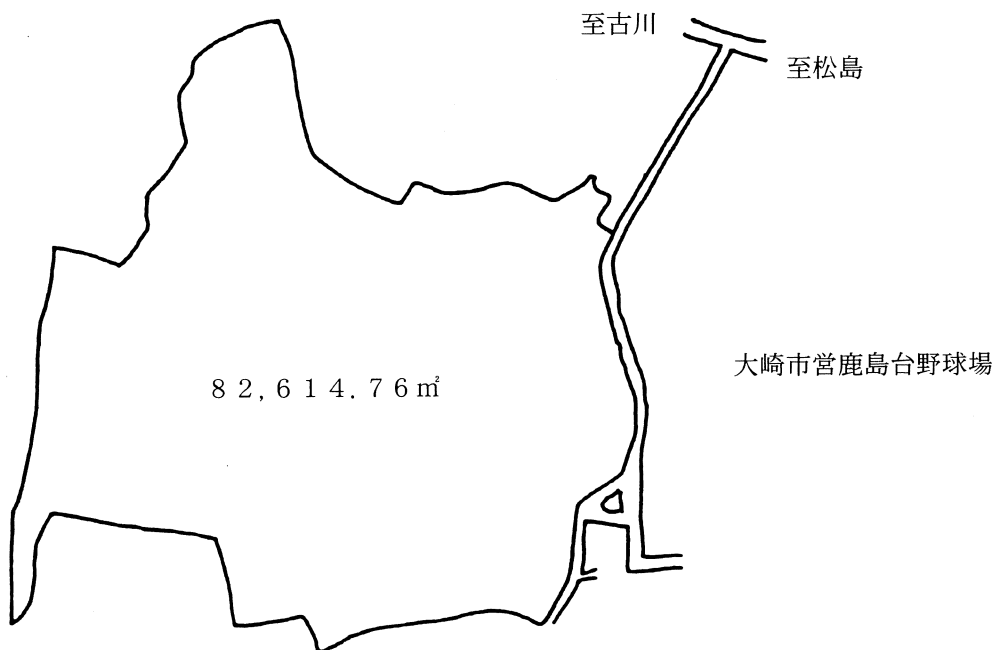
16 校舎配置図



(北に矢印を付す)

- 1. 中央玄関
- 2. A棟
- 3. B棟
- 4. C棟・昇降口
- 5. 体育館
- 6. 機械室
- 7. 倉庫
- 8. 自転車置場
- 9. 再生資源置場
- 10. 保管庫
- 11. プール
- 12. 部室・倉庫
- 13. 武道館
- 14. 生徒会館

17 校地見取図



学校要覧

令和3年度



宮城県南郷高等学校

〒989-4204 宮城県遠田郡美里町大柳字天神原7番地

電話(0229) 58-1122 FAX (0229) 58-1123

URL <https://nango-h.myswan.ed.jp/>

e-mail nango-h@od.myswan.ed.jp

校 歌

作詞 土井 晚 翠
作曲 陸軍戸山学校軍楽隊

♩ = 116~120



き た か み れ ん ぼ う は る か に き た 一 に お お



さ き こ う ど の み な み の は し に な る



せ の せ い り ゅ う さ か い と 一 な し 一 て な ん



ご う う れ し き わ れ ら の き ょ う ど

一、北上連峰 遙かに北に

大崎耕土の 南の端に

鳴瀬の清流 境となして

南郷うれしき われらの郷土

二、校庭仰ぐは 農家の偉人

薪を負ひたる 読書の姿

倣はであらめや 尊き徳に

青春われらの 血潮は熱し

目 次

1	沿革	1
2	校訓・校章の由来	4
3	歴代校長	5
4	学校経営方針	
	(1) 学校教育目標	5
	(2) 学校重点目標	5
	(3) 経営方針	6
	(4) 教育方針	6
	(5) 学科目標	6
5	学年努力目標	6
6	各部努力目標	7
7	防災規定	9
8	志教育全体計画	13
9	教育課程表	14
10	使用教科書一覧	16
11	年間行事予定	17
12	教職員	
	(1) 教職員組織図	19
	(2) 教職員数	20
	(3) 教職員一覧	20
13	時程表	21
14	生徒に関する調査	
	(1) 在籍生徒数	22
	(2) 保護者の職業	22
	(3) 通学方法	22
	(4) 出身中学校	23
15	卒業生に関する調査	
	(1) 卒業生数	24
	(2) 卒業生進路状況	25
16	生徒会・農業クラブ機構図	26
17	学校評価アンケート	27
18	学校施設概要	28
19	本校及び遠隔地実習圃場位置図	28
20	学校全図	29
21	校舎平面図	29

1 沿革

昭和 6. 3. 31	宮城県遠田郡南郷村立国民高等学校設立認可
4. 10	大柳「野田倶楽部」を仮校舎として開校
6. 1	宮城県遠田郡南郷村高等国民学校と改称
9. 23	本校舎竣工(野田真一氏の寄附による)仮校舎より移転
10. 8. 1	青年学校令により公立青年学校宮城県遠田郡南郷村高等国民学校と改称 修業年限2ヶ年, 定員100名
15. 3. 2	実業学校令及び農業学校規定第18条により宮城県南郷農学校(乙種)設立認可
16. 4. 8	南郷農学校「校歌」制定
17. 2. 8	大講堂(野田記念館)落成式
18. 3. 31	甲種農学校に昇格 修業年限3ヶ年, 定員150名
22. 3. 31	宮城県に移管 農業科に農芸化学科を増設 修業年限3ヶ年, 定員240名
23. 1. 31	農芸化学科を農産製造科と改称
4. 1	学制改革により宮城県南郷農業高等学校と改称
7. 1	定時制課程, 男子普通科設置 定員160名
24. 4. 1	通常課程, 女子普通科設置 定員150名 定時制課程, 女子被服科設置 定員120名
25. 5. 1	定時制課程鹿島台分校設置 定員男子普通科160名, 女子被服科160名
6. 1	学則改正(本校通常課程女子普通科を家政科と改称)
9. 14	全日本学校植林コンクール萱等賞
26. 9. 14	全日本学校植林コンクール第一位
30. 10. 22	「緑化の句碑」建立除幕式
33. 7. 31	旧体育館(710m ²)竣工
9. 7	「校旗」(新意匠)同窓会より寄贈
35. 3. 1	通常課程家政科1学級増募 定員300名, 定時制課程(中心校)募集中止
5. 17	鹿島台分校新校舎落成式(校舎983m ² . 校地面積14,850m ²)
6. 7	大講堂を「野田記念館」と改称し図書館開設
36. 2. 3	農産製造科を食品化学科と改称
38. 3. 1	食品化学科1学級増募(女子)
40. 4. 30	食品化学科実験室(367.5m ²)竣工落成
41. 4. 30	食品化学科実験室(355.7m ²)増築落成
42. 12. 8	農場実習生徒宿直室(鳴瀬寮)(142m ²)落成
3. 29	農業科1学級増募 定員240名
44. 4. 1	鹿島台分校, 宮城県鹿島台商業高等学校として独立
4. 30	作物・畜産実験室, 生徒作業準備室(360.9m ²)落成
46. 4. 18	全日本学校造林コンクール特選

47. 4. 1	永久校舎建築期成会設立
48. 4. 1	農業科女子募集
49. 3. 10	柔剣道場(306m ²)落成
3. 28	温室(150m ²)ボイラー室落成
51. 7. 27	プール(25m, 7コース)落成
53. 6. 12	宮城県沖地震により教室・合宿舎等半壊
54. 2. 1	永久校舎建築起工式
3. 11	学校林三平山・岩渕山閉林
55. 5. 24	永久校舎建築落成
9. 30	合宿舎落成
12. 24	農業科1学級減
57. 3. 15	新体育館落成
4. 10	創立50周年並びに総合落成記念式典
10. 30	運動部部室(2棟)完成
58. 3. 30	運動場総合整備完了(陸上・野球・ソフト各グラウンド, バックネット共)
61. 4. 1	宮城県南郷高等学校と改称し, 農業科を「産業技術科」, 家政科を「生活科学科」に学科改編 生活科学科1学級編成 校名変更により, 学校名標札除幕式
62. 2. 6	工業実習室竣工(308m ²)
2. 20	生物工学実験実習室設置, 看護実習室設置, 商業実践室設置
4. 1	制服変更
11. 30	食品化学実験棟改修
63. 2. 12	情報処理室設置
平成 2. 2. 28	全日本学校緑化コンクール特選
3. 31	陸上競技場整備(公認取得可)
8. 2~3	インターハイ会場(女子バレーボール予選)
3. 10. 22	「礼譲和協」校訓石碑建立除幕式
10. 25	創立60周年記念式典
5. 1. 14	食品化学科実験棟床改修
2. 26	全日本学校緑化コンクール準特選
7. 3. 20	国道, 鳴瀬川堤防境界フェンス設置
4. 1	機械警備開始
9. 7. 11	平成9年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰
10. 3. 18	旧体育館(809.5m ²)解体, 整地
3. 31	学校林八色山閉林
8. 29	「緑化活動顕彰碑」建立除幕式
11. 3. 17	校門・門扉改修

4. 1	食品化学科 1 学級減(募集定員:食品化学科 40 名, 産業技術科 40 名, 生活科学科 40 名, 合計 120 名) 生活科学科男女募集開始
12. 10. 16	第 55 回国民体育大会(富山)秋季大会銃剣道競技少年男子の部優勝
13. 10. 15	第 56 回国民体育大会(宮城)秋季大会銃剣道競技少年男子の部準優勝
11. 6	創立 70 周年記念式典
14. 10. 28	第 57 回国民体育大会(高知)秋季大会銃剣道競技少年男子の部第 3 位
15. 7. 26	宮城県北部連続地震
10. 26	第 58 回国民体育大会(静岡)秋季大会銃剣道競技少年男子の部第 3 位
16. 1. 16	食品化学実習棟震災復旧工事完了
4. 1	学級再編により食品化学科, 生活科学科募集停止, 1 学級減 普通科 1 学級募集開始(募集定員:普通科 40 名, 産業技術科 40 名, 合計 80 名)
10. 25	第 59 回国民体育大会(埼玉)秋季大会銃剣道競技少年男子の部準優勝
17. 10. 22	第 60 回国民体育大会(岡山)秋季大会銃剣道競技少年男子の部出場
18. 3. 31	食品化学科並びに生活科学科閉科
10. 6	第 61 回国民体育大会(兵庫)秋季大会銃剣道競技少年男子の部出場
19. 4. 1	制服変更
10. 7	第 62 回国民体育大会(秋田)秋季大会銃剣道競技少年男子の部第 5 位
20. 9. 24	野田記念館解体撤去
9. 28	第 63 回国民体育大会(大分)銃剣道競技少年男子の部出場
21. 10. 5	第 64 回国民体育大会(新潟)銃剣道競技少年男子の部第 7 位
22. 4. 1	みやぎマナーアップ運動推進校の指定校
10. 2	第 65 回国民体育大会(千葉)銃剣道競技少年男子の部第 8 位
23. 3. 11	東日本大震災により教室・実習室等被災
4. 28	被災地支援ボランティア実施
10. 8	第 66 回国民体育大会(山口)銃剣道競技少年男子の部準優勝
11. 11	創立 80 周年記念式典
24. 2. 18	第 11 回全日本短剣道大会団体高校生の部優勝
7. 4	被災地支援ボランティア実施
10. 6	第 67 回国民体育大会(岐阜)銃剣道競技少年男子の部出場
25. 8. 7	農業クラブ県連家畜審査技術競技会肉用牛の部団体最優秀賞
26. 3. 20	情報処理室設備更新
6. 10	フラワーサービスプロジェクト開始
27. 4. 22	タブレット型端末を活用した I C T 教育開始
6. 12	魅力ある県立高校づくり支援事業の指定校
8. 26	農業クラブ東北連盟大会 プロジェクト発表会・意見発表会・クラブ活動紹介の 3 部門出場
28. 4. 7	魅力ある県立高校づくり支援事業の指定校

	8. 25	農業クラブ東北連盟大会 プロジェクト発表会・家畜審査技術競技会乳用牛の部の2部門出場
	9. 21	農業クラブ県連家畜審査技術競技会乳用牛の部団体・個人最優秀賞
29.	4. 27	魅力ある県立高校づくり支援事業の指定校
	8. 24	農業クラブ東北連盟大会 クラブ活動紹介発表の部出場
10.	7	第72回国民体育大会（愛媛）銃剣道競技少年男子の部第3位
30.	8. 7	農業クラブ県連家畜審査競技会肉用牛の部団体最優秀賞
	8. 23	農業クラブ東北連盟大会 クラブ活動紹介発表の部優秀賞
	8. 26	第45回東北総合体育大会銃剣道競技少年の部宮城県代表第1位
	9. 22	全国都道府県対抗銃剣道大会少年の部宮城県代表第3位
令和 1.	8. 23	農業クラブ東北連盟大会 クラブ活動紹介発表の部優秀賞
	8. 25	第46回東北総合体育大会銃剣道競技少年の部宮城県代表第3位
令和 2.	6. 27	世界農業遺産支援プロジェクト

2 校訓・校章の由来

(1) 校訓

礼 讓 和 協

礼：高い規範意識を持ち礼儀作法を重んじ、敬意を持って接する人となる。

讓：相手の立場に立って物事を考え行動する人となる。

和：友情を育み、健全な人間関係を築く人となる。

協：仲間を助け支え合うことで、自らを高めていく人となる。

(2) 校章の由来

台は、早春霜をしのいで他の植物に先がけて開花する菜の花の花弁を置き、その四隅に「粃」を配し、米産地南郷の地にちなんで全体として米をかたどっている。

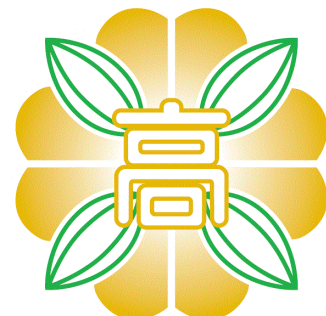
稲は生命の根であり、「米」はヨネと読んで世の根である。

個人の生命を尊重し、世界の平和浄化に、文化と産業の振興に奉仕できる善良有為の人物となることを意味する。春に先がけて咲く菜の花は、若さと創造の象徴となっている。

〈校旗〉



〈校章〉



3 歴代校長

代	氏名	就任年月日	退任年月日	勤続年数
事務取扱	斎藤永治	昭和 6. 3. 31	昭和 6. 7. 18	4 ヲ月
初代	松川五郎	昭和 6. 7. 18	昭和10. 4. 30	3年10 ヲ月
第2代	前田勝美	昭和10. 4. 30	昭和14. 3. 31	3年11 ヲ月
事務取扱	早川今朝治	昭和14. 4. 1	昭和14. 5. 13	2 ヲ月
第3代	鈴木長治	昭和14. 5. 14	昭和18. 5. 4	4年0 ヲ月
第4代	山田金弥	昭和18. 5. 5	昭和21. 3. 31	2年11 ヲ月
第5代	大町芳雄	昭和21. 4. 1	昭和32. 3. 31	11年0 ヲ月
第6代	渡辺謙	昭和32. 4. 1	昭和34. 3. 31	2年0 ヲ月
第7代	氏家文雄	昭和34. 4. 1	昭和38. 9. 30	4年6 ヲ月
第8代	阿部七郎	昭和38. 10. 1	昭和42. 3. 31	3年6 ヲ月
第9代	半沢青一	昭和42. 4. 1	昭和47. 3. 31	5年0 ヲ月
第10代	狩野賢二	昭和47. 4. 1	昭和50. 3. 31	3年0 ヲ月
第11代	相原健助	昭和50. 4. 1	昭和52. 3. 31	2年0 ヲ月
第12代	舟田捨夫	昭和52. 4. 1	昭和58. 3. 31	6年0 ヲ月
第13代	山口正彦	昭和58. 4. 1	昭和61. 3. 31	3年0 ヲ月
第14代	加藤哲哉	昭和61. 4. 1	昭和63. 3. 31	2年0 ヲ月
第15代	竹内一誠	昭和63. 4. 1	平成 3. 3. 31	3年0 ヲ月
第16代	菊地進	平成 3. 4. 1	平成 5. 3. 31	2年0 ヲ月
第17代	千葉哲男	平成 5. 4. 1	平成 8. 3. 31	3年0 ヲ月
第18代	本田繁夫	平成 8. 4. 1	平成10. 3. 31	2年0 ヲ月
第19代	横山千代彦	平成10. 4. 1	平成13. 3. 31	3年0 ヲ月
第20代	斎藤努	平成13. 4. 1	平成16. 3. 31	3年0 ヲ月
第21代	佐藤文人	平成16. 4. 1	平成19. 3. 31	3年0 ヲ月
第22代	渡辺周也	平成19. 4. 1	平成22. 3. 31	3年0 ヲ月
第23代	千田孝彦	平成22. 4. 1	平成24. 3. 31	2年0 ヲ月
第24代	高橋敏昭	平成24. 4. 1	平成26. 3. 31	2年0 ヲ月
第25代	遠藤吉夫	平成26. 4. 1	平成28. 3. 31	2年0 ヲ月
第26代	茂木好光	平成28. 4. 1	平成30. 3. 31	2年0 ヲ月
第27代	佐藤善則	平成30. 4. 1	令和 2. 3. 31	2年0 ヲ月
第28代	匹田哲弥	令和 2. 4. 1		

4 学校経営方針

(1) 学校教育目標

教育基本法及び宮城県教育基本方針に基づき、「礼譲和協」の校訓にふさわしく、地域社会の発展に貢献できる人材を育成する。

(2) 学校重点目標

- ① 個に応じたキャリア教育の実践と希望進路実現
- ② 魅力ある授業の推進による基礎学力の定着・向上

- ③ 多様な行事と活動を通じて、豊かな人間性の育成
- ④ 地域に根ざし、開かれた学校づくりと生徒数の安定確保

(3) 経営方針

学校教育目標及び重点目標を達成するために、以下の方針で令和3年度の学校運営を行うこととする。

- ① 志教育を推進する学校づくり
- ② 特色と魅力ある学校づくり
- ③ いのちと個性を大切に作る学校づくり
- ④ 地域とつながる学校づくり

(4) 教育方針

- ① 生涯にわたり自ら学ぶ意欲・関心の喚起、またその態度の育成のための、基礎基本を重視した学習指導を行う。
- ② 個性の伸長と心豊かな人間性の涵養のためのきめ細かな生活指導を行う。
- ③ 地域社会に貢献できる基礎的専門知識・技能を持った人材を育成する。

(5) 学科目標

① 普通科

生徒一人一人の能力や適性に応じ、基礎的・基本的な知識を習得させ、社会人として必要な能力と態度を育てる。

② 産業技術科

産業社会の農業・工業・商業等に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、これらの業務に従事する職業人として必要な能力と態度を育てる。

5 学年努力目標

(1) 1 学年

[基本方針]

- ① 高校生としての自覚を持ち、本校における諸活動を通して社会性を身に付けさせる。
- ② 生徒一人一人の能力や適性に応じた目標を意識させ、意欲的に高校生活を送らせる。
- ③ 伝統を意識し、礼譲和協を日常生活において実践・行動できるようにする。

[努力目標]

- ① 基本的生活習慣を確立させる。
- ② 学習習慣の確立と基礎学力の向上を図る。
- ③ 志教育の観点から、将来を見据えて日々の自己実現に努める。

(2) 2 学年

[基本方針]

- ① 南郷高校の中堅学年としての自覚を持ち、本校における諸活動を通して仲間と協力し合うことで、社会性を身に付けさせる。
- ② 生徒一人一人の能力や適性に応じた目標を設定して高校生活を送らせる。
- ③ 校訓である礼譲和協を日常生活において実践・行動できるようにする。

[努力目標]

- ① 基本的な生活習慣を確立させる。
- ② 学習習慣を確立させ基礎学力の向上を図る。
- ③ 志教育の観点から将来を見据えて日々自己実現に努めさせる。

(3) 3 学年

[基本方針]

- ① 基本的な生活習慣を重視し、本校での諸活動を通して社会性を身に付けさせる。
- ② 自らの将来を見据えた目標を設定し、進路目標を達成させる。
- ③ 最上級生としての自覚を持ち、諸活動に主体的に取り組み、意欲的な学校生活を送らせる。

[努力目標]

- ① 社会人としてふさわしい生活習慣の確立と良識ある態度の実践。
- ② 将来の目標達成に向けた学習習慣の確立と基礎学力の向上。
- ③ 志教育の観点から将来を考え、諸活動を通じた進路意識の向上と進路実現。

6 各部努力目標

(1) 総務部

[基本方針]

- ① 各分掌・各学年と連携し、校務の円滑な運営調整を図り、効率的な運営に努める。
- ② P T A・同窓会との連携を図り、円滑な運営体制を確立する。
- ③ 学校通信や中学生一日体験入学等により学校 P R 活動を推進する。

[努力目標]

- ① 校務の円滑な運営調整を図る。
- ② 各分掌・各学年と連携し、集会等で効率的な運営を図る。
- ③ 校内諸記録の整理と保管に努める。
- ④ P T A・同窓会との連携を図り、円滑な運営体制を確立する。
- ⑤ 地域に根ざした学校づくりを目指し、広報活動に努める。
- ⑥ 図書関係の充実。

(2) 教務部

[基本方針]

- ① 創立以来の伝統を踏まえ、高い志を持った教育活動を行う。
- ② 生徒の実態を的確に把握し、学習意欲及び基礎学力の向上に努める。
- ③ 教育課程、評価規定の研究に努める。
- ④ 情報セキュリティの周知徹底
- ⑤ I C T 機器の適切な活用と保守管理
- ⑥ 支援システム運用の技術的支援

〔努力目標〕

- | | |
|--------------------|--------------|
| ① 基礎学力の向上 | ② 家庭学習の充実 |
| ③ 成績不振生徒に対する効果的な指導 | ④ 生徒の学力調査と分析 |
| ⑤ 校内研修の充実 | ⑥ 教育環境の整備 |

(3) 生徒指導部

〔基本方針〕

- ① 諸活動において積極的に生徒と関わりを持ち、ほめる指導を実践していく。
- ② 一人一人の生徒に目的意識を持たせ、活力のある生活をさせる。
- ③ 道徳教育を実践し、思いやりの心を養うとともに規律のある学校生活を送らせる。
- ④ 事故対応的な観点ではなく、予防的指導を組織的に行う。
- ⑤ あきらめない指導・毅然とした指導・愛情のある指導を組織的に行う。
- ⑥ 他機関や地域社会との連携を積極的に行う。

〔努力目標〕

- | | |
|----------------|-----------------|
| ① 基本的生活習慣の確立 | ② 道徳教育の実践 |
| ③ 交通安全指導の徹底 | ④ 諸活動への積極的参加の推進 |
| ⑤ 生徒会や委員会活動の充実 | ⑥ 諸手続きの徹底 |

(4) 進路指導部

〔基本方針〕

- ① 志教育を推進し、確かな勤労観・職業観を身に付けさせ、自立した社会人になるために支援していく。
- ② 個人の適性に応じた幅広い進路選択ができるように努める。
- ③ 進路を決定できる能力と基礎学力向上に取り組み、進路達成の実現を目指す。

〔努力目標〕

- ① 学年に応じた進路学習の充実
- ② 進路情報の収集と活用
 - ア 進路情報の収集
 - イ 生徒・保護者への進路情報の提供
 - ウ 進路資料室・相談室の利用

(5) 保健厚生部

〔基本方針〕

- ① 学校行事や健診等を通じて、健康で豊かな生活を送ることの重要性について認識させる。
- ② 美化活動等を通じて心の教育に努める。
- ③ 教育上特別な支援を必要とする生徒に対して、支援体制の充実を図る。

〔努力目標〕

- | | |
|------------|---------------|
| ① 学習環境の整備 | ② 清掃の徹底 |
| ③ 公共物の愛護精神 | ④ 生徒の健康観育成 |
| ⑤ 相談活動の推進 | ⑥ 情報の収集と資料の活用 |
| ⑦ 保健委員会活動 | ⑧ 感染症と熱中症予防 |

(6) 農場部

[基本方針]

- ① 安全・安心面に配慮した農場運営に努める。
- ② 地域活性化に導くアンテナショップ的な農場運営の推進に努める。
- ③ 地域に開かれた学校農場を目指し、魅力ある農業教育を推進する。

[努力目標]

- ① 安全・安心な学習環境の整備
- ② 地域に根ざした農場運営
- ③ 産・学・官との連携重視

(7) 事務部

[基本方針]

- ① 安全な施設設備の維持管理をめざす。
- ② 適正な会計事務の執行をめざす。
- ③ 魅力ある学校づくりに寄与するための適正な予算措置を行う。

[努力目標]

- ① 施設設備の適切な維持管理
- ② 正確な会計事務処理の実践
- ③ 予算配当の適正化

7 防災規定

(1) 基本方針

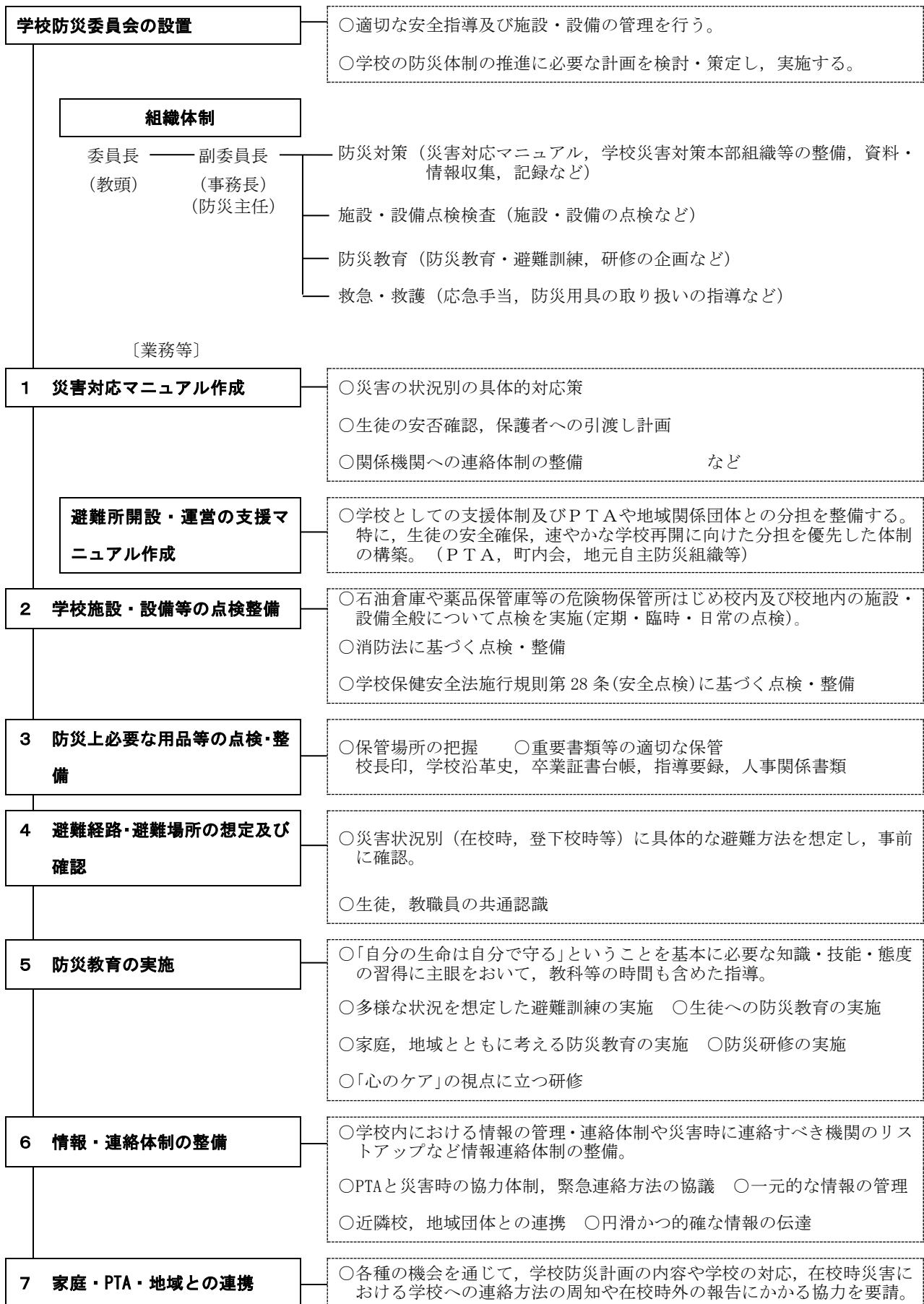
学校生活全体を通して、総合的見地から平素における安全の点検・管理に務めるとともに、過去の大規模な自然災害、特に大地震の教訓を生かし、生徒の安全確保を図るため、日常的な防災活動や害発生時における基本的な対応を示す。また、訓練の実施によって災害の予防、人的・物的損耗の絶無を期する。

(2) 重点努力目標

- ① 防災思想の普及と高揚
- ② 日常における施設・設備の防災点検・整備の充実
- ③ 防災組織の確立と安全確保

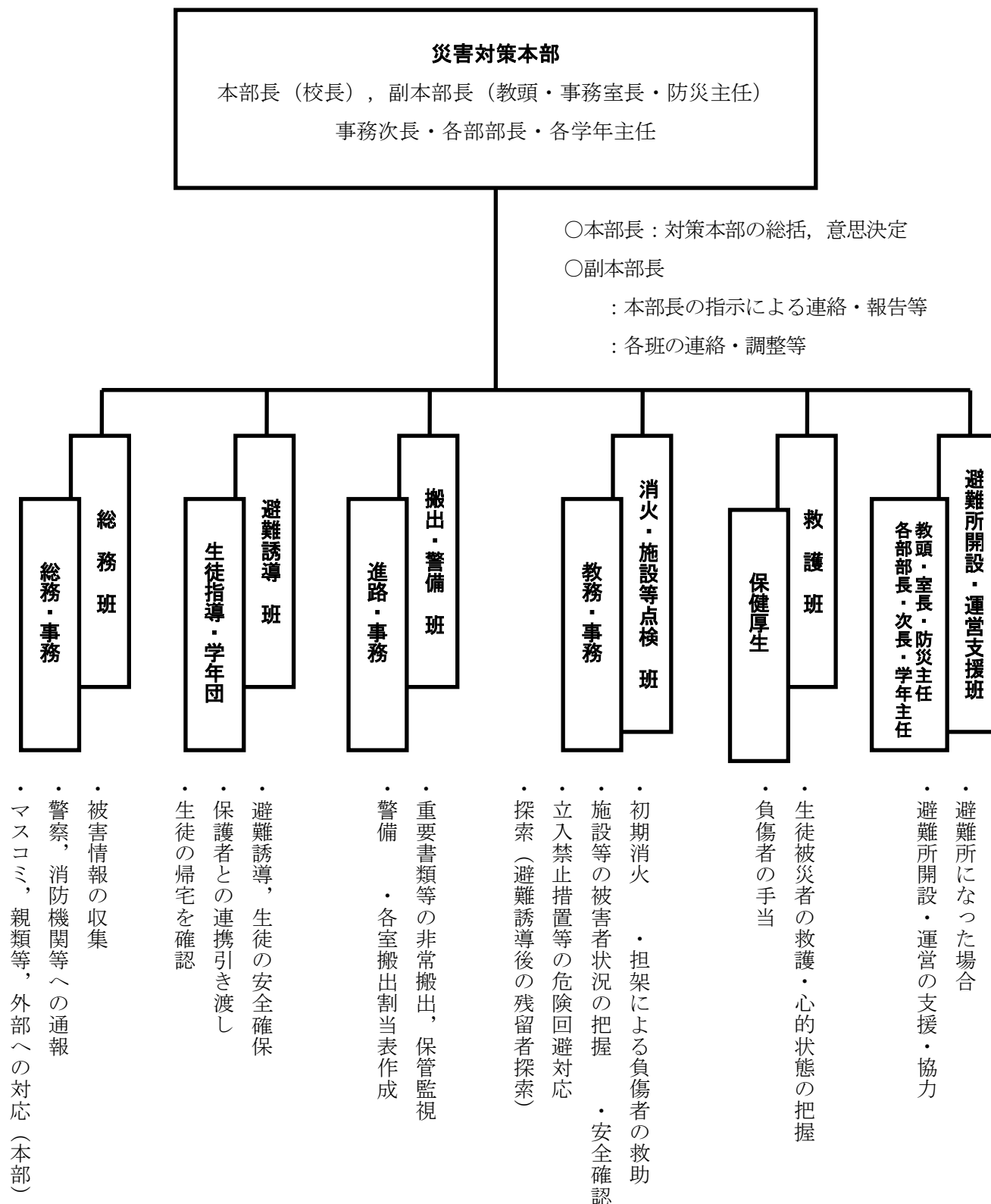
(3) 日常的な学校の防災活動

日常の安全教育及び安全管理を推進し、また、災害が発生した場合においても速やかに生徒等の安全確保を図るため、次の事項を定める。



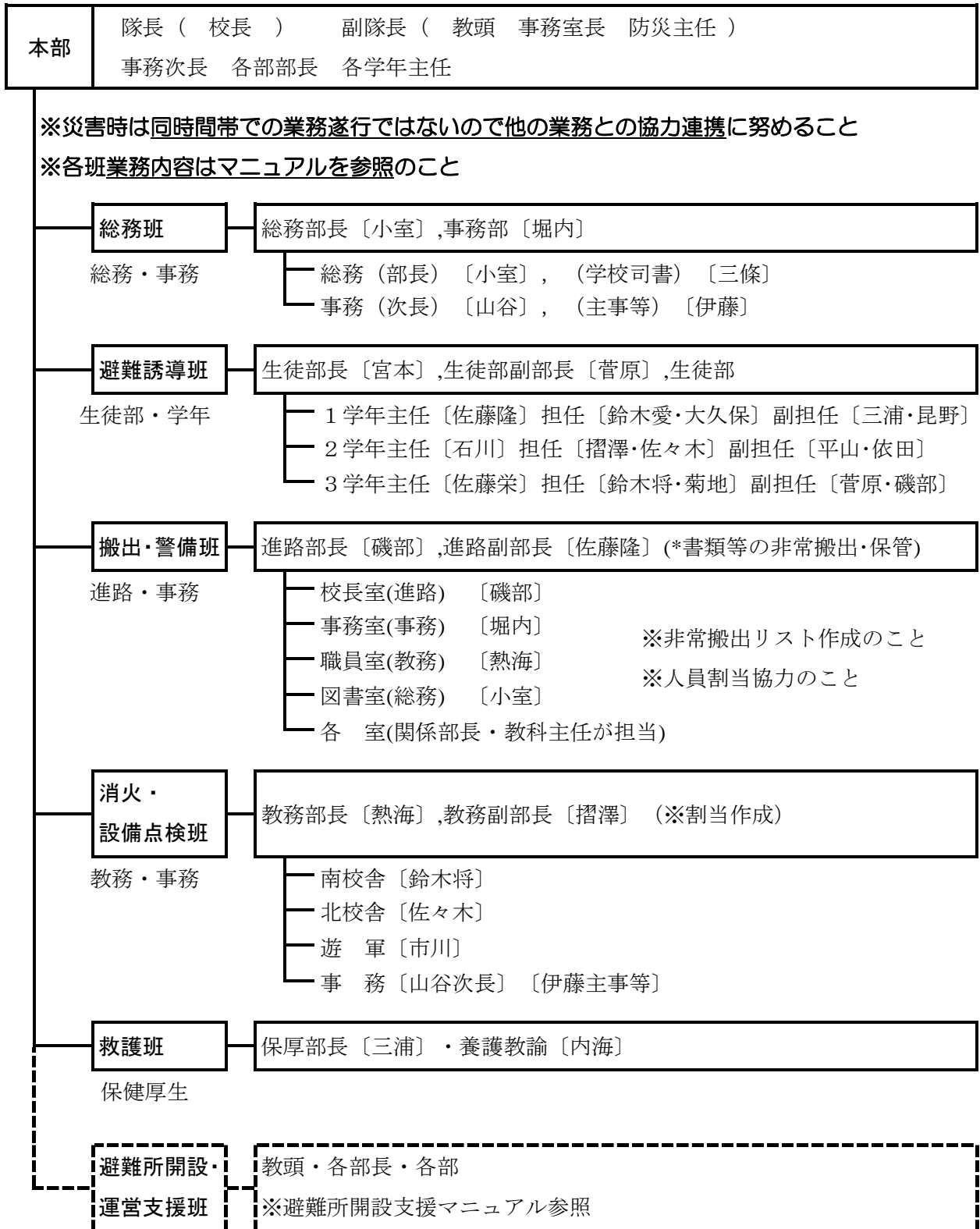
○学校災害対策本部の組織図

災害の規模・被害状況等を踏まえ、原則として校長室・職員室に学校災害対策本部を設置し、学校として組織的な災害対応にあたる。防災計画で定める自衛消防組織との整合性を踏まえ、学校の実情に応じた組織を編成し、周知徹底を図る。



令和3年度 自衛消防隊 編成

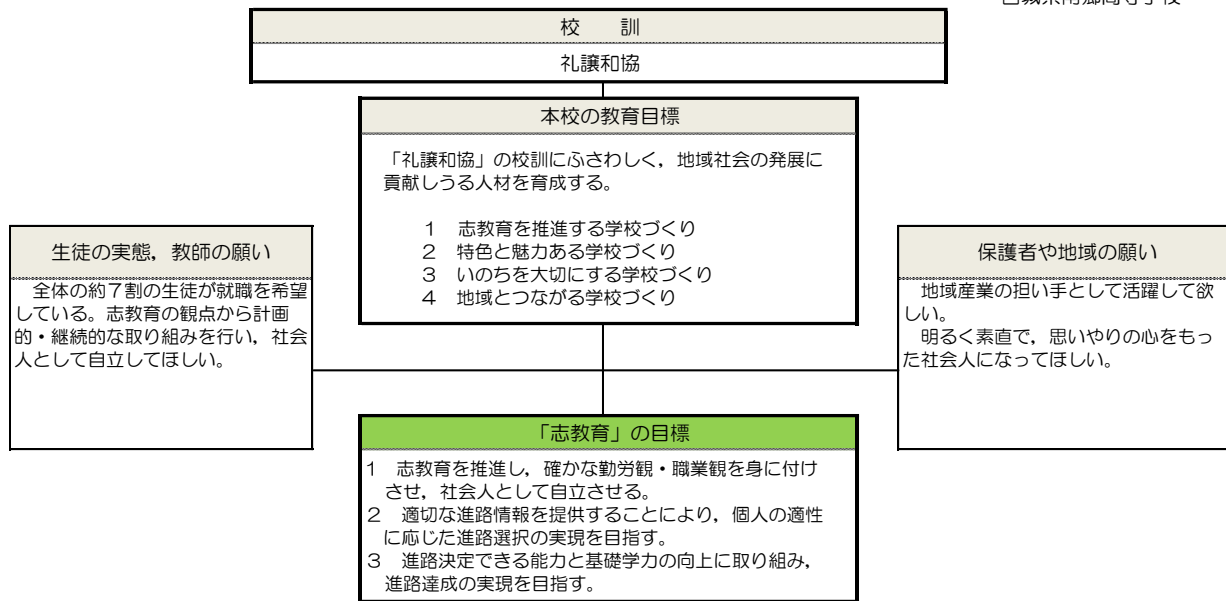
- 1 避難を第一義とし，生徒・職員の生命の安全を確認する。
 - 2 状況に応じて（隊長の判断），搬出・消火の活動を行う。
- ※ 各教室及び施設毎に物品管理・火気取締者（別紙2）を置く。



8 志教育全体計画

令和3年度 志教育全体計画

宮城県南郷高等学校



重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
学校・地域・家庭などの様々な人とのかかわりを通して、コミュニケーション能力を身に付けさせるとともに、他人を思いやる心を持って集団生活を送れるようにする。	進路ガイダンスやインターンシップ・企業人講話・職場訪問等を通して、自己の適性を理解し、将来の進路について考えさせ、実現に向けて努力させる。	ボランティア活動や地域の行事などに積極的に参加し、自分の役割を果たすことによって、社会の一員としての自覚を持たせる。

各教育活動における取組の観点		各学年の取組内容	
各教科	生徒一人ひとりの能力や適性に応じ、基礎的・専門的な知識を習得させ、社会人として、必要な能力と態度を育てる。また、農業・工業・商業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、職業人として必要な能力と態度を育てる。	1 学 年	<ol style="list-style-type: none"> ①進路オリエンテーション ②進路ガイダンスの実施（年2回以上実施） ③基礎学力向上の取り組み（基礎力診断テスト・校内実力テスト等） ④校内・校外美化活動（フラワーサービスプロジェクトを含む） ⑤LHRの取り組み（進路ノート・上級学校・職業調べ等） ⑥石巻地区被災地理解・復興支援 ⑦地域交流事業（郷JIA職員による郷土料理や農産物を使ったものづくり講座）
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣を確立し、心身の調和ある生活の実現に努めさせる。 ・高い規範意識と他者を思いやる豊かな心を持つ生徒を育成する。 ・高い公共心を持ち自己の生き方・在り方を考えることができる生徒を育成する。 	2 学 年	<ol style="list-style-type: none"> ①インターンシップの実施 ②進路ガイダンスの実施（年2回以上実施） ③基礎学力向上の取り組み（基礎力診断テスト・校内実力テスト等） ④校内・校外美化活動（フラワーサービスプロジェクトを含む） ⑤LHRの取り組み（具体的進路希望ごとの情報収集と対策） ⑥地域交流事業（生活習慣病予防のための食を学ぶなど）
学習の時間	上級学校や希望企業調べ、また時事問題などについて自ら課題を設定し、主体的に判断し、よりよく問題を解決する能力を育成するとともに、将来の職業について考えさせる。	3 学 年	<ol style="list-style-type: none"> ①進路ガイダンスの開催（年2回以上実施） ②基礎学力向上の取り組み（基礎力診断テスト・校内実力テスト等） ③進路講話等（外部講師を招いて年3回以上実施） ④面接指導・模擬面接・会社見学会などを実施 ⑤内定者指導及び未内定者への個別指導 ⑥校内・校外美化活動（フラワーサービスプロジェクトを含む） ⑦地域交流事業（世代間交流など）
特別活動	生徒会活動や学校行事等に積極的に参加させ、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として協力して諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てる。		
その他	服装・髪型等の身だしなみを整え、主体的に挨拶ができるとともに、環境の美化に努めることができる態度を養う。また、部活動を通して心身ともに健全な人格の形成を目指す。		
家庭との連携		地域・企業との協働（近隣の小中学校を含む）	
PTA活動・授業公開・学校だより等の配布・学校HPの公開・メール配信システムの活用などを通じて情報交換を図り、社会に貢献できる人材の育成に努める。		インターンシップや農業実習、大崎耕土世界遺産プロジェクト、フラワーサービスプロジェクトやアグリサポートプロジェクト、地域ボランティア活動などの体験的な活動を通して、望ましい職業観・勤労観及び奉仕の精神の育成を図る。	

9 教育課程表

*必修科目 ◎:必ず履修 ○:いずれか必ず履修

学科 入学年度 学年		普通科												
		必修 科目	令和3年度入学				令和2年度入学				令和元年度入学			
			1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計
国語	国語総合	◎	5			5	5			5	5			5
	国語表現				2	2			2	2			2	2
	現代文A				3	3			3	3			3	3
	現代文B			4		4		4		4		4		4
	古典A				D2	D2			D2	D2			D2	D2
地歴	世界史A	◎	2			2	2			2	2			2
	日本史A	○		2		2		2		2		2		2
	地理A	○	2			2	2			2	2			2
公民	現代社会	◎		2		2		2		2		2		2
	政治・経済				3	3			3	3			3	3
数学	数学Ⅰ	◎	3			3	3			3	3			3
	数学Ⅱ			2	2	4		2	2	4		2	2	4
	数学A			2		2		2		2		2		2
	数学B				E3	E3			E3	E3			E3	E3
理科	科学と人間生活	◎	3			3	3			3	3			3
	化学基礎	○			3	3			3	3			3	3
	生物基礎	○		3		3		3		3		3		3
	地学基礎	○			F3	F3			F3	F3			F3	F3
保体	体育	◎	3	2	2	7	3	2	2	7	3	2	2	7
	保健	◎	1	1		2	1	1		2	1	1		2
芸術	音楽Ⅰ	◎	2			2	2			2	2			2
外国語	コミュニケーション英語基礎		2			2	2			2	2			2
	コミュニケーション英語Ⅰ	◎		3		3		3		3		3		3
	コミュニケーション英語Ⅱ				3	3			3	3			3	3
	英語表現Ⅰ		3			3	3			3	3			3
	英語表現Ⅱ			B2	C2	B2・C2		B2	C2	B2・C2		B2	C2	B2・C2
家庭	家庭基礎	◎		3		3		3		3		3		3
情報	社会と情報	◎	2	2		4	2	2		4	2	2		4
普通科目計			28	26・28	18~28	72~84	28	26・28	18~28	72~84	28	26・28	18~28	72~84
農業	食品製造			B2	C2	B2・C2		B2	C2	B2・C2		B2	C2	B2・C2
	課題研究				E3	E3			E3	E3			E3	E3
商業	ビジネス基礎				D2	D2			D2	D2			D2	D2
	情報処理				F3	F3			F3	F3			F3	F3
家庭	子どもの発達と保育				E3	E3			E3	E3			E3	E3
	生活と福祉			B2	C2	B2・C2		B2	C2	B2・C2		B2	C2	B2・C2
	ファッション造形基礎				D2	D2			D2	D2			D2	D2
	フードデザイン				F3	F3			F3	F3			F3	F3
専門科目計			0	0・2	0~10	0~12	0	0・2	0~10	0~12	0	0・2	0~10	0~12
特別活動	ホームルーム活動	◎	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
特別活動計			1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
総合的な探究の時間		◎	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
合計			30	30	30	90	30	30	30	90	30	30	30	90
備考	1 第2学年の選択科目はB群より1科目を選択する。 2 第3学年の選択科目はC~F群よりそれぞれ1科目を選択する。但し、C群は、2年次のB群と同一科目を選択する。 3 3年次の選択E3の「課題研究」を選択できる者は、2年次の選択B2の「食品製造」を履修した者に限る。													

* 必修科目 ◎: 必ず履修 ○: いずれか必ず履修

学科 入学年度 学年	教科・科目	必修 科目	産業技術科												
			令和3年度入学				令和2年度入学				令和元年度入学				
			1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計	
国語	国語総合	◎	3	2		5	3	2		5	3	2		5	
	国語表現				D2	D2			D2	D2			D2	D2	
	現代文A			2	2			2	2			2	2		
地歴	世界史A	◎	2			2	2			2	2			2	
	地理A	◎	2			2	2			2	2			2	
公民	現代社会	◎		2		2		2		2		2		2	
	政治・経済				3	3			3	3			3	3	
数学	数学I	◎	3			3	3			3	3			3	
	数学A			2		2		2		2		2		2	
	数学活用				D2	D2			D2	D2			D2	D2	
理科	科学と人間生活	◎	2			2	2			2	2			2	
	化学基礎	○			3	3			3	3			3	3	
	生物基礎	○		3		3		3		3	3			3	
	地学基礎	○			H2	H2			H2	H2			H2	H2	
保体	体育	◎	3	2	2	7	3	2	2	7	3	2	2	7	
	保健	◎	1	1		2	1	1		2	1	1		2	
芸術	音楽I	◎	2			2	2			2	2			2	
外国語	コミュニケーション英語基礎		2			2	2			2	2			2	
	コミュニケーション英語I	◎		2		2		2		2		2		2	
	英語会話				H2	H2			H2	H2			H2	H2	
家庭	家庭基礎	◎		2		2		2		2		2		2	
普通科目計			20	16	14	50	20	16	14	50	20	16	14	50	
農業	農業と環境	◎	2			2	2			2	2			2	
	課題研究	○			3	3			3	3			3	3	
	総合実習		2	2		4	2	2		4	2	2		4	
	総合実習(時間外)		(1)	(1)	(1)	(3)	(1)	(1)	(1)	(3)	(1)	(1)	(1)	(3)	
	農業情報処理	◎		2		2		2		2		2		2	
	作物			C2	F3	C2・F3		C2	F3	C2・F3		C2	F3	C2・F3	
	野菜			C2	F3	C2・F3		C2	F3	C2・F3		C2	F3	C2・F3	
	草花			C2	F3	C2・F3		C2	F3	C2・F3		C2	F3	C2・F3	
	農業機械				2	2			2	2			2	2	
食品製造			B2	E2	B2・E2		B2	E2	B2・E2		B2	E2	B2・E2		
工業	工業技術基礎		2			2	2			2	2			2	
	機械工作			2	G2	2・G2		2	G2	2・G2		2	G2	2・G2	
	原動機			2	G2	2・G2		2	G2	2・G2		2	G2	2・G2	
	機械製図				2	2			2	2			2	2	
商業	情報処理		2			2	2			2	2			2	
	ビジネス情報			B2	E2	B2・E2		B2	E2	B2・E2		B2	E2	B2・E2	
専門科目計			8(1)	12(1)	14(1)	34(3)	8(1)	12(1)	14(1)	34(3)	8(1)	12(1)	14(1)	34(3)	
特別活動	ホームルーム活動	◎	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	
特別活動計			1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	
総合的な探究の時間			◎	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
合計			30(1)	30(1)	30(1)	90(3)	30(1)	30(1)	30(1)	90(3)	30(1)	30(1)	30(1)	90(3)	
備考	<p>1 第2学年の選択科目は、B群・C群よりそれぞれ1科目を選択する。</p> <p>2 第3学年の選択科目は、D～H群よりそれぞれ1科目を選択する。但し、F群は、2年次のC群と同一科目を選択する。また、E群は、2年次のB群と同一科目を選択する。</p> <p>3 「農業情報処理」の履修により普通教科「情報」に関する科目の履修に代替する。</p>														

10 使用教科書一覧

普通科

学年	科目名	出版社	教科書名
1	国語総合	東書	新編国語総合
	地理A	東書	地理A
	地図	帝国	新詳高等地図
	世界史A	山川	世界の歴史 改訂版
	数学I	数研	改訂版 新 高校の数学I
	科学と人間生活	実教	科学と人間生活 新訂版
	保健体育	大修館	現代高等保健体育改訂版
	コミュニケーション英語基礎	三友	JOYFUL English Communication Basic
	英語表現I	第一	Vivid English Expression I NEW EDITION
	社会と情報	東書	社会と情報
	音楽I	教出	高校音楽I改訂版 Music View
2	現代文B	三省堂	明解現代文B 改訂版
	現代社会	実教	最新現代社会 新訂版
	日本史A	実教	高校日本史A 新訂版
	数学II	実教	高校数学II 新訂版
	数学A	数研	改訂版 新 高校の数学A
	生物基礎	実教	高校生物基礎 新訂版
	コミュニケーション英語I	数研	Revised COMET English Communication I
	家庭基礎	教図	高等学校 家庭基礎 グローバル&サステイナビリティ
食品製造	実教	食品製造	
3	現代文A	大修館	現代文A 改訂版
	政治・経済	実教	最新政治・経済 新訂版
	国語表現	教出	国語表現 改訂版
	古典A	大修館	古典A 物語選 改訂版
	数学B	数研	改訂版 新 高校の数学B
	化学基礎	東書	改訂 新編化学基礎
	コミュニケーション英語II	数研	Revised COMET English Communication II
	地学基礎	第一	高等学校 改訂 地学基礎
	フードデザイン	教図	フードデザインcooking&arrangement
	ビジネス基礎	実教	ビジネス基礎 新訂版
情報処理	実教	情報処理 新訂版	

産業技術科

学年	科目名	出版社	教科書名
1	国語総合	東書	新編国語総合
	世界史A	山川	世界の歴史 改訂版
	地理A	東書	地理A
	地図	帝国	新詳高等地図
	数学I	数研	改訂版 新 高校の数学I
	科学と人間生活	実教	科学と人間生活 新訂版
	保健体育	大修館	現代高等保健体育改訂版
	コミュニケーション英語基礎	三友	JOYFUL English Communication Basic
	農業と環境	実教	農業と環境 新訂版
	情報処理	実教	情報処理 新訂版
	工業技術基礎	実教	工業技術基礎
音楽I	教出	高校音楽I改訂版 Music View	
2	現代社会	実教	最新現代社会 新訂版
	数学A	数研	改訂版 新 高校の数学A
	生物基礎	実教	高校生物基礎 新訂版
	コミュニケーション英語I	数研	Revised COMET English Communication I
	家庭基礎	教図	高等学校 家庭基礎 グローバル&サステイナビリティ
	原動機	実教	原動機
	機械工作	実教	新機械工作
	農業情報処理	実教	農業情報処理
	野菜	実教	野菜
	草花	実教	草花
作物	実教	作物	
食品製造	実教	食品製造	
ビジネス情報	実教	ビジネス情報 新訂版	
3	現代文A	大修館	現代文A 改訂版
	政治・経済	実教	最新政治・経済 新訂版
	化学基礎	東書	改訂 新編化学基礎
	機械製図	実教	製図
	国語表現	教出	国語表現 改訂版
	数学活用	実教	数学活用
	地学基礎	第一	高等学校 改訂 地学基礎
	英語会話	三省堂	SELECT English Conversation
農業機械	実教	農業機械	

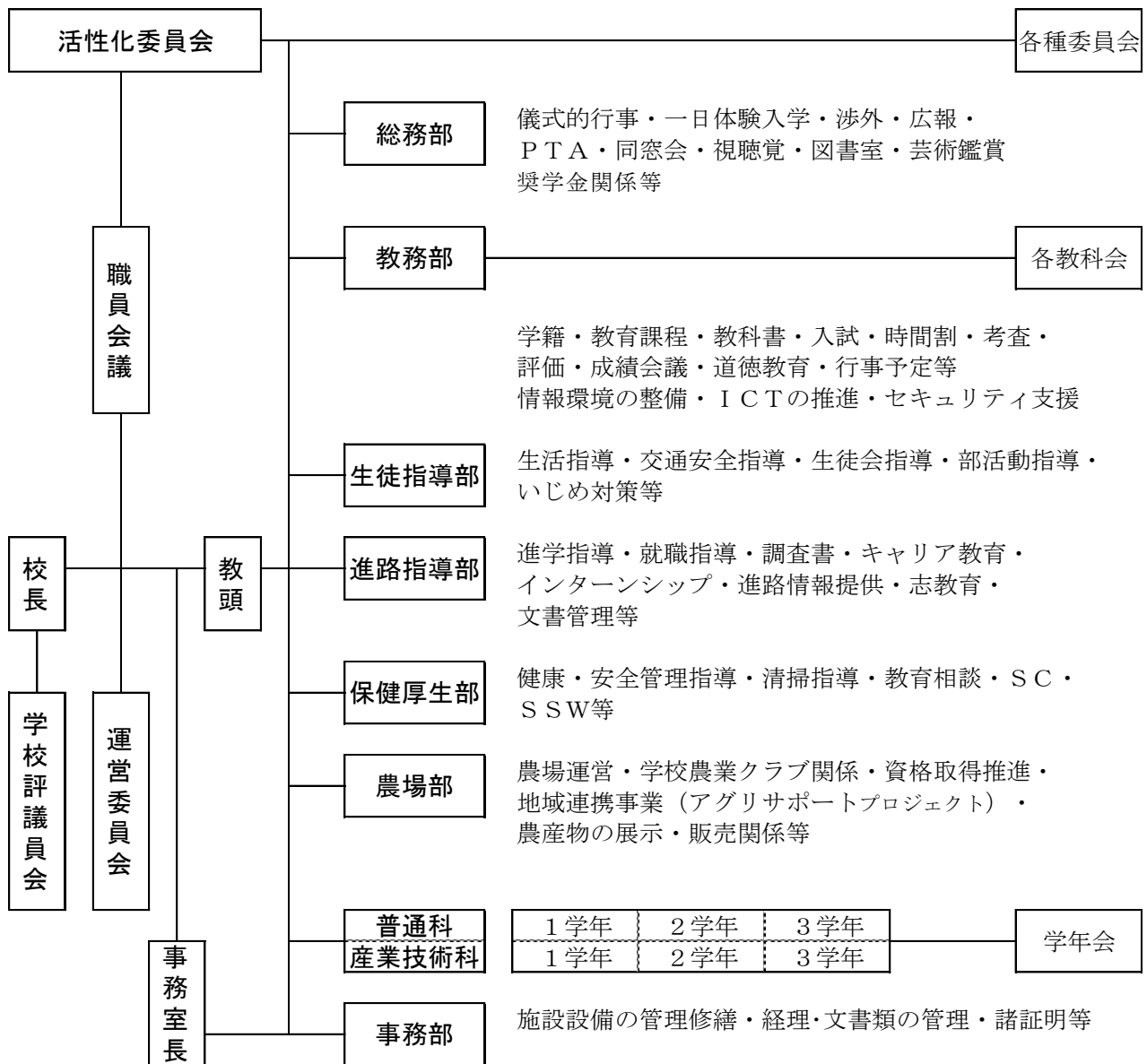
11 年間行事予定

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
1 木	学年始休業～7	土		火	衣替え, 服装頭髪検査	1 木	求人票公開, 服装頭髪検査, 農ク東北ハーフ大会(名取)	日	夏季休業 ～23	水	服装頭髪検査
2 金	着任式	日		水		2 金		月		木	交通講話⑥
3 土		月	憲法記念日	木	歯科講話(1年)⑥	3 土		火		金	
4 日		火	みどりの日	金	カウンセラー 高校生向けものづくり企業見学会(3年)	4 日		水		土	
5 月		水	こどもの日	土		5 月		木		日	
6 火		木	服装頭髪検査 適性検査(3年)⑤⑥	日		6 火		金		月	就職応募書類発送, 第1回PTA役員会
7 水		金	教科研究会総会(特編2h)	月	スクールソーシャルワーカー	7 水	みやぎ学力状況調査	土		火	カウンセラー
8 木	新任式, 始業式, 入学式, PTA入会式, PTA会計監査, 同窓会臨時役員会, 服装頭髪検査, 大掃除	土	支部総体～9	火		8 木	カウンセラー	日	山の日	水	
9 金	LHR等①②, 生徒入会式・対面式③, 部活動紹介④, 各種調査・LHR⑤⑥	日		水	カウンセラー	9 金		月	振替休日	木	バイク実技講習会⑤⑥
10 土	開校記念日	月	カウンセラー	木	考査日割発表, 進路ガイダンス(3年)⑤⑥	10 土		火		金	
11 日		火	歯科検診①～③	金		11 日	公立高校合同説明会	水		土	
12 月	進路希望調査①, 基礎力診断テスト②～④, 生徒個人写真・LHR⑤⑥	水	マナーアップ運動, 楽天観戦	土		12 月	カウンセラー	木	3年生登校日	日	
13 火	1年数英テスト・図書オリエンテーション, 尿検査	木	インターネット安全利用教室⑥ スクールソーシャルワーカー	日		13 火	マナーアップ運動	金		月	スクールソーシャルワーカー
14 水	第1回各種委員会, 尿検査	金		月		14 水		土		火	
15 木	結核検診(1年)①, 身体測定⑥⑦(5分短)	土		火		15 木		日		水	マナーアップ運動, PTA登校時一声運動
16 金	循環器検診(1年)⑤	日		水	マナーアップ運動	16 金	スポーツ大会	月		木	カウンセラー 就職試験開始
17 土		月		木	第1期考査, 転入学等考査	17 土		火		金	考査日割発表
18 日		火	カウンセラー	金		18 日		水		土	
19 月		水	内科検診⑤⑥	土		19 月		木		日	
20 火	カウンセラー 第3回PTA役員会	木		日	書面による同意会総会	20 火	保護者面談(午前授業①②③)～26 スクールソーシャルワーカー	金		月	敬老の日
21 水	マナーアップ運動	金	旭山探検学習	月		21 水		土		火	
22 木	科目選択説明会(1・2年)⑤, 生徒総会⑥, 農ク県連第1回代議員会	土		火		22 木	海の日	日		水	
23 金	部登録最終日	日		水	面談週間(5分短)～29	23 金	スポーツの日	月		木	秋分の日
24 土	特編2h, PTA総会	月	前期授業公開週間～28	木	防災訓練	24 土		火	全校集会, 大掃除, 服装頭髪検査	金	
25 日		火		金	カウンセラー スクールソーシャルワーカー	25 日		水	実力テスト①～⑤, マナーアップ運動	土	
26 月	カウンセラー	水	内科検診⑤⑥	土		26 月	進路ガイダンス(全学年)①②③, 農ク東北夏期研修会(～28)	木	芸術鑑賞会・PTA会員研修 就職直前セミナー(3年)⑤, レディネスタスト(1年)⑥, 農ク東北大会(宮城)～27	日	
27 火	眼科検診⑤, 地区総体壮行式⑦(5分短)	木	カウンセラー	日		27 火	大掃除, 全校集会	金		月	第2期考査, 転入学等考査
28 水	職員情報モラル研修	金	旭山探検学習予備日	月		28 水	夏季休業, 中学生一日体験入学	土		火	
29 木	昭和の日	土		火	カウンセラー	29 木		日		水	
30 金	振休(PTA総会)	日		水		30 金		月		木	
31 月		月		火		31 土		火	カウンセラー スクールソーシャルワーカー	日	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	後期始業式①、服装頭髪検査、衣替え、面談週間(5分短)～6	月 振休	水 服装頭髪検査、面談週間(5分短)～6	1 土 元日	火 3年第4期考査、1・2年特編3h①②③	火 卒業式
2		火 服装頭髪検査	木 カウンセラー	2 日	水	水 1・2年答案返却特編、入試業務
3	全国海づくり大会(石巻市)	水 文化の日	金	3 月	木	木 大掃除①、机・イス移動②
4	カウンセラー スクールソーシャルワーカー	木 カウンセラー 薬物乱用防止講話⑤、防災訓練⑥	土	4 火	金	金 第一次募集(学力検査)(入試に係る休業日)
5	インターンシップ ～7日	金 マラソン大会	日	5 水	土	土
6		土	月 スクールソーシャルワーカー	6 木	日	日
7		日	火 修学旅行、特編3h～10	7 金	月 3年答案返却特編3h、1・2年特編3h①②③、ワックスがけ(3年)	月 第一次募集(面接)、(入試に係る休業日)
8	大崎支部総文祭～9	月 後期学校公開週間～12	水	8 土	火 マナーアップ運動	火 (入試に係る休業日)
9		火	木	9 日	水	水 (入試に係る休業日)
10		水	金	10 月 成人の日	木 考査日割発表、第2回PTA役員会	木 [追試験]、(入試に係る休業日)
11		木 創立90周年記念式典	土	11 火 全校集会、実力テスト②～⑥、服装頭髪検査	金 建国記念の日	金 みやぎ鎮魂の日、(休業日)
12	カウンセラー	金 スクールソーシャルワーカー	日	12 水	土	土
13		土	月	13 木 カウンセラー	日	日
14	町内清掃⑥⑦	日	火	14 金 第3回各種委員会	月 スクールソーシャルワーカー	月 自宅学習日
15	第2回各種委員会、ワックスがけ⑦(5分短)	月	水 マナーアップ運動	15 土	火	火 (入試に係る休業日)
16		火 カウンセラー	木 カウンセラー	16 日	水	水 第一次募集合格発表(入試に係る休業日)
17		水 マナーアップ運動	金	17 月	木 3年成績発表・LHR①②	木 自宅学習日
18	カウンセラー	木 考査日割発表、生徒総会⑥、生徒会役員選挙⑦(5分短)	土	18 火 カウンセラー	金 第4期考査	金 自宅学習日
19		金	日	19 水 マナーアップ運動	土	土
20	マナーアップ運動	土	月	20 木 農ク総会⑤、学習発表会⑥	日	日
21		日	火	21 金	月	月 春分の日
22		月	水	22 土	火	火 (自宅学習日)
23		火 勤労感謝の日	木 授業①②、全校集会、大掃除、生徒会役員認証式	23 日	水 天皇誕生日	水 [第二次募集]、(自宅学習日)
24		水	金 冬季休業～1/7	24 月 スクールソーシャルワーカー	木	木 [第二次募集合格発表]、(自宅学習日)
25		木 第3期考査、転入学等考査	土	25 火 考査日割発表	金 服装頭髪検査、1・2年答案返却特編	金 修業式、大掃除、成績発表、転入学等考査
26	カウンセラー	金	日	26 水	土	土
27	農ク全国大会(兵庫)～28日	土	月	27 木 進路ガイダンス(1・2年)⑤⑥	日	日
28	南郷高祭準備⑤⑥	日	火	28 金	月 賞状授与、予録式、卒業式予行、同窓会入会式	月 新入生予備登校
29	南郷高祭(校内発表)	月	水	29 土		火
30	南郷高祭(一般公開)	火	木	30 日		水 離任式
31			金	31 月 服装頭髪検査 スクールソーシャルワーカー		木

12 教職員

(1) 教職員組織図



(2) 教職員数

校長	教頭	教諭	養護教諭	実習講師	実習助手	事務職員	学校司書	事務職員	庁務	農場業務	講師	臨時職員	カウンセラー	スクールワーカー	スクールソーシャルワーカー	支援員	学校適応	事務補助	就学支援金	就職支援	担当職員	AL T	校医	教務補助員	薬剤師	計
1	1	18	1	1	2	3	1	1	1	1	7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1	1	50

(3) 教職員一覧

* G…普通科

T…産業技術科

No.	職	名	氏 名	教 科	学 級	部 活 動	校 務 分 掌
1	校 長		匹 田 哲 弥	農 業			
2	教 頭		伊 藤 由 啓	地 歴 公 民			P T A事務局長 同窓会事務局長
3	教 諭		三 浦 秀 雄	数 学	1 G 副 担 任	総 合 文 化	保健厚生部長
4	教 諭		磯 部 洋	英 語	3 T 副 担 任	ソ フ ト テ ニ ス	進路指導部長
5	教 諭		小 室 恒	農 業	2 学 年 所 属	軽 音 楽	総務部長・産業技術科長
6	教 諭		佐 藤 隆 晃	工 業	1 学 年 主 任	園 芸 科 学	進路指導部・農場部
7	教 諭		菊 地 裕 美	家 庭	3 T 担 任	生 活 科 学	総務部
8	教 諭		宮 本 智	理 科	1 学 年 所 属	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	生徒指導部長
9	教 諭		鈴 木 将 夫	理 科	3 G 担 任	銃 剣 道	教務部
10	教 諭		鈴 木 愛	国 語	1 G 担 任	軽 音 楽	総務部
11	教 諭		佐 々 木 泉	農 業	2 T 担 任	卓 球	農場部・教務部
12	教 諭		熱 海 健 二	地 歴	3 学 年 所 属	卓 球	教務部長・普通科長
13	教 諭		佐 藤 栄 聡	農 業	3 学 年 主 任	総 合 文 化	生徒指導部・農場部
14	教 諭		昆 野 慶 太	農 業	1 T 副 担 任	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	教務部・農場部長
15	教 諭		摺 澤 大 輔	情 報 ・ 数 学	2 G 担 任	ソ フ ト テ ニ ス	教務部
16	教 諭		菅 原 暁 子	保 健 体 育	3 G 副 担 任	陸 上 競 技	生徒指導部
17	教 諭		平 山 え り か	国 語	2 G 副 担 任	陸 上 競 技	進路指導部
18	教 諭		依 田 千 花	英 語	2 T 副 担 任	生 活 科 学	教務部
19	教 諭		大 久 保 憧	保 健 体 育	1 T 担 任	銃 剣 道	生徒指導部
20	教 諭		石 川 隆 男	商 業	2 学 年 主 任	総 合 文 化	総務部
21	養 護 教 諭		内 海 と き 恵		2 学 年 所 属	総 合 文 化	保健厚生部
22	実 習 講 師		早 坂 史 郎	農 業	2 学 年 所 属	軽 音 楽	農場部・生徒指導部
23	実 習 講 師		松 野 和 史	農 業	3 学 年 所 属	園 芸 科 学	農場部・総務部
24	実 習 助 手		市 川 夏 美	理 科	1 学 年 所 属	総 合 文 化	教務部
25	副 参 事 兼 事 務 室 長		堀 内 正 巳				事務部
26	主 幹 (事 務 次 長)		山 谷 芝 枝				事務部

No.	職 名	氏 名	教 科	学 級	部 活 動	校 務 分 掌
27	主 査 (図 書)	三 條 静				事務部・総務部
28	主 事	伊 藤 利 紗				事務部
29	技 師 (庁 務)	斎 藤 邦 春				事務部
30	主 任 技 師 (農 場 業 務)	大 友 正 人				事務部・農場部
31	代 替 技 師 (庁 務)	松 川 忠 秀				事務部
32	講 師 (就 職 支 援 員)	後 藤 武 徳				
33	講 師 (非 常 勤)	阿 部 勝 英	地 歴 公 民			
34	講 師 (非 常 勤)	狩 野 幸 一 朗	数 学			
35	講 師 (非 常 勤)	大 野 琢 哉	音 楽			
36	講 師 (非 常 勤)	千 葉 和 子	英 語			
37	講 師 (非 常 勤)	佐 々 木 美 喜 男	地 歴 公 民 工 業			
38	講 師 (非 常 勤)	阿 部 宏 明	国 語			
39	講 師 (非 常 勤)	藤 原 李 菜	英 語			
40	学 校 生 活 適 応 支 援 員	石 川 可 奈 子				
41	就 学 支 援 金 助 事 務 補 助	品 川 義 一				
42	ス ク ー ル カ ウ ン セ ラ ー	大 橋 る い 子				
43	ス ク ー ル ソ ー シ ャ ル ワ ー カ ー	篠 原 千 佳				
44	A L T	Matthew Tieman				
45	校 医	鎌 田 啓				
46	校 医	一 迫 浄				
47	校 医	野 田 清 一				
48	校 医	佐 藤 宏 樹				
49	薬 剤 師	山 形 と し 子				
50	バ ー ト 職 員 (植 物 管 理)	千 代 窪 実				
51	バ ー ト 職 員 (植 物 管 理)	佐 々 木 典 子				
52	教 務 補 助 員	中 條 加 代 子				

(令和3年5月20日現在)

13 時程表

通常授業

S H R	8:35 ~ 8:45
1 校時	8:50 ~ 9:40
2 校時	9:50 ~ 10:40
3 校時	10:50 ~ 11:40
4 校時	11:50 ~ 12:40
昼休み	12:40 ~ 13:25
5 校時	13:25 ~ 14:15
6 校時	14:25 ~ 15:15
清掃	15:15 ~ 15:30
S H R	15:30 ~ 15:35

5分短縮授業

S H R	8:35 ~ 8:45
1 校時	8:50 ~ 9:35
2 校時	9:45 ~ 10:30
3 校時	10:40 ~ 11:25
4 校時	11:35 ~ 12:20
昼休み	12:20 ~ 13:05
5 校時	13:05 ~ 13:50
6 校時	14:00 ~ 14:45
清掃	14:45 ~ 15:00
S H R	15:00 ~ 15:05

定期考査

S H R	8:35 ~ 8:45
1 校時	9:00 ~ 9:50
2 校時	10:05 ~ 10:55
3 校時	11:10 ~ 12:00
清掃・S H R	12:00 ~

14 生徒に関する調査

(1) 在籍生徒数

学年	男女		男	女	合計
	学科				
1 学年	普通科		3	4	7
	産業技術科		10	1	11
2 学年	普通科		5	3	8
	産業技術科		14	4	18
3 学年	普通科		7	2	9
	産業技術科		20	2	22
合計			59	16	75

(2) 保護者の職業

学年	男女		自営				会社員	公務員	団体職員	その他	合計
	学科		農業	工業	商業	その他					
1 学年	普通科		1	0	0	2	4	0	0	0	7
	産業技術科		0	2	0	1	6	0	0	2	11
2 学年	普通科		0	1	0	0	5	0	1	1	8
	産業技術科		1	0	0	1	16	0	0	0	18
3 学年	普通科		1	1	0	1	6	0	0	0	9
	産業技術科		1	2	1	1	13	0	0	4	22
合計			4	6	1	6	50	0	1	7	75

(3) 通学方法

学年	男女		徒歩	自転車	オートバイ	バス			JR					自家用車送迎	その他	合計	
	学科					方面	涌谷	方面	鹿島台	方面	小牛田	東北本線(上)	東北本線(下)				石巻線
1 学年	普通科		1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	7
	産業技術科		0	6	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	2	0	11
2 学年	普通科		2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	8
	産業技術科		0	8	2	0	1	2	0	3	0	0	0	0	2	0	18
3 学年	普通科		1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6	0	9
	産業技術科		0	8	0	0	0	1	0	8	0	0	0	0	5	0	22
合計			4	27	2	0	1	4	1	14	0	0	0	0	22	0	75

(4) 出身中学校

学年学科 中学校		1学年		2学年		3学年		合計
		普通科	産業技術科	普通科	産業技術科	普通科	産業技術科	
仙台市	岩切	0	1	0	0	0	1	2
	田子	0	0	0	1	0	0	1
多賀城市	高崎	0	1	0	3	0	1	5
利府町	利府	0	0	0	0	0	1	1
松島町	松島	0	0	1	0	1	5	7
七ヶ浜町	向洋	0	0	0	0	0	1	1
大郷町	大郷	0	0	0	0	0	1	1
大衡村	大衡	0	0	0	1	0	0	1
大崎市	田尻	1	0	0	1	0	0	2
	鹿島台	0	0	2	2	2	5	11
	松山	0	2	0	0	0	1	3
	三本木	0	1	0	0	0	0	1
涌谷町	涌谷	0	1	1	4	0	0	6
美里町	南郷	4	3	3	0	0	1	11
	不動堂	0	1	0	3	0	1	5
	小牛田	0	0	0	2	0	0	2
登米市	南方	1	0	0	0	0	0	1
石巻市	河北	0	0	0	0	0	1	1
	河南西	0	1	0	1	2	0	4
	河南東	0	0	0	0	1	0	1
東松島市	矢本第一	0	0	0	0	0	3	3
	鳴瀬未来	1	0	1	0	2	0	4
岩沼市	岩沼	0	0	0	0	1	0	1
合計		7	11	8	18	9	22	75

15 卒業生に関する調査

(1) 卒業生数 11075 名

南郷村高等国民学校

年月日	人数
昭和6.4.10 ～15.3.1	142

宮城県南郷農学校

年月日	人数
昭和15.3.2 ～23.3.1	282

同併設中学校

年月日	人数
昭和15.3.2 ～23.3.1	92

宮城県南郷農業高等学校

年度	人数
昭和23年度	33
昭和24年度	43
昭和25年度	76
昭和26年度	106
昭和27年度	146
昭和28年度	189
昭和29年度	164
昭和30年度	167
昭和31年度	154
昭和32年度	148
昭和33年度	157
昭和34年度	167

宮城県南郷高等学校

昭和35年度	168
昭和36年度	151
昭和37年度	216
昭和38年度	146
昭和39年度	206
昭和40年度	300
昭和41年度	328
昭和42年度	333
昭和43年度	443
昭和44年度	209
昭和45年度	272
昭和46年度	251
昭和47年度	228
昭和48年度	250
昭和49年度	241
昭和50年度	237
昭和51年度	242
昭和52年度	237
昭和53年度	235
昭和54年度	222
昭和55年度	205
昭和56年度	156
昭和57年度	144
昭和58年度	141
昭和59年度	114
昭和60年度	113
小計	7338

年度	人数
昭和61年度	136
昭和62年度	120
昭和63年度	128
平成元年度	148
平成2年度	142
平成3年度	148
平成4年度	151
平成5年度	149
平成6年度	151
平成7年度	128
平成8年度	134
平成9年度	128
平成10年度	113
平成11年度	101
平成12年度	106
平成13年度	97
平成14年度	95
平成15年度	88
平成16年度	88
平成17年度	84
平成18年度	57
平成19年度	57
平成20年度	35
平成21年度	48
平成22年度	62
平成23年度	67
平成24年度	48
平成25年度	56
平成26年度	55
平成27年度	52
平成28年度	44
平成29年度	69
平成30年度	53
令和元年度	46
令和2年度	37
小計	3221

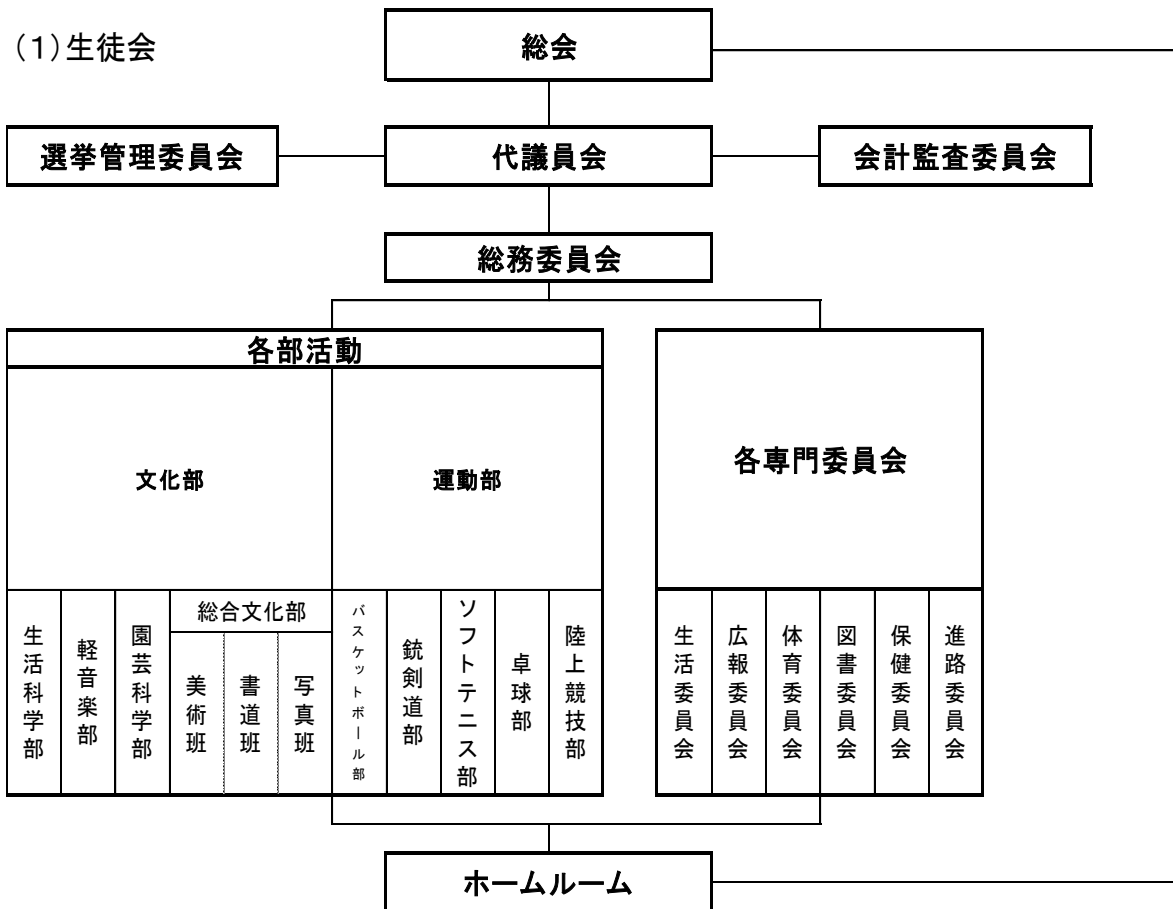
(2) 卒業生進路状況

○主な進路先 () 内は人数 (1)は省略□

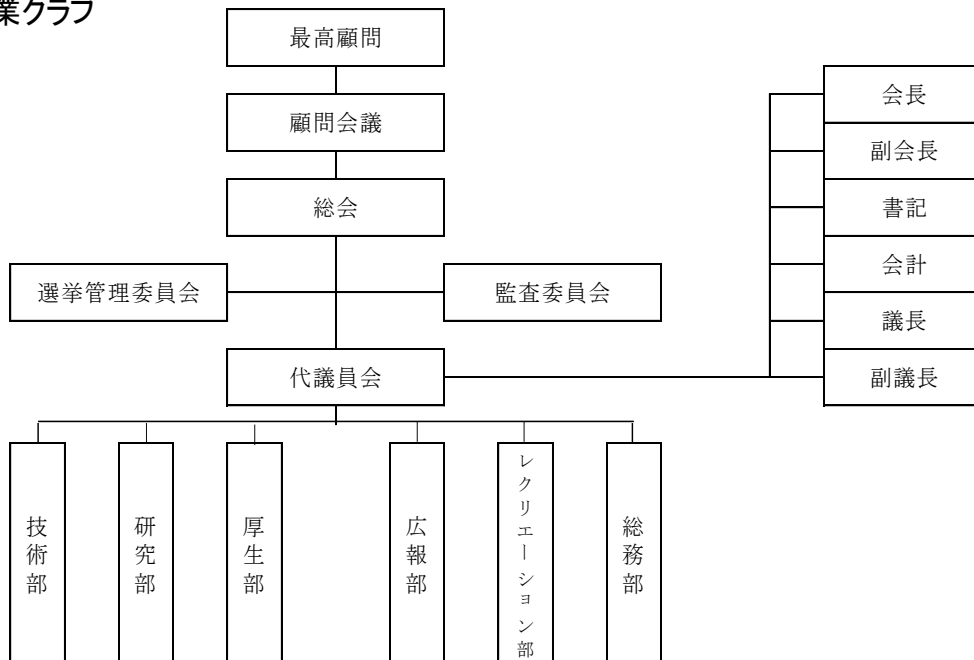
年度	進路先	進学	就職
令和2年度		東北工業大学, 仙台ごども専門学校(2), 東北外語観光専門学校, 仙台スクールオブミュージック&ダンス専門学校, 花壇自動車大学校	(有) 氏家農場, (株) ウェルファムフーズ 宮城事務所(2), 加美よつば農業協同組合, 社会福祉法人 基弘会 リズムタウン仙台, 協心建設, 仙台農建(株), ケミコン東日本(株) 宮城工場, (株) 光西建設, 社会福祉法人 向陽会 特別養護老人ホーム 万葉苑わくや, (株) 佐田 宮城工場, シダ電工(株), (株) 鈴勇商店, セントケア宮城(株), 東北オートメカニック(株), 東北自動車輸送(株), (株) 東北ライト製作所, (株) フコク(2), 東北紙工(株), いしのまき農業協同組合, 東洋エンジニア, (株) 協和産業, 陸上自衛官(自衛官候補生)(3), 陸上自衛官(一般曹候補生), 海上自衛官(一般曹候補生)
令和元年度		大崎市医師会附属准看護学校, 花壇自動車大学校, 仙台ウェディング&ブライダル専門学校(2), 仙台ECO動物海洋専門学校, 仙台歯科技工士専門学校, ホンダテクニカルカレッジ関東(2), 宮城県立石巻高等技術専門校(2), 宮城誠真短期大学, 宮城県農業大学校, 宮城調理製菓専門学校	(株) あいのや, (株) アトム東北営業本部, (株) ウェルファムフーズ 宮城事業所, (株) ウジエスーパー, (株) エステー, (株) エヌエス機器, (株) おてんとさん, (株) カツヨシ商事, (株) ケーエス, (株) サカイ引越センター 北日本本部, ザ・ビック鹿島台店, 東北自動車輸送(株), 東和工業(株), 日東コーン(株) 仙台工場, (株) フレッシュ・ロジスティック, (株) ホテル新富, 丸澤機工(株) 宮城工場, マルヒ食品(株)(2), 社会福祉法人 みさとの杜翔裕園, (株) 利府衛生, 陸上自衛官(一般曹候補生), 陸上自衛官(自衛官候補生)
平成30年度		石巻専修大学, 宮城誠真短期大学, 宮城県立石巻高等技術専門校(2), 宮城県立大崎高等技術専門校, 宮城県立農業大学校, 仙台医療福祉専門学校	伊藤ハムデイリー(株)(2), (株) 井上, (株) ウェルファムフーズ, NOKメタル(株)(2), (株) エヌエス機器, (医) 華桜会(4), (株) 大崎市三本木振興公社, (株) おてんとさん, (株) 協友エレクトロニクス, (医) 杏林会リハビリパークあやめ, (株) グリーンテック, (株) くりこまくんえん, シマダヤ東北(株), (株) 栄電業, 佐川急便(株), 自衛隊, (株) 塩竈水産食品(2), 白石食品工業(株), (株) 大地フーズ, (有) 高木商店, (株) 高德海産, 東軌工業(株), (株) 東北イノアック, (株) 東北ライト製作所, 東北電子工業(株), 東北レヂボン(株), トランスコスモス(株), 日本製紙石巻テクノ(株), 古川興業(株)(2), ほくと食品(株), (有) ホクト, (株) ホットマン, 丸澤機工(株), (株) よつばファーム, (社) 和仁福祉会

16 生徒会・農業クラブ機構図

(1) 生徒会



(2) 農業クラブ



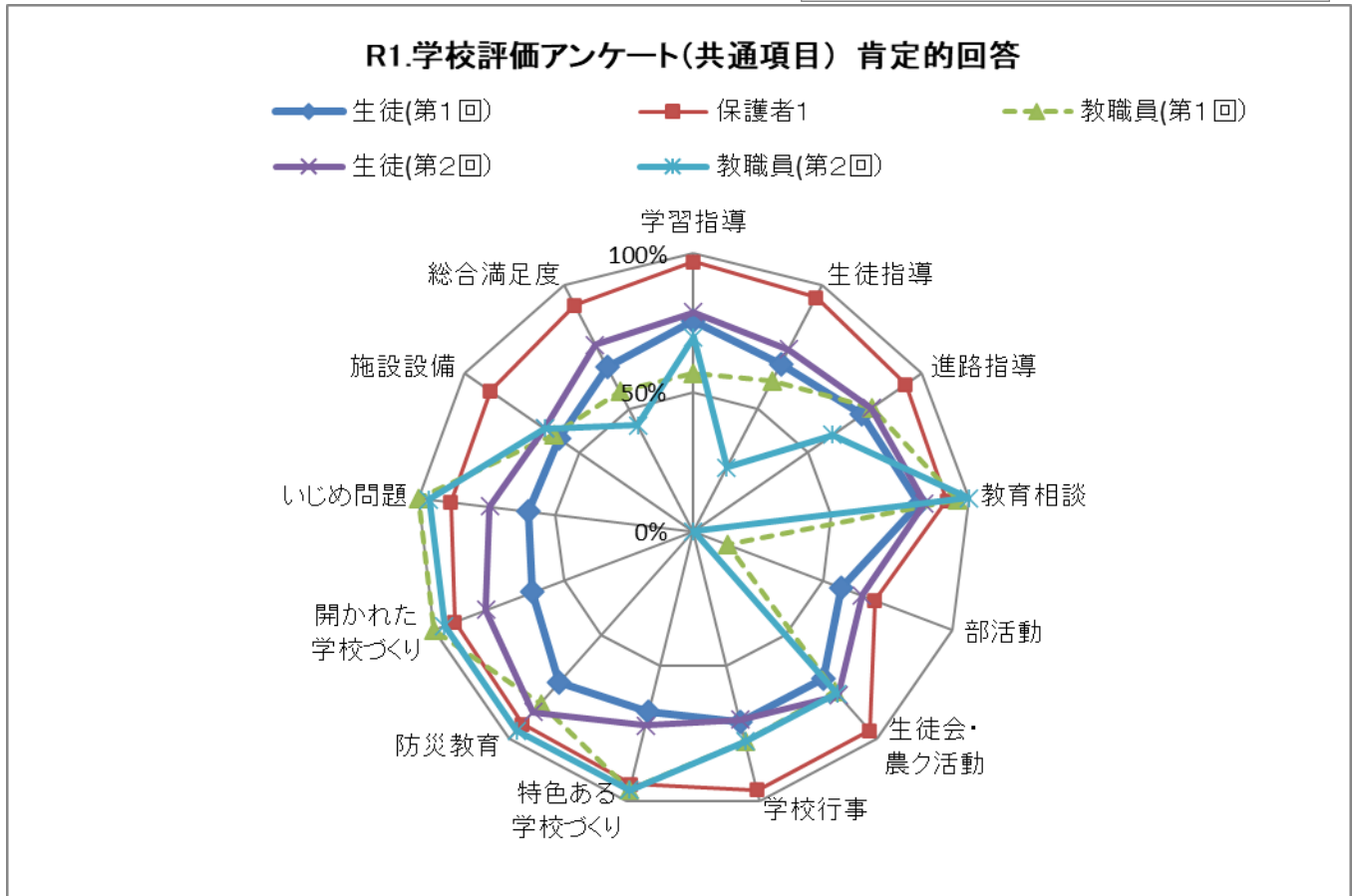
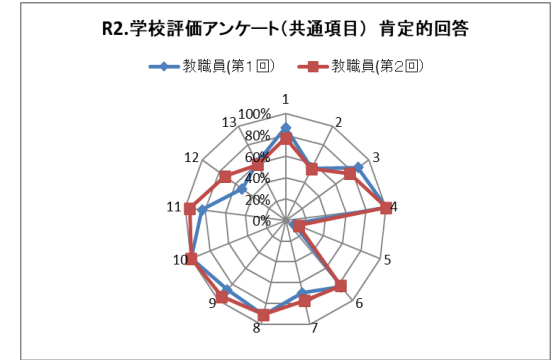
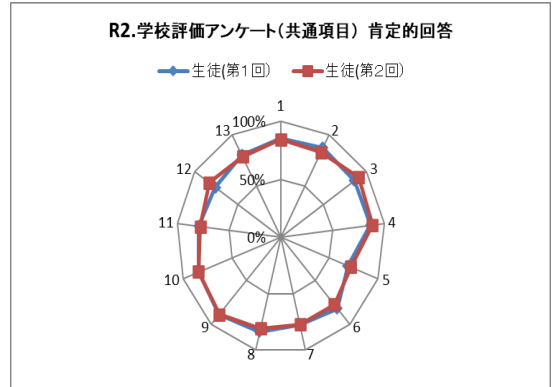
17 学校評価アンケート

令和2年度 学校評価アンケート(共通項目)肯定的回答

上段 第1回
下段 第2回

	生徒		保護者	教職員	
	第1回	第2回	第1回	第1回	第2回
回答数	94	89	195	23	22

no.	区分	項目	生徒	保護者	教職員
1	学習指導	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	85%	98%	87%
			84%	77%	
2	生徒指導	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	87%	95%	55%
			83%	55%	
3	進路指導	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	86%	97%	87%
			91%	77%	
4	教育相談	教員やカウンセラーが必要なときに相談に応じてくれる体制ができています。	87%	97%	100%
			89%	100%	
5	部活動	部活動は活発に行われている。	69%	66%	9%
			72%	14%	
6	生徒会・農ク活動	生徒会・農業クラブ活動は活発に行われている。	82%	93%	83%
			78%	82%	
7	学校行事	有意義な学校行事がある。	78%	92%	70%
			78%	77%	
8	特色ある学校づくり	地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	84%	97%	91%
			81%	91%	
9	防災教育	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	89%	94%	87%
			89%	95%	
10	開かれた学校づくり	学校通信やHPなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。	84%	98%	100%
			84%	100%	
11	いじめ問題	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	79%	93%	83%
			78%	95%	
12	施設設備	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	76%	89%	52%
			83%	73%	
13	総合満足度	学校生活は充実している。	80%	97%	61%
			79%	59%	



18 学校施設概要

(1) 土地

種別	面積 (㎡)
学校敷地	90,059.60
水田	16,121.00
畑地	5,565.03
計	111,745.63

(2) 建物

一般校舎等	
種別	面積 (㎡)
北校舎	2,755.80
南校舎	3,074.90
昇降口棟	276.00
新体育館	1,698.24
柔剣道場	306.00
生徒合宿室	158.98
ボイラー室	80.00
倉庫	82.81
他雑屋建	68.92
部室	126.63
計	8,628.28

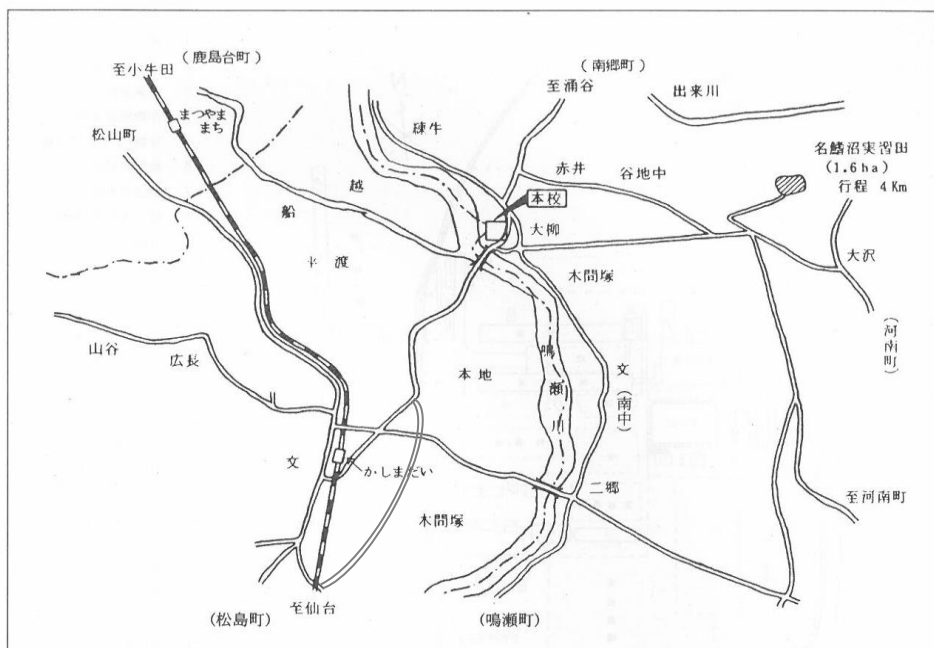
実習関係建物等	
種別	面積 (㎡)
農業実習室 (バイオ室)	360.90
農機具整備実験室	162.00
農業実習室	347.10
大農具, わら小屋	142.91
肥料室	99.01
温室	330.59
工業実習室	308.00
生徒宿泊室	142.43
食品化学実験室	723.27
農産加工実習室	280.00
その他	276.66
計	3,172.87

(3) 主な工作物

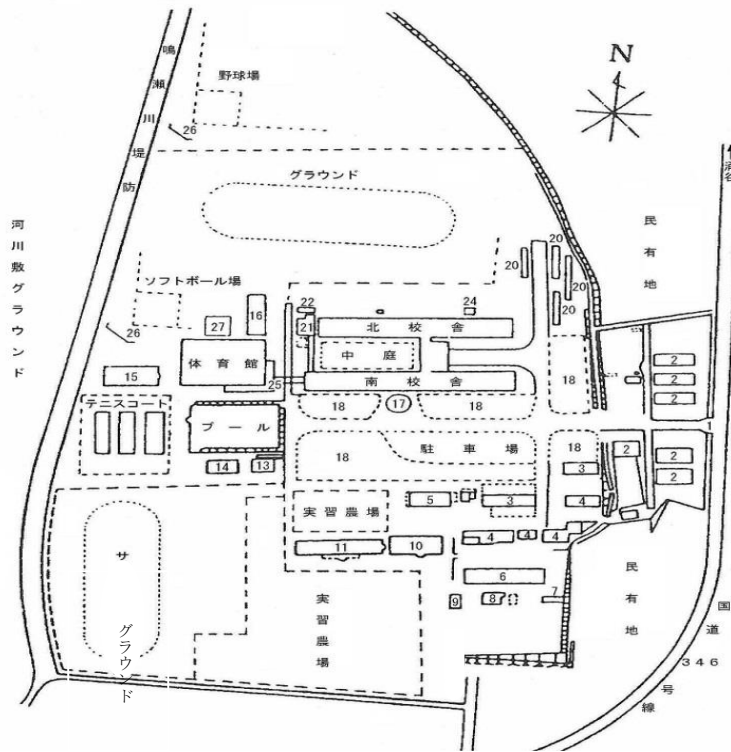
プール, 自転車置場, 通用門, キュービクル, 渡り廊下, バックネット

19 本校及び遠隔地実習圃場位置図

主な交通機関： 東北本線鹿島台駅よりバス（住民バス）で15分
 東北本線小牛田駅よりバス（住民バス）で20分

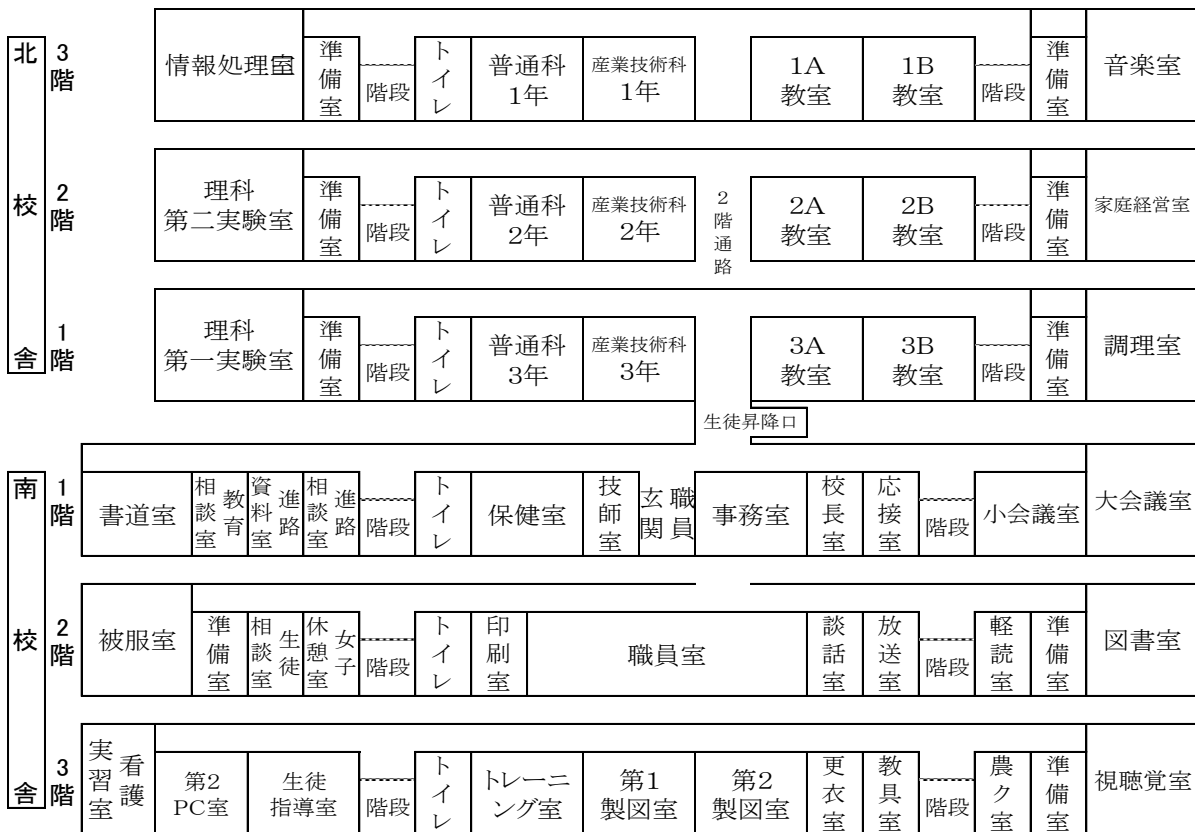


20 学校全図



1. 校 門
2. 温 室
3. 工業実習室
4. 作物園芸実習室
5. 農業実習室 (バイオ室)
6. 農業実習室
7. 搬送車車庫
8. 生徒宿泊室 (農場管理室)
10. 農産加工実習室
11. 食品化学実験室
13. 合宿舎
14. 倉庫
15. 柔剣道場
16. 部室
17. ロータリー
18. 前庭
20. 自転車
オートバイ 置場
21. ボイラー室
22. オイルタンク
24. キューピクル
25. 渡り廊下
26. バックネット
27. 屋外用トイレ

21 校舎平面図



富城縣鹿島台前築高學校校舎新築地質調査

報 告 書

昭和 55 年 11 月

19

川崎地質 鹿島台支店





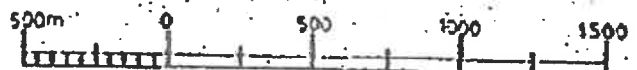
No.

調査地案内図

S=1:25000



● 調査位置



1. 調査概要

本調査は、宮城県志田郡鹿島台広長字鳥屋場地区において、宮城県鹿島台商業高等学校校舎新築工事に先立ち、あらかじめ地質調査を実施し合理的な設計施工を営むための資料を得ることを目的としておこなったものである。

調査は、調査位置図に示す9ヶ所においてテストボーリングを実施し地盤構成を把握するとともに、同孔を利用してJIS・A・1219に基づく標準貫入試験をおこない相対的な密度を把握した。

本報告書は、これらの調査結果を取りまとめるとともに、基礎に対する考察を付すものである。

記

(1) 調査件名

宮城県鹿島台商業高等学校校舎新築地質調査

(2) 調査場所

宮城県志田郡鹿島台広長字鳥屋場地区内

(3) 調査期間

自 昭和55年11月 2日

至 昭和55年11月30日

(4) 調査内容(表1 調査数量表参照)

機械ボーリング 9ヶ所 延70m

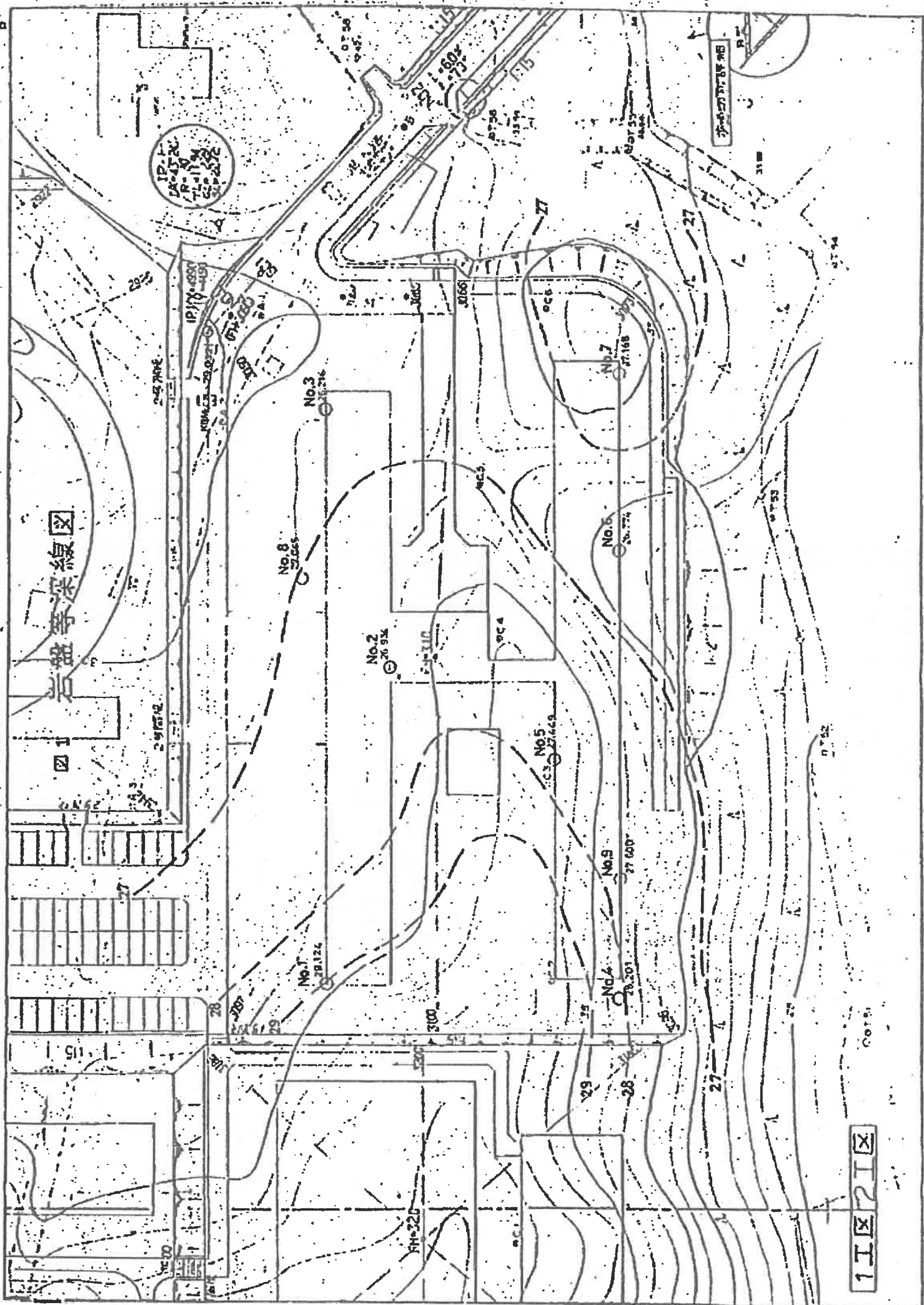
標準貫入試験 延66回

(5) 発注先

宮城県土木部営繕課

表1 調査数量一覧表

孔番	地盤高 (m)	孔内水位 (GL-m)	掘進長 (m)				標準貫入 試 (回)
			砂質土	砂礫	砂岩	合計	
№1	31124	2.05	2.00	0.00	4.00	6.00	6
№2	31234	2.80	3.60	0.70	3.70	8.00	8
№3	31016	2.95	4.80	0.00	6.20	10.00	10
№4	31101	4.60	0.90	2.00	8.10	11.00	10
№5	31149	2.65	2.90	0.80	4.30	8.00	7
№6	30974	3.00	4.20	0.00	3.80	8.00	7
№7	30868	0.95	3.00	0.70	3.30	7.00	6
№8	31065	2.30	3.60	0.40	0.00	4.00	4
№9	31000	2.80	1.90	1.50	4.60	8.00	8
合計	—	—	26.90	6.10	37.00	70.00	66

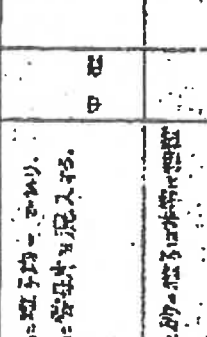


地質柱状図

(注) 1. 凡さない試料 (記号の右の数字は試料番号)
 T-1 シンクオールサンプラーによる採取
 D-2 デニソンサンプラーによる採取
 S-3 スターサンプラーによる採取
 2. 試料採取深度と同様比
 $\frac{4.00}{45/50}$ $\frac{4.50}{45/50}$ は同取比

調査件名 宮城県仙台市立高等学校新築地口調査
 調査場所 宮城県仙台市立高等学校新築地口
 調査年月日 昭和 55 年 11 月 8 日 ~ 11 月 8 日 調査員 田代 浩
 孔番 No. 1 標高 31.124 m (基準面)
 自然孔内水位 GL-2.05 m (11月 9日測定)

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図記号	地質名	色調	観察	相對密度	相對稱度	標本資料 No.	試料		標準貫入試験					
											採取記号	採取深度 m	深度 m	N 値 回	10cm 打撃回数	N 値 回	30cm	50
0	31.124																	
1							全体に砂子均一にあり、 所々に管母片が混入する。	中		1								
2	29.24	2.02	2.00		細砂	黄緑	全体に砂子均一にあり、 所々に管母片が混入する。			2								
3										3								
4							4.00m 付近より粗粒状砂子と 採取した砂子と異なる色調が ある。			4								
5	25.70	3.60	3.60			黄緑	5.00m 付近より粗粒状砂子と 異なる色調が変化する。			5								
6	20.88	4.82	4.82		砂	黄緑				6								
7																		
8																		
9																		
10																		



地質柱状図

(注) 1. 凡そない試料 (記号の右の数字は試料番号)
 T-1 シンクウォールサンブラーによる採取
 D-2 デニソンサンブラーによる採取
 S-3 スチールサンブラーによる採取
 2. 試料採取深度と回収比
 4.00
 45/50
 4.50

調査件名 宮城県仙台市商業高等学校校舎新築地地質調査
 調査場所 宮城県仙台市青葉区本町五丁目五番五号
 調査年月日 昭和 55年 11月 9日 ~ 11月 9日
 調査員 鳥居 浩
 孔番 No. 2 標高 31.234 m
 (基準面) 自然孔内水位 G-7.80 m (11月 10日測定)

標尺 m	標高 m	深度 m	所厚 m	柱状図記号	地質名	色調	観	相對密度	相對稠度	標本資料 No.	試料		標準貫入試験		
											採取記号	採取深度 m	深度 m	N 値	10cm 毎の打撃回数
0	31.234	0.00					宗								
1															
2							宗								
3		27.10	3.10	1	細砂	黄緑	全体に粘土質 - 砂り混入 骨片を混入す。	19		1		7.00			
4		24.90	2.20	2	中砂	黄緑	2.50 ~ 2.90 の間 砂と混入	6		2		7.00			
5							中砂 - 中細砂 (粘質砂) 骨片を混入す。			3		7.00			
6							全体に砂り - 粘質砂 骨片を混入す。			4		7.00			
7							全体に砂り - 粘質砂 骨片を混入す。			5		7.00			
8		21.70	2.70	3	中砂	黄緑	8.00 ~ 8.50 の間 砂と混入			6		7.00			
9															
10															

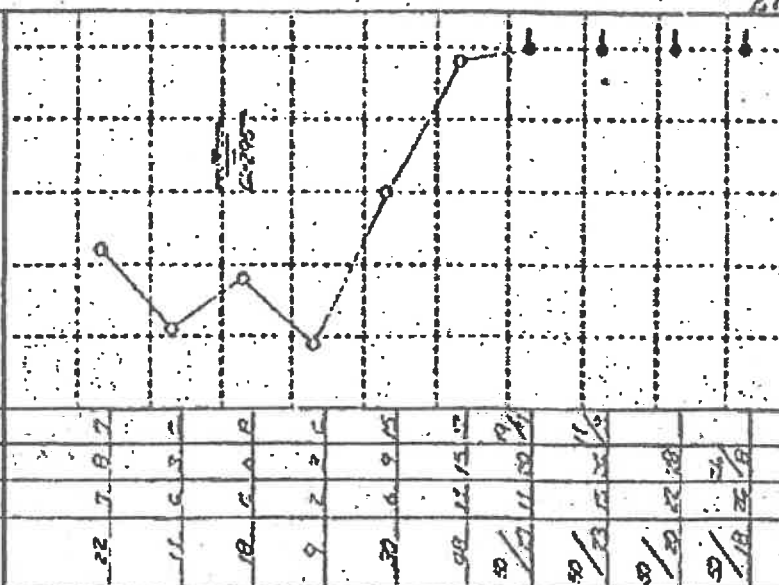
地質柱状図

調査件名 宮城県虎島台南式新築住宅敷地新築地質調査
 調査場所 宮城県玉田郡鹿野町塩釜五丁目五番地内
 調査年月日 昭和55年11月10日～11月10日 調査員 馬場 洋

孔番 No. 3 標高 31.016 m
 (基準面 自然孔内水位 29.295 m (11月11日測定))

(注) 1. 乱さない試料 (記号の右の数字は試料番号)
 T-1 シンクオールサンプターによる採取
 D-2 デニソンサンプターによる採取
 S-3 スチールサンプターによる採取
 2. 試料採取深度と回収比
 4.00
 45/50
 4.50

標尺 m	層厚 m	柱状図記号	地質名	色調	観 察	相 对 密 度	相 对 稠 度	標本資料 No.	試 料		標 準 貫 入 試 験	
									採取記号	採取深度 m	N 値 / 10cm	10cm毎の打撃回
0	0.00											
1					概況の地質土の調査で判明 の砂質土質で貫入が容易 な土質を採取した。			1				
2	0.60	S.F	砂	黄 緑								
3					全体的に砂質土質で判明 な土質を採取した。 所々に泥質土質が混入する。	中 粒		2				
4								3				
5	0.80		砂	黄 緑				4				
6					全体的に砂質土質で判明 な土質を採取した。 6.00m付近に砂質土質と 泥質土質の境界がある。			5				
7					7.00m付近に砂質土質と 泥質土質の境界がある。							
8												
9	0.90			黄 緑								
10	0.10		砂	黄 緑				6				



地質柱状図

調査件名 宮城県立自然史博物館地質調査資料

孔番 No. 4 標高 +21.101 m

調査場所 宮城県立自然史博物館地質調査資料

自然孔内水位 (基準面) Q=4.60 m (11月 14 日測定)

調査年月日 昭和 55 年 11 月 13 日 - 11 月 13 日

調査員 R.N. 5

(注) 1. 試料の試料 (記号の右の数字は試料番号)
 T-1 シェール・スラットによる採取
 S-1 フェルシアン層による採取
 S-2 フェルシアン層による採取
 S-3 フェルシアン層による採取
 2. 試料採取法を同紙に
 45/50:100%比

標尺 m	標高 m	深 度 m	層 厚 m	柱状図記号	地質名	色 調	観 察	相対密度	相対稠度	標準資料 No.	試 料		標準貫入試験																												
											採取記号	採取層厚 m	深 度 m	N 値	10m 貫入 打撃回			N 値 回/30cm																							
0	21.101	0.00																																							
1	20.20	0.90	0.90	SF	土	灰	砂質粘土 (砂粒 0.075mm 以下 10% 未満)			1			2.11	21	4	2	6																								
2													2.13	25	6	2	4																								
3	18.20	2.00	2.00	SF	砂	灰	粘質砂 (粘粒 0.075mm 以下 10% 未満)			2			3.13	25	6	0	11																								
4													3.15	27	7	0	11																								
5													4.11	26	1	5	7																								
6													5.11	27	0	13	3																								
7													7.11	25	0	15	2																								
8													8.11	20	2	13	2																								
9													9.11	20	1	13	2																								
10													10.11	20	1	13	2																								
11	11.31	11.31	0.00		SF	砂	粘質砂 (粘粒 0.075mm 以下 10% 未満)			3			11.11	20	1	13	2																								
12													11.31	20	1	13	2																								
13																																									
14																																									
15																																									
16																																									
17																																									
18																																									
19																																									
20																																									

地質柱状図

調査件名 宮城県産地質調査所管内各等学校地質調査 孔番 No. 5 標高 31.19 m
 調査場所 宮城県産地質調査所管内各等学校地質調査 (基準面) 自然孔内水位
 調査年月日 昭和55年11月12日 調査員 志野 浩
 調査年月日 昭和55年11月13日 測定

(注) 1. 凡さない試料 (記号の右の数字は試料番号)
 T-1 シンワールサンブラーによる採取
 D-2 デニソンサンブラーによる採取
 S-3 スチールサンブラーによる採取
 2. 試料採取深さと同収比
 $\frac{4.00}{45/50}$ $\frac{4.50}{45/50}$ 同収比

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図記号	地質名	色調	観察	相対密度	相対稠度	標本資料 No.	試料		標準貫入試験							
											採取記号	採取深度 m	深度 m	N 値	10cm毎の打撃回数	N 値	値	回/30cm		
0	31.19	0.00																		
1		0.90	0.90		砂		全体に砂質土質あり 所々に管見片を混入する。	0.8	中	1										
2		1.80	0.90		砂				世	2										
3		2.70	0.90		砂		0.10-2.0mm 粒径の砂質土質あり 所々に管見片を混入する。			3										
4		3.60	0.90		砂					4										
5		4.50	0.90		砂		全体に砂質土質あり 地層で砂。			5										
6		5.40	0.90		砂		6.00mm 以下の細粒土質あり 採取時に採取率 10-20% あり とある。			6										
7		6.30	0.90		砂					7										
8		7.20	0.90		砂					8										
9		8.10	0.90		砂					9										
10		9.00	0.90		砂					10										

地質柱状図

調査件名 宮城県北田郡五所等郷林業試験地質調査
 調査場所 宮城県北田郡五所等郷林業試験地質調査
 調査年月日 昭和 55 年 11 月 12 日 ~ 11 月 12 日
 調査員 佐藤 浩

孔番 No. 6 標高 30.974 m
 (基準面)
 自然孔内水位 51.300 m (11月 13 日測定)

(注) 1. ぬきない試料 (記号の右の数字は試料番号)
 T-1 シンウオールサンブラーによる採取
 D-2 アニソンサンブラーによる採取
 S-3 スチールサンブラーによる採取
 2. 試料採取深度と採取比
 4.00 45/50に採取比
 4.50

標尺 m	標高 m	層厚 m	柱状図記号	地質名	色調	観察	相対密度	相対稠度	標本資料 No.	試料		標準貫入試験				
										採取記号	採取深度 m	深度 m	N 値	10cm部打撃回数	N 値	30cm部
0	30.974	0.00														
1	29.276	1.80	SF	砂	黄	0.00-0.50m 砂質、地盤、0.50-1.80m 砂質、地盤、砂質土			1		0.15	10	20	30	40	50
2	26.276	0.20		砂	黄	0.50-0.70m 砂質、地盤、砂質土			2		0.15	10	20	30	40	50
3	24.576	0.20		砂	黄	0.70-0.90m 砂質、地盤、砂質土			3		0.15	10	20	30	40	50
4	21.576	0.20		砂	黄	0.90-1.10m 砂質、地盤、砂質土			4		0.15	10	20	30	40	50
5	20.076	0.20		砂	黄	1.10-1.30m 砂質、地盤、砂質土			5		0.15	10	20	30	40	50
6	18.576	0.20		砂	黄	1.30-1.50m 砂質、地盤、砂質土			6		0.15	10	20	30	40	50
7	17.076	0.20		砂	黄	1.50-1.70m 砂質、地盤、砂質土			7		0.15	10	20	30	40	50
8	15.576	0.20		砂	黄	1.70-1.90m 砂質、地盤、砂質土			8		0.15	10	20	30	40	50
9	14.076	0.20		砂	黄	1.90-2.10m 砂質、地盤、砂質土			9		0.15	10	20	30	40	50
10	12.576	0.20		砂	黄	2.10-2.30m 砂質、地盤、砂質土			10		0.15	10	20	30	40	50

地質柱状図

(注) 1. 乱さない試料 (記号の右の数字は試料番号)
 T-1 シンワオールサンブラーによる採取
 D-2 デニソルサンブラーによる採取
 S-3 エチルサンブラーによる採取
 2. 試料採取深度と同取比
 4.00 45/50
 4.50 45/50は同取比

調査件名 宮城県産品台橋菜高等学校校舎新築地地質調査
 調査場所 宮城県産品台町五丁目式部農林事務所
 調査年月日 昭和55年11月11日～11月11日 調査員 島頭 秀
 孔番 No. 7 標高 30.868m
 (基準面 自然孔内水位 51.095m (11月12日測定))

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図記号	地質名	色調	観察	相対密度	相対稠度	標本資料 No.	採取記号	採取深度 m	標準貫入試験							
													深度 m	N 値	10cm毎の打撃回数					
0	30.868	0.00																		
1	29.210	1.60	1.60	SF	砂	黄	0.60-0.65 0.60-0.65 0.60-0.65 0.60-0.65 0.60-0.65 0.60-0.65 0.60-0.65 0.60-0.65 0.60-0.65			1		1.5	15	2.7	5					
2	27.910	1.00	1.00		砂	黄	全粒を認め入り 全粒を認め入り	0.2		2		2.15	6	2.5	5					
3	25.160	1.50	0.70		砂	黄	5.00-5.50 5.00-5.50 5.00-5.50 5.00-5.50 5.00-5.50 5.00-5.50			3		3.25	6.8	7.7	12.8					
4	21.060	1.50	0.70		砂	黄	全粒を認め入り 全粒を認め入り			4		3.45	20/22	25/27	30/33					
5	17.560	1.50	0.50		砂	黄	全粒を認め入り 全粒を認め入り			5		3.50	20/22	25/27	30/33					
6	14.060	1.50	0.50		砂	黄	全粒を認め入り 全粒を認め入り			6		3.50	20/22	25/27	30/33					
7	10.560	1.50	0.50		砂	黄	全粒を認め入り 全粒を認め入り			7		3.50	20/22	25/27	30/33					
8	7.060	1.50	0.50		砂	黄	全粒を認め入り 全粒を認め入り			8		3.50	20/22	25/27	30/33					
9	3.560	1.50	0.50		砂	黄	全粒を認め入り 全粒を認め入り			9		3.50	20/22	25/27	30/33					
10	0.060	1.50	0.50		砂	黄	全粒を認め入り 全粒を認め入り			10		3.50	20/22	25/27	30/33					

地質柱状図

(注) 1. 乱さない試料 (記号の右の数字は試料番号)
 T-1 シンワールサンブラーによる採取
 D-2 デニソサンブラーによる採取
 S-3 スチールサンブラーによる採取
 2. 試料採取深度と回数は
 $\frac{4.00}{45/50}$ 45/50は回数は

調査件名 宮城県鹿島台町高野等学校校舎新築地質調査
 調査場所 鹿島台町高野等学校校舎新築地質調査
 調査年月日 昭和55年11月14日～11月14日 調査員 島頭 浩
 孔番 No. 8 標高 310.55 m
 (基準面) 自然孔内水位 GL-2.30 m (11月15日測定)

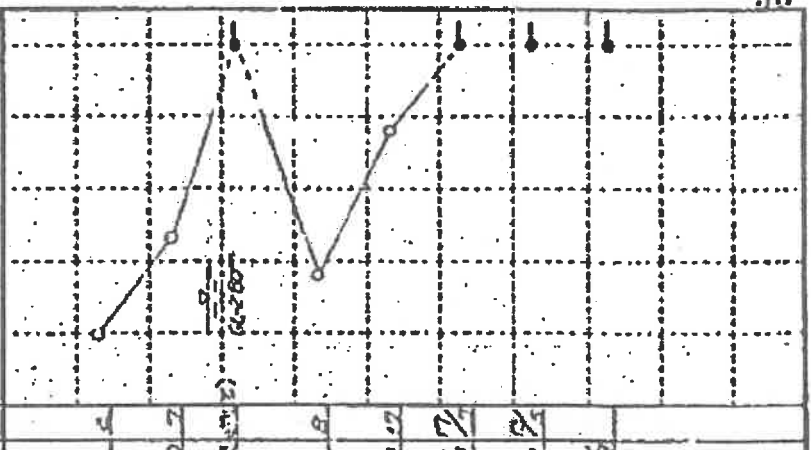
標尺 m	層厚 m	深度 m	柱状図記号	地質名	色調	観 察	相 对 密 度	相 对 稠 度	標本資料 No.	試料		標 準 貫 入 試 験							
										採取記号	採取深度 m	深 度 m	N 値	10cm毎の打撃回数	N 値	回	30cm		
0		0.00																	
1	0.70	0.70	SF	砂	黄	0-400mm 粒径 20% 以下 遊砂 20% 以下						7	2, 2, 3	10	20	30	40	50	
2						200mm 粒径 30% 以下	1.7		1										
3	0.60	1.30		砂	黄	300mm 粒径 非重合地質 粘土 10% 以下	1.6		2										
4	0.00	0.00		砂	黄	0-400mm 粒径 20% 以下	1.5		3										
5	0.30	0.30		砂	黄	0-400mm 粒径 20% 以下	1.4		4										

地質柱状図

(注) 1. 乱さない試料 (記号の右の数字は試料番号)
 T-1 シンクウォールサンプラーによる採取
 D-2 デニソンサンプラーによる採取
 S-3 スチールサンプラーによる採取
 2. 試料採取深度と固液比
 $\frac{4.00}{45/50}$ 45/50は固液比
 $\frac{4.30}{4.50}$

調査件名 宮城県恩田市宮城高等学政記念新野地質調査
 調査場所 宮城県恩田市立山町高森宮城地質調査所
 調査年月日 昭和55年11月14日～11月16日 調査員 長田 邦彦
 孔番 No. 9 標高 31.000 m
 (基準面 自然孔内水位 6.280 m (11月15日測定))

標尺 m	層厚 m	柱状図記号	地質名	色調	観察	相対密度	相対稠度	標本資料 No.	試料		標準貫入試験					
									採取記号	採取深度 m	N 値	10cm毎の打撃回数	10 20 30 cm	N 値	30 40 50 cm	
0	0.00															
1	0.60	SF	土	黄	飛泥の塊状である。	0.81	0.4	1	1.15	10	1.5					
2	1.90		相	黄	全粒の粗砂中に粘り土の塊状物あり。	0.82	0.4	2	1.65	20	6.10	7				
3	3.00		砂	黄	中粒の粗砂中に粘り土の塊状物あり。	0.82	0.4	3	2.15	30	12.0	12				
4	5.00		砂	黄	全粒の粗砂中に粘り土の塊状物あり。	0.82	0.4	4	2.65	40	18.0	18				
5					全粒の粗砂中に粘り土の塊状物あり。	0.82	0.4	5	3.15	50	24.0	24				
6					全粒の粗砂中に粘り土の塊状物あり。	0.82	0.4	6	3.65	60	30.0	30				
7					全粒の粗砂中に粘り土の塊状物あり。	0.82	0.4	7	4.15	70	36.0	36				
8	6.90		砂	黄	全粒の粗砂中に粘り土の塊状物あり。	0.82	0.4	8	4.65	80	42.0	42				



**大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校新築設計
公募型プロポーザル判定委員会設置要綱**

（設置）

第1条 設計業務において、より優れた設計者を公募型プロポーザル（以下、「プロポーザル」という。）によって選定する場合の検討・審査等を行うため、公募型プロポーザル判定委員会（以下「判定委員会」という。）を設置する。

（判定委員会の所掌事務及び報告義務）

第2条 判定委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- （1）プロポーザルの実施要項等の策定に関すること。
 - （2）プロポーザルによる設計者の評価・選定に関すること。
 - （3）プロポーザルに係る提案書類等を審査し、設計候補者を選定すること。
- 2 判定委員会は、前項の選定結果を判定結果報告書により知事に報告する。

（組織）

第3条 判定委員会は判定委員5名をもって構成する。

- 2 判定委員は、別表に掲げる者を充てる。

（任期）

第4条 判定委員の任期は、別に定める。

（会長及び副会長）

第5条 判定委員会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、判定委員の互選によって定める。
- 3 会長は会務を総理し、判定委員会を代表する。
- 4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第6条 判定委員会の会議は、会長が必要に応じて招集し、その議長となる。

- 2 判定委員会の会議は、判定委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
- 3 判定委員会の議事は、出席した判定委員の過半数をもって決定し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 会長は必要に応じて、判定委員会の会議に判定委員以外の者の出席を求めることができる。
- 5 会長及び副会長が定められていないときは、事務局が会議を開く。

（秘密の保持）

第7条 判定委員は、審査上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

（責務）

第8条 判定委員は、プロポーザルに参加する設計者に対して援助を行ってはならない。

（事務局）

第9条 判定委員会の庶務は、土木部営繕課において処理する。

（その他）

第10条 この要綱に定めるもののほか、判定委員会の運営に関して必要な事項は、会長が定める。

附 則

- 1 この要綱は、令和3年11月16日から施行する。

別表（第3条関係）

大崎地区(東部ブロック)職業教育拠点校新築設計公募型プロポーザル判定委員会
判定委員名簿

区 分	人 数
学識経験者	1 名
行政（国）	1 名
行政（県）	3 名

**大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校新築設計
公募型プロポーザル判定委員会 判定委員名簿**

※凡例：◎会長 ○副会長

※	分野	区分	氏名	所属・役職
◎	建築	学識経験者	いししい さとし 石井 敏	東北工業大学 教授（副学長・建築学部長）
○	建築	行政（国）	さかた こういち 坂田 耕一	国土交通省 東北地方整備局 営繕部 整備課長
	教育	行政（県）	ふだ しゅういち 布田 秀一	宮城県 教育庁 副教育長
	教育	行政（県）	さとう よしひこ 佐藤 好彦	宮城県 鹿島台商業高等学校 校長
	建築	行政（県）	こいで のぼる 小出 昇	宮城県 土木部 建築宅地課長

敬称略